PL
790
C5
1934
v.2

Chiri bukuro
Chiri bukuro

East A

CALL NO:
PL
790
C5
1934
v.2

EAS

AUTHOR:
Chiri bukuro

TITLE:
Chiri bukuro

VOL:

PLEASE DO NOT REMOVE
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

顧問
井上通泰先生
山田孝雄先生
新村出先生

正宗敦夫 編纂
校訂

塵袋

六—十一

合資會社
日本古典全集刊行會壽梓

PL
790
C5
1934
v.2

LIBRARY
MAR 28 1967
UNIVERSITY OF TORONTO

塵袋目次　下

塵袋第六　人躰　人事

兒齒……三九七
兎缺……三九九
花髮……四〇〇
二毛……四〇〇
白髮耆……四〇一
凍梨……四〇二
臍緒……四〇三
木訥……四〇四
馘……四〇五
顔面……四〇六
頬……四〇六
泗……四〇七
陰……四〇九
臏……四〇九
叩頭……四一一
指掌……四一二
面縛……四一二
噬臍……四一三
切齒……四一四
身躰……四一四
勑……四一五
宣……四一七
奏……四一八
眹……四一九
「朝覲
淵醉……四二〇
悠紀主紀……四二〇
推轂……四二一
御寢……四二二
平生……四二四
百廿……四二五
成長……四二六
片才……四二六
囂頭……四二七
言語……四二七
忠節……四二八
怨望……四二九
懸解……四二九

清貧……四二九
筭裘……四三〇
屬文……四三一
甃聚……四三二
蹴踘……四三二
雙六……四三四
攤……四三六
百發百中……四三六
沒石……四三七
探湯……四三九
五刑……四四四

塵袋第七　佛事　寶貨　衣服　管絃

三尊……四六一
懺悔……四六一
坐飯……四六二
合殺……四六四
聲明……四六四
何口……四六六
生像……四六九
咄哉……四七一
不越……四七一
諡号……四七二
奈落底……四七三
非海水……四七七
堂前池……四八〇
造花……四八一
乍立供花……四八二
希有花……四八三
斗帳……四八五
灌頂……四八五
刀布……四八七
円法……四八七
「披沙兼金……四八八
直千金……四八八
金青……四八九
〔〇窠カ〕寧錦……四九〇
珠玉……四九二
木難……四九二
「衣裳……四九三
雨衣……四九五
繦褓……四九六
大口小口……四九七
四重文……四九八
計帳……四九八

連錢……四九九
纓……五〇〇
尫耳……五〇二
鼻廣 挿鞋(サウカイ)……五〇二
甲 帽子……五〇三
「焦尾……五〇七
瑟……五一〇
五絃 阮咸……五一〇
箏絃……五一一
玉柱……五一三
筑……五一三
箜篌……五一四
管……五一六
吹……五一六
篳篥……五一七

簫……五一八
簧……五二〇
大食 乞食……五二二
伎樂……五二二
崑崙 吳樂……五二四
採桑老……五二五
振桙……五二六
雍門彈〔面カ〕……五二七
河伯畵……五二八
撥絃……五三〇

塵袋第八 雜物

兵庫……五四一
大刀……五四二
匕首……五四三

刀斗……五四四
襘……五四六
矢……五四六
鹵簿……五四八
大刀契……五五〇
卯杖……五五九
薪……五六〇
斑幔……五六一
幄屋……五六一
耳桶……五六二
膈藥……五六三
盂……五六四
擂子……五六五
誹謗木……五六六
毳……五六七

牒狀……五六八
書……五六八
籤……五六八
短冊……五六九
翰林……五七〇
毫……五七〇
反古……五七一
巾箱……五七一
後素……五七三
馬蹄……五七三
砥石……五七四
器車……五七五
爵觴……五七五
新羅提……五七六
合子袢……五七八

楊枝……五七九
桃笙……五八〇
網代……五八一
圓座……五八二
櫛笥……五八二
石……五八四
斗……五九〇
一桶……五九一
卷子〔〇本文ハ斗ノ前ニ出ス〕……五八八
炬燭……五九三
松明……五九三
灰壘……五九四
死灰……五九五
掾擊……五九六
砧杵……五九六

籌……五九六
船荷……五九七
筏輿……五九七
中取……五九八
蒻……五九八
羂索……五九九
水龜……六〇〇
擊壤……六〇〇

塵袋第九　飲食　員數　本說　禁忌

粟米……六一一
餅䭢……六一二
餅餤……六一四
沙糖……六一六
赻……六一七

美物……六一七
鯰……六一八
樓……六一八
羹……六二〇
饗……六二〇
蘗……六二一
味曾……六二二
四種……六二三
聖人 賢人……六二四
「一尋……六二六
一屯上……六二六
一廷……六二七
「階天……六二八
三人同……六二八
火邊乾……六二九

道辻……六二九
過事……六三〇
虎羽……六三〇
虎威……六三〇
懐石……六三三
惡女敵……六三四
居影……六三四
掃地……六三五
足毛……六三五
無信鶴……六三九
驢尾……六四一
井蛙……六四一
魚水……六四一
喚名……六四二
顯本心……六四四

一剗……六四五
鴻毛……六四六
晏鴽……六四六
諒闇……六四七
誄字……六四八
一夭死……六四九
墳墓……六五〇
墓朱……六五〇
同穴……六五二
周忌……六五三
梓宮 無胄國……六五三

塵袋第十　詞字

雪恥……六六五
進退谷……六六六

穴賢……六六六
白地……六六七
八稜……六六八
荷擔……六六九
荏苒……六六九
宿匆……六七一
事計……六七三
事觸……六七四
忍……六七五
左右……六七五
貌見……六七六
流膝……六七七
色弗……六七八
雨……六七八
讀數……六七九

如件……六八二
鮎……六八四
致……六八六
伏……六八七
率分……六八七
畏……六八八
候……六八八
攉……六九二
坐……六九三
芨……六九四
殆……六九六
勒……六九七
省……六九七
徽……六九七
志……六九八

縈……六九八
謁……六九九
物……七〇〇
弔……七〇一
弁……七〇二
關……七〇三
方……七〇四
欲……七〇四
逆……七〇五
乱……七〇六
叢……七〇六
階指……七〇七
隈……七〇八
綵帛……七〇九
拒捺……七〇九

絛……七一〇
襷……七一一
壽……七一二
並々……七一三
八重（ヤヘ）々々……七一三
都々……七一四
乎佐（ヲサ）々々……七一五
德々志……七一六
佐波々々志……七一七
四方田……七一八
比多布留……七一九
於古都里……七一九
加也須濃……七二〇
那豆氣……七二一
中央……七二一
草蔓……七二一
世離嗽……七二二
多和言……七二二
菩千……七二三
折耗（〇專之）……七二四
羊元……七二四
世营……七二四
良久……七二五
悉之……七二六
負頭……七二七
赴節……七二七
善之……七二八
異者（〇本文ハ良久ノ前ニ出）……七二五

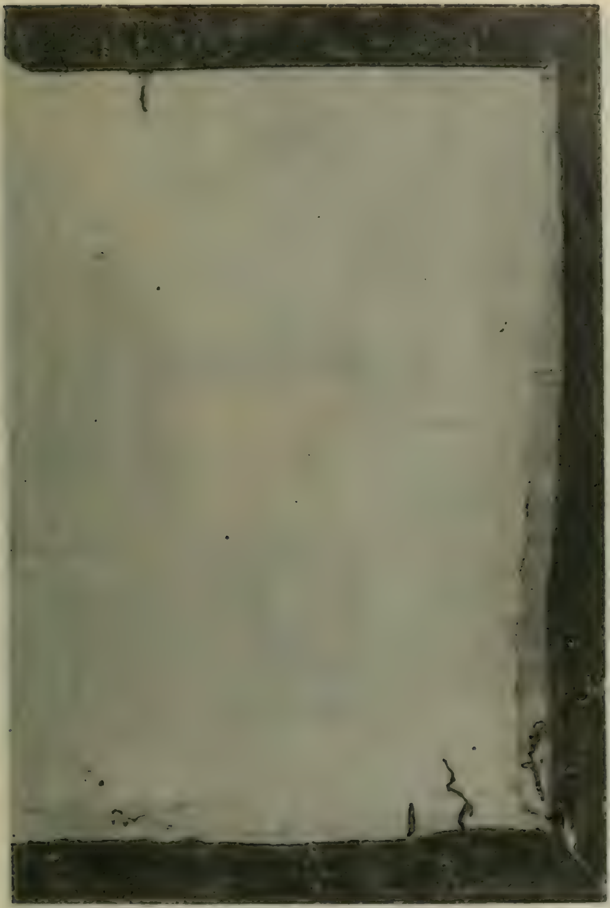
塵袋第十一　疊字

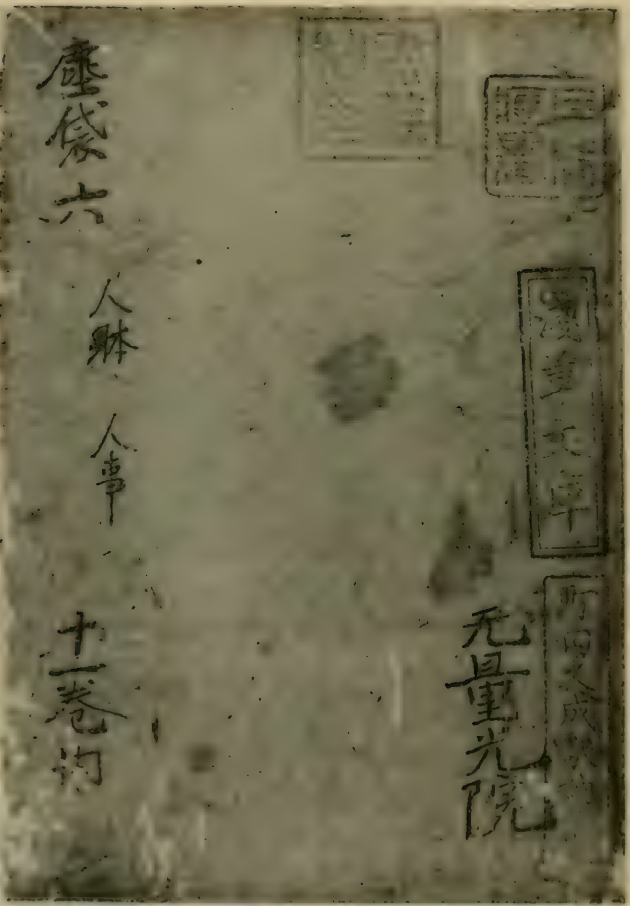
安堵……七三九
雷同……七三九
省察……七四〇
管見……七四一
從容……七四一
判定……七四二
方決……七四二
經始……七四三
高第……七四四
文獻……七四四
往昔……七四四
曾紹……七四六
闇閤……七四六
狼藉……七四七
莫大……七四八

雅意……七四八
絕綸……七四九
罛渠……七五二
鑑鏡……七五三
拜除……七五四
緇素……七五五
一物……七五六
肥遯……七五七
五更問……七五九
將來……七六〇
造作……七六一
施行……七六二
後昆……七六二
舊貫……七六二
有截……七六三
景福……七六三
都盧……七六三
不敵……七六四
消息……七六五
鬭諍……七六六
毀寂……七六六
匪石……七六七
周章……七六八
凌轢……七六九
地忍……七六九
間然……七七〇
登用……七七〇
按摩……七七一
綱維……七七一
正直……七七二
已上……七七二
有道……七七四
隔僻……七七四
偏頗……七七五
荅酢……七七六
猥雜……七七七
落索……七七七
荒蕪……七七七
淸廉……七七八
服膺……七七八
花說……七七八
懈怠……七七九
大漸彌留……七七九
獲麟……七八〇
巍ゝ堂ゝ……七八二

朝野……七八三
草創……七八四
無六識……七八五
傍若無人……七八六
言語……七八七
欵狀……七八七
疎簡……七八八
耀耀……七八八
壼奧……七八九

塵袋目次　終




歴代六 人躰 人事 十一巻内
無量光院

塵袋第六　人躰　人事

兒齒 兔缺 花鬚 二毛
白髮黃 悚槃 臍緒 木訥
戚 黧面 類 洒
侲 臉 叩頭 指掌
面縛 噬臍 切齒 身膝
勳 宣 養 朕
朝覲 渕醉 悠紀主紀 推轂
御鍛 平生 百廿 成長
行才 罵頓 言語 忠節

怨望　懸解・　清貪　寘裘

爲文　叢襲　蹴踘　雙六　欟

百發百中　沒石　探湯　五刑

一兒齒トカキテケイレイトヨム也　一クチヒル手足名ソイクチトヨム如何

一花鬢ノシクトヨム鬢ヲ鬢トヨム　一二毛ト云ハ毛ノフタスヂト云心歟

一ヒラカフキトハ何ナル心ソ　一凍餒ハタヘサムキト云心如何

一シサナキ手ニホツ緒竹刀ヲ持ツ　一人ゴトヽモリナルト云フ何ナル心ソ

一頼義カ堂ニ行堂トスル也

一ツラカニチト別ナリ別所同所ナル

一ホソイトハヘソノ云フ歟

一叩頭シテトカツ謝スト云フナリ

一ヒトノヒハレニシ面縛セラルト云フ也

一切歯トカミテハシノモトハルト恨ム也

一勅トハ主上ノオホセニカキル也

一奏トハ主上ニ申スコトハナリ奏聞ト云フ也

一渕酔ト云フハブチニシテ丈ノ心也

一[illegible]ト云フハイカナル事ゾ

一顔面トハ面ヲ受ケ別ト云フ事ハ[illegible]

一十三夕ト云フハ目ヨリ出ルコソクノ名歟

一ミキマモノヒサニノサアユナ[illegible]

一年コロシカストイフ本也

一後悔スルニハホソノクフト云フ也

一ムクロトハチヒヨリ下ノ名歟

一下臈詞ナリコツト云フハ多分ニト[illegible]

一帝王ノカニシノ朕トオホセラル也

一大嘗会悠紀主基ト云フ也

一御寝ソシトノコモルト云フ也

一平生トツネト云ヿ何ニぶツ

一ヒトヽナルトハ成長歟

一ノ二名ツシヒスカシト云ます

一忠節ト時節ノ節ト同じ

一懸解ノ二字ハカケトイトヨム也

一箕裘業トイフ何

一螢聚トイフハ車胤カ学問也

一竇六ハ下簾じつせん

一石席ト黒ヲ射ます

一五刑トテ人ツミスルヿ

一百廿年ノ寿命トハ

一人イカツイフニカタカトいふ何ツ

一言語ハトモニコトハノ義也

一悪口トハワルクチノソシルト云フ何歟

一ロツキツ請負トいふ何

一属文ノモイトいふ文ヲつくる也

一蹴鞠ハイカナル何ツ

一タカクトいふハ何ノ本ツ

一採湯ト云ハ何ぞ

一鯢齒トシキテケイシトヨメハ鯢童ジケイトウ
トヨムモヒカコトニアラサル欤
字ノ中ニハ字ノ形オナシクシテ心モヨミモ違ルアリ
此鯢齒トイフ本意ハ鯢齒ケイラハトイフ心ナリ字ノカタ
チ大ニ用ル[illegible]ニス又鯢ジケイトヨム
トキハ大ナル魚ナリ[illegible]摩竭魚トイフコレナリ
大ナルハ魚ノセナカ海水ヨリ出テニサシイツ…アソヒ
情目ニアフラルヽ此魚ノ一番ナリアカキ大海ノ水
タニモ生ナカシノヒタサ又ホトノ物セハ目ハ日輪…

輪カト

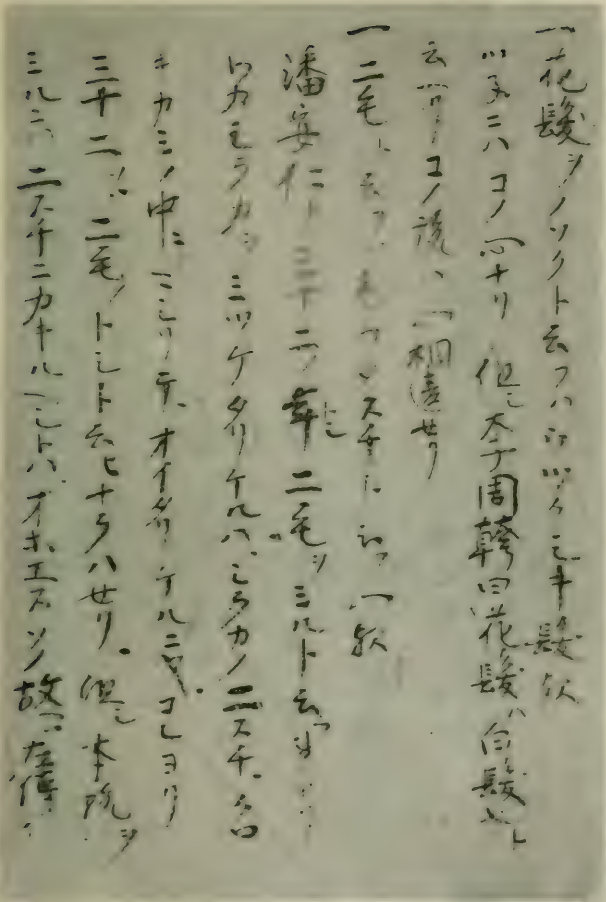
魚ト

ウタカヒ、サナカハ、山カトヲトカル。モノナリ。
鯢トイフ魚ノ寂サノナルアリ文選ニハ尺澤ノ鯢
豈ニ能ク與ト之量ニ江海ノ大ナルヲ哉トアリコレハ世ノ人ノ
イサ。メトイフモノ歟 鯢歯ノ字ヲ一ナミテ鯢トカケ
ルコトモアリ同韋ナリ老人ノ歯ノオチテ、ソノ
アトヨリ、アタヽシキ歯ノオヒカハレル名也 タデラノ
ハノガクオヒカハルニヤ、タデラシハ、或ハタヽラト云ル
キモアリ。タヽラトモ、云ハヨシトワアハ世ヽル歟
常陸國ニ久慈理ノ郷ト云フ シカアリ、其シカノノ

而ヲ
澤影

スカタ鯢鯨ニ似タル也ヘニカタ云ヘアトヽ彼語ニ誤リ
鯨鯢ニ大蟲魚ト云ヘリ見ル童ハチコワラハナトハ
ゲイドウトヨム（ヘキ、イハレアルヘカラス
一 クチヒルノキレタルシ イクチトヨフ心ニ有
本朕ハウクチト云フシイクチト云ヒナセリイツクし
ト云フ洞ハシ彼語ニウツクシト云フ脱兎缺トカキテ
ウクチトヨム（キ也）ウサキノクチビルハハナノシタ迄
カスレテキレハナレタルハウサキノクチビルニ似タル
義ナリ イトウハ通音ナリ

ナレハ



一花鬘シノツクト云フハミヤツノ二モキ鬘欤
ツネニハコノ心ナリ 但シ太子周韓曰花鬘ハ白鬘ニト
云ヘリ コノ説ハ一相違セリ
一二毛ト云フハモヲマズ千ニ云フ一欤
潘安仁ト云フ人ニ三十二ニシテ年ニ二毛シミルト云フ事アリ
ワカモラカハ三ツケタリケルハころかノ二スチ白
キカミノ中ニマシリタルオイタルナルニヤ コレヨリ
三十二ヲ二毛ノトシト云ヒ七十ヲハ老セリ 但シ本院シ
三八二ハ二十二カ十八ニナリトハオホエスソノ故ハ左傳ニ

左傳云

君子ハ不重傷ニ不禽二毛シト云ハルシ杜預カ注云二毛ハ
頭白有二毛ト云フコレニテ思フニハカシラニハシロキ
毛ノクロキケノ二イロミエルシ二毛ト云フ（キ）ムナリ
二スチノ毛トハ三五不准南子ニ不設黄口不禽ニ
二毛ハ注云黄口ハ幼少ナリ二毛ハ有白鬚ト云一リ
左傳意同状
一シラカフキトハイカナルゾノ
ヨノ人ノ思ヒナクハシハクロキカミ一スヂモノマヂラス白
鬚ナルシノシラカフヽキト云ヘシ実ニハクロキカミニシロキト

二毛ハ

カニトモニ。ニシリテニタアナルツノ云（十七）日本記ニハ
斑雑トカキテフ、キトヨム 斑雑ハニタアニニシル也
白髮斑雑トカキテ、シラカフ、キトハヨムナリ略ナ
シロキニハアラス

一凍梨ハタヘサムキナト云フハイカナル心ソナシニ
ハタヘノニテミツ名木名歟

ヨノツネニハコツリ名ナシノヤウニ老人ノハタハワキツ
云フトコロエタリ 案ニハサニハアラス、サムクテ、ハタヘノ
ウルメルナリ梨ノ実ツツシムトヨメルヤウアルナリ

此事ハ人ノ信セヌナリ　サレモ本説ダニアナリ　ニザ
ムク黧シツヽムド、ヨムヘキ、イハレナシ、黧ノ字ヲミムトハ
ヨムヘキナリ、ソレシ、カヨハシテ、黧ヲモウルムト　ヨム
玉路トヱフハタヾノクルニナリ、玉輅トカクシ路ノ字ヲ書ハ
ムテイルニ用フル例アルカコトシ、黧ハ黧黒爲ハ
胼胝ナリ云ヘル事ノアリ胼胝ハアカヽリヒヽ也、又疉
皴面黧黒トモ云ヘリ

一オサナキ、チコノホソノ緒竹刀ニテキルハ前蹤ニヨル衣ヲ行
風土記ノ文ニヨラハ皇祖褒能ノ忍耆命日向ノ國

贈於郡高茅穂ノ槵生峯ニアリケリ　一ニ云テ
コレヨリノ薩摩國頴娃郡ニ竹屋村ニウツリ給テ土人
竹屋守カ女ヲメニテ其ノ腹ニ二人ノ男子ヲ設ケ給
ケルトキ彼ノ所ノ竹ツカタナニツクリテ臍緒キリ給ヒ
タリケリ、ソノ竹ハ今モアリト云ヘリ、此ノアトヲ名ツケ
テ今モカクスルニヤ、日本記ニハ天照大神日向ノ高茅
穂ノ槵觸ノ峯ニクダリ給ヘリト云ヘルサモヒトツ事歟
一人ノコトニモナルト云フイカナルニヤ、
木訥トカキテコトモリトヨム木ハキコハ牟　心ナリノ

訥ノ字ハ遅鈍ナリト釈シタリ。シンキ也イフヘキ也
シモヤスクイハスシテ、シンナハルナリ。本躰ハ言留
ト云ヘキシ通ニ曰ナルニヨリテ、上ニリシトモリト云ノ詞ノ
遅ニ出スルヨシナリ。論語ニ君子ハ欲ス訥ニ於言ニ敏ナル於
行ニト云一ワヨシニモ、シソシトヨメリ
一類義ノ堂ニハ三ノ一堂ヲ一説ニ耳納堂ト
云ノイクサニカチ、カタキノ耳ヲキリアツメテ
オサムル故ニミミヲサムル堂ナリ、又例アル歟
文選ニ献馘一万計ト云ルノ李周翰釈云戦勝則

割ニ死人ノ耳ヲ以テ献ル君又計数也一万計ハ言多キヲト
云リ鄭玄云左ノ耳也ミヽシキルサ本ニモカクノ如シ
一顔ト云フハ面ノ義又別ニイフヘキ所アル歟
胡顔トカキテハ十ムノシモテカアルトヨメハ乱シメステ歟
所ルニ文選ノ注ニ高祖ノ龍顔ヲ給フ所ニハ顔ハ顴顙也
ト云ヘリナテハヒタヒシノ顔トモ云ヘキ歟思フホトニ玉篇ニ
顔ハ謂ニ眉間之間ヲト云ヘルハイカナルヨシニカ
一ツラカマチトハ別ノ所歟 同所歟
ツラニハ頭ヲシカマチトハイフニヤカヒラシヲウツシハカマチ

ナミタ

ハルト云フメリ。但シ左傳ニ顔高カ子鉏シノイロス事アリ

ナフニハ射ニ子鉏シ中ツ頰カヒニトアリコレハ頰ツラノ字シセニテ

トヨミセタルハツラカニテ。タヲオナシ事ニオホエルヤ

輔車トカキテカニチトヨメル事モアリ文集ニ章ニ

有輔車カニチ。非無断齶アキトと

一　ナミダト云フハ目ヨリ出ルシツクノ名也

ナミタハ目ヨリイツル条勿論ナリ。涕テイ泗シ　三才

ナミダトヨム。但シ音決ニ詩ニ目ヨリ出ルヲハ涕ト云フ

鼻ヨリ出ルヲハ泗ト云フト云ヘリ　ナクトキハ鼻ヨリ

事ヲ

イツルシモナミダト云ヘキニコソトオホエ侍ル涙ノ字ニハ
ニス。ハナトヨメハ、ナクトキ、鼻ヨリ出ルモサカトコソオホエ
ルニオモヒノホカノ釈ニヤ。タヽシナクトキニ、カキリテ
ハナヨリ出ルハナミタノ同類ナレハカク云ヘル歟呂延濟カ
文選注ニ無聲而泣ナミダ下ルハ曰血ト云ヘリ ニコトニ血ノ
ナミタコホルヽトモ、ナニナクトハ云フニヤ 李陵カ答
蘇武書ニ飲血ト云ヘルコトヲ呂延濟云 飲血謂飲
泣ニ、ハ、又ナキ事云血ハ即涙也ト云ヘリ 但不知カナキ
ケルハ（定ノ血也）是ヲ云 三立三言維之ニ以血 ト云ヘリ

ヘソ

一ホソトハヘソヲ云フ、臍ハ男ノホソツキタルモノト云フハ、ヘソ
ノツキタル臍也者、女ニトテモ、ヘソナカルヘキニ非ナレハ
ヘソヲホソト云ヘトモ、陰ヲモホソト云フ、陰ニハ三ノヨミアリ、
一ニハホト、二ニハホソ、三ニハシノホナリ、ホソツキタルモノトハ
男根ツキタルモノト云フハ是ナリ、又ホト云フハ女根ノ異
名ナルヘシ
一シサナキモノシ、ヒサニノセテ、アエサコノ、ヒエサコト
云フハ如何
アエサコニハアラス、アハタコナリ、ソレヲイヒタカヘタルナリ

ヒサ來ヒクトイフノ所ニシハアハタコト云フ臏トカケワコレカ
上ニノ來セテノスルコトナレハ發言ニハアハタコトヒエタコト
云ナリ飄ハ裸ヒエトハ噂揚ナレハアハタコト云フニツキテ
ヒエタコトハツミケタリノ神功皇后ノ新羅ヲ征シテ千トリ
給ヘルサリヲイフニハ二ノ説アリ一ニハカノ國ノ王シツレシ
ナシテ降ジゴフノワレトモ年ゴトニハリテ御船ノニヘニ
ニイレリト云フ一説ニ新羅ノ王ノ臏ヲハナテテ
ハテノスナコニウツムト云ニア、サキノ説ヲ正説トスヘ
コレニモ臏ノ字ナシアハタコトヨニセタリ

一叩頭ニテトカシノ謝スナトイフハ、ヌカカヽラシハ
タヽキテ　ミツカラシイニシ云也　公叙
平シ以テ　ミツカラ頭シラツニハ非ス　後漢書ニ叩頭ハカ
シラシタ地ニアツル也　叩頭出トカキテモ　ヌカツキムシトモ
ヨメリ　日本記云　稽首地　叩頭　同或ハ祈字シノムト
ヨメリ　礼記曰祭礼ニ不祈　注云　祈ハ求ナリ　ナタ
ズラレム　ヨシモトメテ　シカムシノムト云テニコツ
又左傳ニハ嘻字シ　シモトヨメリ　注曰懼声　ト
云ーリ　ノムトノモトハ　通音ノ上ヘニ同ニ　公叙　ろハ　シツレテ

スカツケカエヘニ叩頭シノムトヨメルカ心ヲエタニカヨフ

一タナコヽロヲサストヽ云フハソノ故也何

論語云其如示諸斯乎指其掌ト云ヘリアキ
ラカニシルフルニタトヘテ孔子ノタナコヽロヲサシ玉ヒ
ケルニコソ注ニ如示指示其掌中之物言
其易了ナリ

一ヒトノヽハラルヽシノ面縛セラルト云フオモテシヽハ

ハカノ為也

左傳云縛手於後唯見其面也ウシロテニ

シハラレタレハ両年モ三ヘヨリ見エス。カホハカリソ
イタスレタレハ。コトニ見エル所ハオモテハカリナル故ニ面
縛ト云フ 面ツラニハルオノハアルヘカラス。
一後悔スルニハ ホソシタト。イラサ甚シ 尽タ候。
左傳云若不早圖後君噬臍 杜預曰喩ハ
噬臍 不及 ト云リ 顔氏曰噬臍何及ト
ウツフキテ。クハントスレトモ。クハレタハ。ヘソナリ。クヤニキ
サシテ。トリ出サントスレトモ。カナハス ヘソシ
クハンスルニ。シヨハス候テ。クハレタカ如ト タトフル也

一切齒ハ、ムキテハ、ハシキルトヨムカ、イカニトキル（キヽニナ
後漢書ノ梁冀傳ニ側目シ切齒ストイヘリ、ハカミシ
スルケシキナルヘシ、ハジキルニハアラス

一ムクロトハ　ヲヒヨリ下ノ名歟
日本記ニハ體ノ字ヲムクロトヨメリ、心ハヲヒヨリ下ニア
ル歟、仁徳天皇ノ御宇八十九年飛驒國ニ有
一人、曰宿儺ト、其爲人、壹體ニシテ有兩面、面各相背
須合無項、各有手足、其有膝而無膕踵
力多ニシテ輕捷、左右ニ佩劍、四手ニ並用弓矢

ト云一リ難波根子武振熊ト云ヘル人ハ[illegible]
誅セラレシコトアリ又身ノ字ヲムクロトヨム身躰ノ二字
トモニムクロナリ人ニモカキラス木ニモ云フ古詩云
心空身未摧ト云ヘリ古木ノ事ナリ心ト躰トニ二ニ
ワクル目ハカナラスシモ躰ノ中ニカシラノコモルヘキイハレ
ナシ五躰ノ中ニ頭ヲソノ首名エヘナリ、サレトモ宿備カ
事ニヒトツムクロニ二ノ心モテアリト云フニテハカシラハ
ムクロト別ナリトキコエルナリ、

一 勅トハ主上ノオホセコトニカキリテ云フ事ノ叙

字ヲハ

一 勅ノ字ミコトノリトハ。ノ玉ヘトヨム。勅ノ字ニカヨフ。叙帝王ノ
勅ニヨリテハ万事ト。ノ玉フテ、ミタレニ乎ヰサルヿヲ
勅ト云フ釈、内裏仙洞ノ作ッ勅定ト稱ス。ツギく 二八
サルコトナし。但後漢書ニ文繼コトシ云アニ繼カスシ背
孫ノ緋殺勅ニ其ノ字ニ受ルニ封シ求ムニ境埇之地シト
云一リ。境埇ノ地トハ薄地ヲ云フナリ。ヤセル地ナリヨキ所シ
多ニハタムトハン。ナ中ニヨソワロキ所ニテモ タリヌヘシト
申セトシレヘケルニヤ。コレシ見ニハワタくニワカ多シ
シレフルシ勅ストム云一リ。カナラス主上ノオ世ニノミ八

カキラスヤ、サレハトテ、今ノ世ニイハムハシコナルヘシ、彩く
ノ家人ヲモフミくニハ臣ト云ヘリ、随テ家中ニトリテモ
君臣アルヘケレハ勅ノ字モホトくニナソラヘテ
云フヘキイハレナリ、サレトモ一ニキレノ便ナカルヘケレハ、
今ハイハヌコトニナリヌ
一下﨟ノ詞ニナリコツト云フハコハ多ニドヽメク心訳
嗚勤ノ義訳
帝王ノオホセコトシノ義テ人ニオホセフクムルシハイリコツ
トモフナリ主威シヲヲテ老ハ身ニシソレナキ故ヘニコハ多ニ

知スレトモ

下知スルヿモトカムルモノアルマシキ心ニテ、コトヽニツキタル
ヤウニ物ノイフヿ勅シウケ給テノリコツ根ニト云フ也
ナトノトハ通音也、ハナリ、コルモノリコツモ、カヨフニヤ
日本記ニハ不肯宣トカキテノ、ノリコタストヨメリ
宣ノ字ヲノリコツトハヨムナリ左氏傳注云宣ハ明也
帝王ノ作コトハアキラカナルヘキユヘニ宣ノ字ヲ用ル歟
一 奏ストイフハ主上ニ申スコトハ也、樂ヲ奏ストイフモワタクシ
コトニハイフヘマシキコトハ歟
ツキヽノ啟ニテ申スヲ奏ト云フヘキニハアラス

ニヤ

但シ音樂ニ至テハカナラス、ハヽカルヘキイハレハナキ
ニヤ、ソノユヘハ文選ノ銑注ニ奏ト者ハ作樂ノ稱号也ト
云ヘリ此ノ義ナラハ、シヽナヘテ樂ヲ奏スルコトハトキコエ
サレトモ、ニキシテハシタルアリタヘキニヤ。奏ノ字ヲハスヽムトヨ
當ハ辭詞ヲ記傳スル人ヲ奏ト習ヘリ
ヨムセ

一帝王ノワカ身ヲ朕トオホセラルヽハイカナル義ソ
朕ノ字ヲハワレトヨムセ己ト云字ヲモチフルハ
ツネ〳〵ノニ通用シナラヒタリ朕ノ一字ヲハ國王ノ御コトハ
ニシテ餘ハ不用ナルヘシ

一渕酔トイフハフチニオチ入ルホトニヱフコト歟
渕ノ字ヲハフカシトヨム渕酒ハフカクヱフナリ カタ
ステトイフハ フカクヱイテ礼ヲワスルヽヨシ歟
一大嘗會ノ悠紀主紀トイフハイカナルコトソ
日本記ニハ齋忌トカキテユキトヨメリ神事ニ潔
齋スルコトナリ神祇官ニオホセテ御門ノ新嘗
キヨシメストキノタメニハイツレカヨカルヘキト御トウラ
アルハ神ノ御コトニカナヒテソノ國ヲトオホシメスハ
ウラニアワヽ主紀トハ次トイフコトナリ次ノ字ヲスキトヨミセ

タサウラニ見ユルシハド食ト云ヲ漢スミシモテ龜ノ
形ヲカキテコレヲヤクニヤケモテユクカタヲ食（ハム）ト
云フウラニアフトハコレヲイフニヤ。コレニヨリテ日本記ニ
食ノ一字ヲウラニアフトヨメリ　新嘗ヲニハナヒト
ヨムハニヒナメセハニメテキコシメシソムルヨシ云フ也

一　推（ツヰ）轂（コク）ト云フハイカナル事ソ

推ナトシノオルクルニトウシルアクルシムフナリ
推ハシス轂ハクルマノトウナリ推ノ字ニアマタノヨミアリ
スヰトモツヰトモヨムヘシ文選ノ注云古ヘ遣（ツカハス）将（ニシヤウシ）ヲ

天子親推車轂送ミツカラシヒテ送ルト云リ漢書ニ跪而推
轂シト云大將軍ヲサシツカハシテ、シタカハ又己ヲシモ
ウタセラルニハ將軍ハルカノミチニ出テイノチヲシノ、
カロクスルコト大切ナルニヨリテ主上ミツカラソノ
ツカヒノクルマノトウシオシタマフニヨソ
一御寢ノシトノコモルト云フハ御寢殿ニ籠ル云說也
サモ申ニツヘキ事ナリ但シ
トノノモリアメフル河ノサ。ラナニ
ニナクモキミハオモホエルカナ

ド云フ古壽ナタツシ思ニハカキラス人ノ子タルトシモ
トリカタシ、ソラノ、クモリテ、アメノフルオリノ汚水ニ
サリテ、ナニノシケキシイハムトテ、モシ天戸ノタル
義訳雲入トカキテ、タモルヨメレトモ、コレハアケ字ノ
義讀訳ウルハシクハ陰字ヲ用キナメリヒルハ陽
夜ハ陰ナリ今ノ子タルシハ御ヨルニナルト、イフヨルノ
陰ナルニツキテ寝ニツクシトノコモルト云フ訳其シノ
トノクモルトイヒナセルニヤ、子トコロニタチコモルノ
トノコモルト、イツモ義ハタカフヘカラサル訳。

一平生トキートイフハ、タヒラカニイケル時トイフ歟
法花傳ノ中ニ死タルモノ、炎魔廳ニユケルトキ
平生ニ何ノ功徳カアリシトトヘルヿアリ此ハ浸淺ニ
在生ノ間ヲ平生トサスニニタレトモ、カナラスシモ
ソノ外ニアラサル證トモアリ論語ノ注ニ平生ハ少時(ワカヽリシトキ)
セトイヘリ又樂府ノ五絃弾ニハ平生ノ耳ニ忍ケル
サツルモ一タヒコレヲハ在生ノ間ニ聽テモワカヽシムカシ
氣力モ衰微セス、タヒラカナリシトキト云フニ
アタレリ

一百二十年ノ壽命ナト秘言ニモイフハサルヘキ
エヘアルカ如何
釈迦如来ノ出世ハ人壽百歳ノ少出多減ノ比ト也
百歳ナルモノハスクナク百ニ不満ノモノハオホシ以今ノ
世ニハ勿論歟 但養生経ニ人生シテ一百二十年中
壽ハ百年下壽ハ八十年ヲ而竟ルハ不能者皆夭ス
耶又同経ニ老子曰人生大期ハ以テ百二十年ヲ為
限ト節シテ護之ハ可至于千歳ニモト云ヘリ此壽ノ字ヲミテ歟
荘子曰盗跖謂テ孔子ニ曰人上壽ハ百歳中壽ハ八十ト

一ヒト・ナルトハ成長歟

ツネニハソノ心ナリ毛詩ニハ寡卑寡許（ヒトニヒトナリ）（シタニナリ）ト云一アリ
箋ニ云卑始テ能飲食セシムト（ヒトヽナルトヨブ）オサナキ子ノ心ヲ入テ井ル
ホトナラムシト云ソレニハソレハ成長ノ義ニ多ヒス ヒト・ナルト
イフ詞ニ ソノ心アルヘキ歟

一人ノコトシイアニカタカトアルモノトイフハ何ナル心ソ
カトニ ニツヤウアリ 一ニハモノトカメスルモノシノタメノ石ノ
カトナトノイラヌ率名ルハ平ニトルモ平キ足ニフムモ
アシキ也ヘシ ソレニ二ニハカトアリトいふノ二ニトリ取。

アルモノナルシツハカタカトモ云フ一説アル義也日本
記ニ神襟朗邁不下非才地陸人ト申タリ
才字ヲシカトヨム(キニコソ
一ヒカミタルシヒスカシトイヒモノセスシカタクナト云歟
常ニ此ノ心ニオモヒナラハセリ。但左傳ニ曰不則徳之
義經ニ曰頑不導忠信之言為嚚ト云フツテノ
ヤウニハ多ヒタル歟
一言語ハトモニコトハノ義歟
言語ハモノイフコトセ　但毛詩ニ于時言言于時

語語（カタルカタル）（ナシ）トモ云リ　注ニ正直ニ言語シ口言ト論難シ口語ト云ヘリ
コヽニ直言トイフハタヽチニイフノ心歟　タヽスクニモノイフ
シハ言トシ人ト論スルナシハ語トイハントニヤ　ヒタクチニ
イフ心ニハ非ス　コノ言語ノ釈ハヨノ常ニ遠タリ

一　忠節ハ時節ト節ノ心同歟
時節ノ節ハトキナリ　忠節ノ節ハミサヲキヨキ字オナシ
トイヘトモ意ハ不同歟　日本記ニ忠諭白日節
冠青松トモ云ヘリ　礼記注云節猶験也トハ云ヘトモ
エヘニシルシトナル心歟　蟬ノ五徳ニハ時節ヲ守ル又シ

マタキ

節ヨメソ一極也コレモ二タキ義歟

一愁望トイフコトハウラミノ心トイフ心歟

愁モ望モトモニウラムルナリ楽天夏影詩ニモ惆悵ト

シテ暁蔵者トイヘリ

一懸解ノ二字ハカケトクトヨムヘキ歟

荘子注ニ云懸ハ因生ツ解ハ死ヲ云之ハ懸解ハ生死ト

イフ外同心ナリ死解仙人ト云ナリ

一ミツトキシ清貧トイフハ何心ソミツトキハホタナキ

モノトノミオモヘリ[illegible]キヨクテムハ有行

タノシケナルモノシハキヨケナルトイヒニツキテシハモノ
キタナケニトイフハ末代人ノオモヒナスハヒニツキテウチ
ミルスカタモテナシトイフ。實ニハサニハアラストメルシム
冨濁トイフアヒリニニキハ、ヒキハトリノミタルタル心ノ
ウチ代シソムキ愛著シタルサニカトケカラハシクニ
リタルユヘナリ。ニツヒキハカイスミタルハ冨濁對ニ清
貪トイフ清ハスメル心也。清ハ青ナリサキテ去濁シトヲリ遠ク穢シ如
青カトスセリ澄也トモ云リ
一、業ノ業トイフハ心ト何

良冶ガ子ハ裘ヲツクル良弓ガ子ハ箕ヲツクルト云事
礼記ニ見タリ注ノ心ニ良冶銅ヲ冶スルヲヨクウケタル
器ヲツクルウツハモノヲツクルニハカネヲヤハラカニスル
ヤハラカナル金ヲ以テ裘ヲツクルヲ三年ナラフ同半
ユミニ子ハ裘ヲツクルナリ良弓ハヨクユミツクル
モノナリコレハヨクウツハモノヲ為スコレニナラフ子ハヤナキヲ
以テ箕ヲツクルトヽコレヲ思ヘハオヤニ習ハスシテ
ソノヒロサノアヒニ名ス欤
一属文ノモノトイフハ文ニツヽル心欤

李善カ曰属ハ綴也トイヘリツヾル心ナリ綴ハ作ル心
ナリ作文ト同シ心釈楚辞ノ注ニ續也ト釈セリ綴モ
續ノ義同也

一螢ヲ聚トイフハ車胤カ学問スル事釈
車胤聚螢ト蒙求ニイヘハサコソ思ナラハセトモ
兼名苑ニ呉温龍夜ハ讀書ヲ心無シ油拾螢ヲ照ス
云リ同シテイノナアルニヤカナラス車胤ニ限ラサル釈

一蹴鞠ハイカナル心ソ
コリハ黄帝ノツクリ給ヘルモノ也武藝ヲナラハス、アソ

ヒナラノ後漢書ノ梁冀カ傳ニ見タリ鞠毬ト字コト
ナリトイヘトモ心ヲオナシ 踢毬トカキテハ ニリツンチト
ヨム平ニテナクルナリ足ニテ 蹴ル 蹋鞠トモイフノ
モトハ草ツモテツクレリ毬トカクハソノ心ヲ釈今ハ ハハ
ニテクルノ鞠トカク鞠ノ字ツハキハニリトヨム キハシ
略シテハニリトハカリノ意ヲ釈 此筆ハ惟説キカスノ
愚推也 毛詩ニ跡々タル周道鞠為茂草ヲ云ニリ
文鞠ノ字又嗇ナリト釈セリシトサレトハ ハケムハ
ヤシナフ心ニモヤアラム 又真ナリトモ釈スニリハタカク

アルモノニテ、人倫トイフコトアリトカヤ、成道所
請ニモシタヽアゲテ、タモニサリ、又フタヽビ立ラスヨシ
イヘルサアリ二リノ金經釈 精気款
一體六ハ下臈ノシワザニテカミツカタニハ女コトノ
ヤウニオモヘルハエヘアリヤ、
サセルエヘナキ釈タ。ミチ二年名ル、博新折ノ悲ノム
ヤウニ思ヒナラハシテ、シルニツキテ、ツキヽヽカノキミシナヽ
シタルニヽ今ノ極ウタフモ今ハメクラツヽ聖看原ナ
トノコノミスルコトナルヱヘニ、カミツ方ニモテナサズ然ノ

事ヲ釈ス昔ハ聖武天皇曲水ノ宴セサセ給ケルニ
詩ツクラヌモノニハ五位已上ニ雙六局ヲ爲ハシメ給ケ
物ニハ人ノ別ニ錢人ニ三千貫ツヽタヽサレケリト見エタル又ノ
アリシ人ノ御堂ノ開白ノ時虎殿ト雙六ウチ給ヒケルヽキ
ニキヽリドノヽアレノホシサニ道長トウチ給ヒケルシノ
ミツケテハワレシノ目ヒタニフトハコリ[illegible]タニビケルト
イフコトヨツキノ大十・三ノ二キニアルニヤコレラツ思フニ
サレモゲスヘシキエヘアルヘシトモオボエズ異名菀ニ
波羅一名ハ六采六字也天竺ノ阿育王ノオトヽノ

タヒテ
ケルトキ
菀ニハ

ツクルナリ天監金年中ニハコヽ、大千ノ、ワタルヨミ見ヘエタリ梵
網羅ニ波羅塞戲ト云フハコレ釈可勘之
一ツタカクトヱフハ何ノ心ソ
タシハ樗蒲トカケリノ賭博ナリト釈セリ賭トイフハノリ
モノトヨム賭物ハタトヘハ手モノヽ也博ハ博奕ノ義也
一ユミイルシノ百發百中ノ藝ト云フハ養由カ事釈
養由ハ柳ノ葉ヲ百歩ノ外ニカケテ百タヒハナテハ
モヽタヒアタリシヨリ云フ事ニ紀ニ無名苑ニ精ノ蘭相
如ハ善射百ヲ發テ百ヒ中トイヘリコレシ　オモヘハ

養由ノミニハアラザル歟
一石ヲ虎ト思テイタルハ李廣カ事歟
李廣カ父虎ニクラハレテノチトラシイルト思フニ
石ノトラニヽ名ツイルヨリ没石トイフ事アリ又ハ開
石トモイフ兼名苑曰漢ノ李廣カ父為ニ虎ノ所ル食
張テ弓ヲ三年於テ山中ニ覓ルニ虎ヲ不得忽ニ見ニ石ノ状
似タル虎ニ廣射ル石ヲ没ス箭ヲ故ニ名ニ開石ト也又韓子
外傳曰昔者楚ノ熊渠子夜ル行テ見テ寢石ヲ以テ為
伏虎ト彎ヒテ弓ヲ為ニ射之ヲ没ス金羽ヲ下テ視ルニ知ル其ノ石ナル事ヲ

開

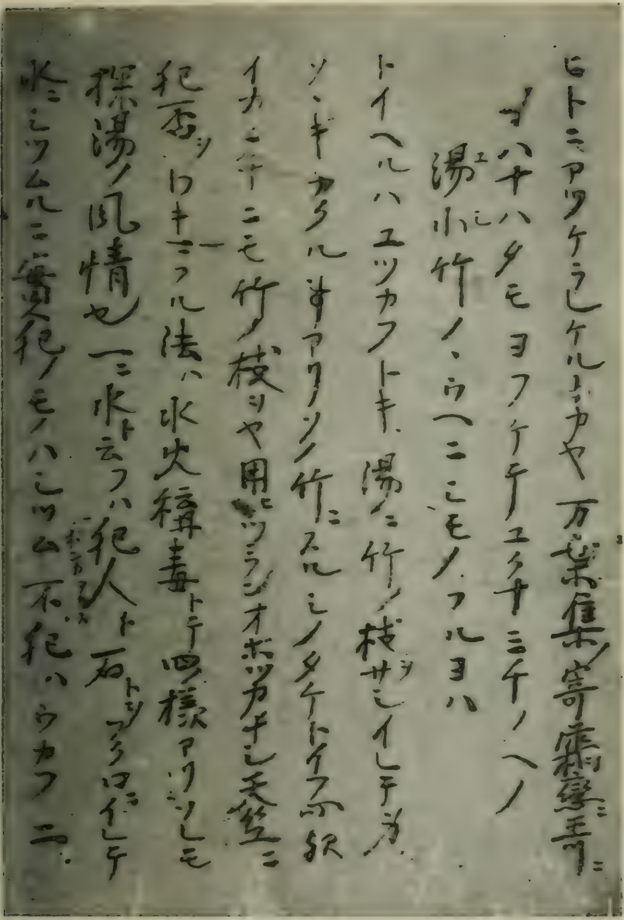
因テ復タ射ルニ之ヲ矢摧ケテ無シ跡ト云ヘリ羽トイフハ箭ノ
異名也ハチニテハケハナリ金羽トイフ金ハ矢ノじりヲ云
又北史節要第十七ノ李遠字萬歳傳云嘗テ校獵ス於莎
柵ニ見ニ石ノ叢薄ノ中ニ以為ク伏兎ト射ル之ヲ鏃入ルコト寸餘視ル
之ヲ乃チ石ナリ周文聞テ而異トシ之ヲ賜フ書ヲ曰昔李將軍
廣親ク有リ此事今復タ爾リ可シ謂載ス其迹ヲ矣ノ
此等ヲ見ルニハ石ヲイタルタメシアマタアルニコソ李廣
ノミニアラザリケリ呂氏春秋曰養由基射ル兕ヲ
中ル石ニ矢飲羽ストモイヘリ高誘ガ曰飲矢ト云ハ没ルコトヲ羽ニ也

一
探湯トイフハ湯ヲ九心ノ
ミコノニツカフトイフハアワセミテイノサセ紀ハノ
トカシアラカフシ変シテ、イツハリアラハスヘキコトセ
昔允恭天皇ノ御時ヨリ人オホク我カ種姓ノ
イヤシキヲイタミテ、他姓ニ入ヨリテ、本姓ヲワスレナフ
御門此ノ事ヲ歎シニタリカハシキサツナケキ、オホシメシテ
其ノ實否ヲサタメンカタメニ、大和國勅橿丘トイフ
所ニ大ナルカモヲスヘテ、探湯ヲセラレケルニ、イツハリテ

メシテ

他姓ト云ルモノ探湯ニ身ヤケテ損シタレケリ
ニヨトノ姓アルモノハ、ヤケスコレニヨリテ姓ヲアラタ
ムルナハ、トヽニヲニケリ、タヽエワカレタリケル大臣ニハ
高市郡ニアリト見エタリ、今ハイカヽナリヌラム、コノ
御門ノイカタキヨリハシニリテ、ノチノ御門代ニハ
度諸姓ノ氏文ヲメサレテ図書寮ニオサメラレケリ
譽田ノ天皇ノ御宇ニ武内宿禰筑紫ニクタリ
ケルニオトヽノ甘美内宿禰ト云フ人武内ヲウタヘ
ホハントテ高麗百済ヲカタラヒ御門ヲカタフケ

タテニツラントスト讒申ニヨリテ御使ツカハシテ
武内ヲウチテ、ニイラセヨト、オホセラレニ真根子
トイフ人カタチ、タケウチニタカハサリ、ケレハカ、ア
ヤニチナクシテ、命ヲウシナハムコトヲ、アハレミテノ
武内ニカハリテ、シニ、ケリ武内ハミヤコニノホリテ
アヤマリナキコヽロ申シヽトモ、ヒラキチケリ、シトヽノ耳美
内ノメシアハセラレニ、カタタク、アラカヒ申ケレ、
ソノトキモ探湯ヲシタリケレハ、耳美ヤケニ
ケリ武内コロサントシケルヲ御門アハレミ給ヒテ



ヒトニアワケラレケルニカヤ　万葉集ノ寄露恋ニ
一ヨハ千八タモヨフケテユクナヨチノヘノ
湯小竹ノ、ウヘニヽモノフルヨハ
トイヘルハユツカフトキ、湯ニ竹ノ枝サシイレテオ
ソヽギカクル　ナアワリソノ竹ニスルヽノタケトイフ訳
イカニ卅ニモ竹ノ枝ヲヤ用ヒツラジオボツカナシ天盤ニ
祀不シ　口キヽフル法ハ水火穢毒トテ四ノ様アリシモ
探湯ノ風情也一ニ水トイフハ犯人ト石トツカミテ
水ニシヅムルニ無過犯ノモノハシヅム不犯ハウカブ二

火ト云ノハ鐵ヲ赤ク焼テソノ上ニ坐セシメ又或足ヲ焼テフミ
或ハ舌ニテ子ブラスルニ、シカセルハヤク、シカサヽルハ、
ヤケス、是ヨリハキ人ノ火氣ニタエサルシハ火ニムケテ
ツホメルハサシナケサスルニ不犯ハ花サク實犯ハ
ハナヨカルニ構トリノハハカリノ一方ニハ石ヲツケ一方ニハ
人ヲツケテ輕重ヲミルニ犯スルモノハ石サカル
無實ナルハ石アガル四ニ毒トイフハ羊ノ右ノモヽヲサ
キテモロヽノ毒ヲ入テタハシムルニ、シナシアルモノ死スル
トカナキハシナズ

ヲサリ

一五刑トテ人ヲツミニ入ル刑ノ数五ケ條成セ
刑ノ字ヲハサストヨムコノ字ヲ釈スル二ハ刑者成也
一殴ニ其肉ヲ終ル身ヲ永ク定リテ不可復也ト云リナカ
キレキスヲツツクルナリ五刑ニ二ツ多クノ説アリコレニ新
古シロカテリ
一ニハ墨コレハ額ヲキザミテスミヲ入レテクロクナス　二ニ
劓コレハ鼻ヲソク　三ニハ宮男ハ勢ヲサク女ハ幽閉ス
トテコメテシクモ　四ニ割コレハ耳ヲキル　五ニ刖コレハ足ヲ
キル　剕トモ云フ又ハ割刑ヲ略シテ大辟トモイフ　尚書孝経ニ見タリ

墨劓宮剕大辟也大辟ノ外ハ肉刑ナリ大辟ハ

辟ハ訓ニツミトヨム又ハ法ナリトモイヘリ孝経ニ九ツ五刑

五辟トイヘリ又大辟ニ五アリ大辟ヲバ日本記ニシヌルツミ

トシヨメル死罪也一、轘裂 ヨノ人ヲ車ニツミトイフ乃ニサキ也

二、磔 ヨノ人ハハリツケト云フヒ左右ノ手ヲ

三、梟木首 コレハクビヲキリテ木ニカケ獄門ノヨリ

アフチノ木ニカクナト云フ コレナリ

四、腰斬 又腰斬トモ コレハコロニテソノ上ヲミニスリテ

モテニワルナリト釈セリ神ニニツル釈

五、三族ト云フハ父ナヤカラノ母ナヤカラ妻ナヤカラナリ或ハ

三人ナリ父ト子孫トコノ三人ヲコロスト云ヘリ縁意時

ヽミタカフニヤ、ヤカラトハ、ミダリニキ概トミル）

カミニイヘル五刑ハ秦ノ代ニモチヰル概也）秦ニハ

刑ツカラクセルニヨリテ皆至ノスエヒサシカラス

國語ニ識文ニ仲ノ中ニ刑ニ六用ニ刀鋸其次用ニ

鑽笮、鑽ハ穿也笮ハ鑿ト通スル字也）ヨノ二

刀鋸トイフハノコギリニテキル、鑽笮トイフハホリ

クビナリノサラニ五刑アリ今ノ世ニ行ナフル刑ナリ

一（二八）笞ニムモトニテノウツ　二（三六）杖ツヱ（ウツカスナリ

三（三六）徒　徒役トテノ、又ミコメテツカフ人ルコトニ随テ年限アリ

四六　流　配流セラルヽ也

日本ニハ伊豆　安房　常陸　隠岐　土佐此ヲ

遠流トイフ　信濃　伊与ヲハ中流トス　越前

安藝ヲハ近流トス　此ノ外ニツカハス國々ハ上総

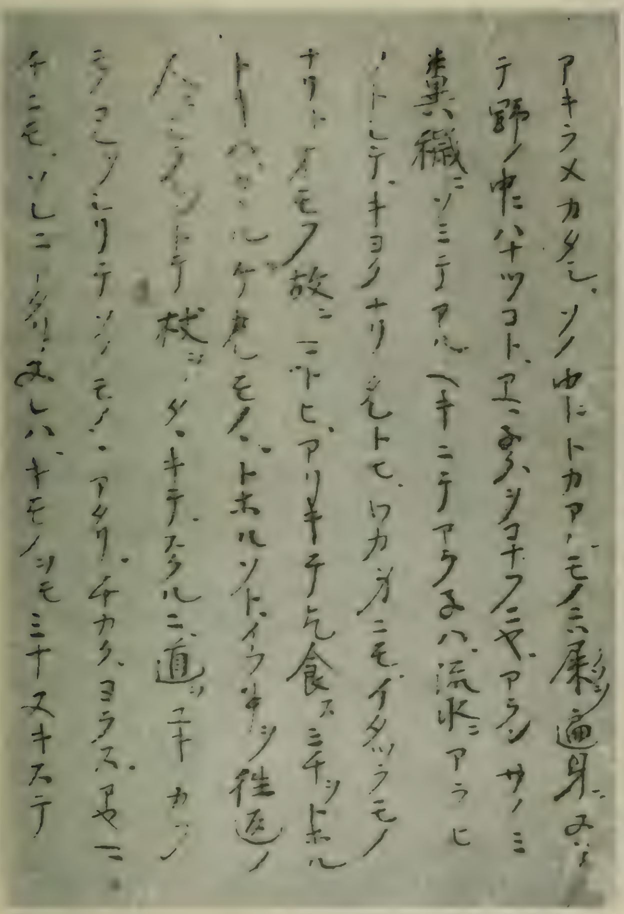
下総　陸奥　越後　出雲　周防　阿波等也

豆ニ死カウヘツハヌルハシモシイヒシエフツハクヒルトイフカラニ
死ノツミハ今ハタエタリ

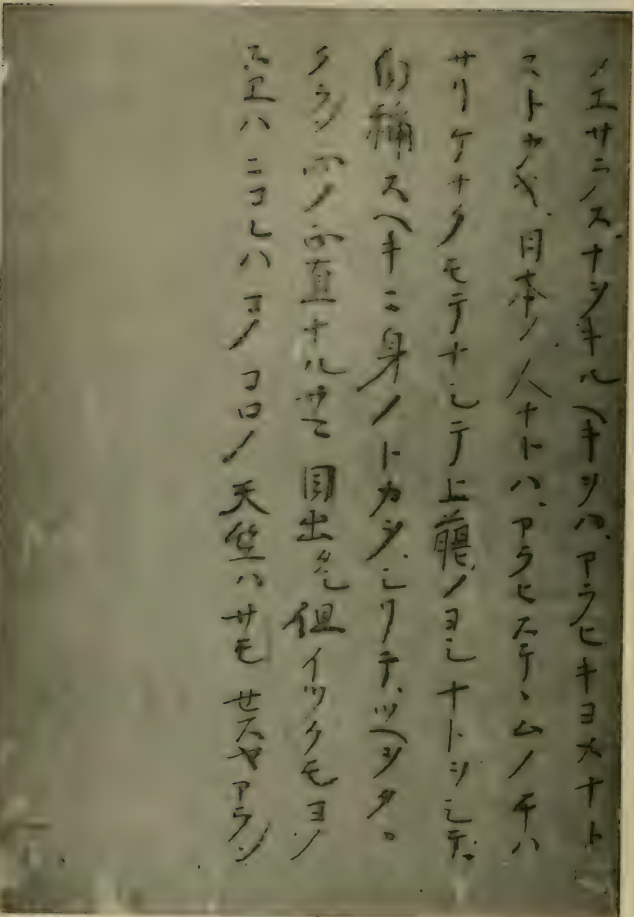
天竺ニ刑ノ事コナフコト死罪ヨリハシメテカロキニ至ル

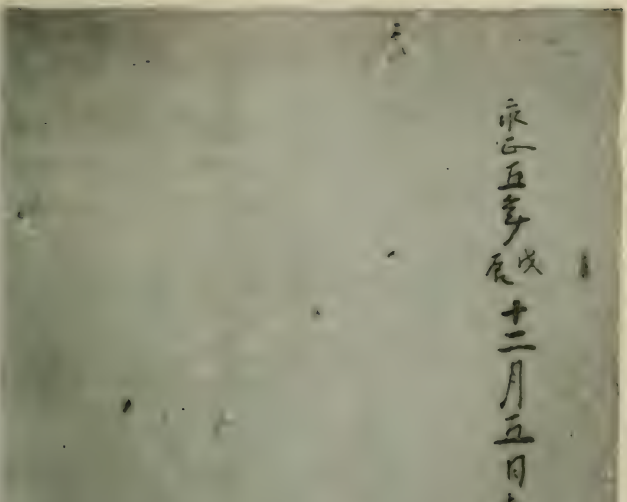
ツヨフノヽテ一々ニ用フル事ノ二タフナシトモ九ハアル事ニ我國ニ

ヒロ首ハ風俗ノコノミモ人ヒトヘニカラサル故ツアサニハ

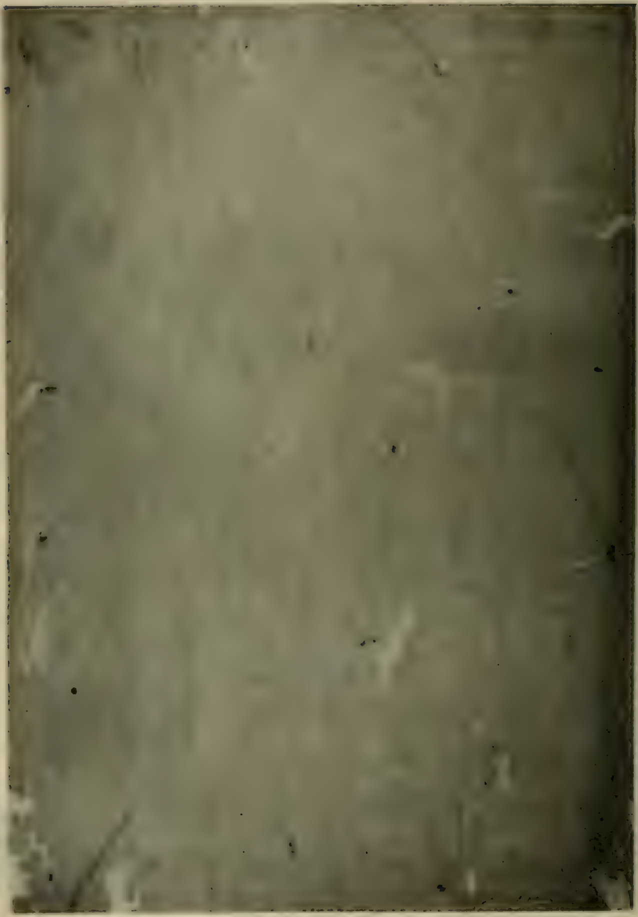

アキラメカタシ、ソノ中ニトカアルモノニ屡遍身ニ[illegible]
テ節ノ中ニハナツコト、アニ[illegible]シコナフニヤ、アランサノミ
業、織ニソミテアル、ヘキニテアラ[illegible]ハ、流水ニアラヒ
ソトシテ、キヨクナリ[illegible]トモ、ワカオニモイタツラモノ
ナリトオモフ故ニ、ニホヒ、アリキテ食スニチツトホル
トハ[illegible]ルケ[illegible]ルモノ、トホルソトイフサシ往返ノ
人ニ[illegible]インシテ杖ツキテ、アタルニ道ツニキカン
ミソコヒソミリテソノモノ、アタリ[illegible]カク、ヨラス[illegible]ニ
テニモ、ソレニタリ[illegible]レハ、キモノシモニナスキステ

アルモノ……スリ


ノエサニノス、ナシキルヘキツハ、アラヒキヨメナト
ストカヘ、日本ノ人ナトハ、アラヒステ、ムノ手ハ
サリケナクモテナシテ上體ノヨシナトシテ、
御稱スヘキニ身ノトカメニリテ、ツヘシタ。
クラン所ノ所直ナルサマ 聞出タシ 但イツクモヨノ
衣ハ ニヨヒハ ヨノコロノ 天竺ハサモ せスヤアラン



永正五年戊辰十二月五日書之



四五四

塵袋七
佛事　寶貨　衣服　管絃
无量光院

一三尊六ハ脇士二形本尊一形也
一サハトハト云ハ三鈷欤鐵鈷ハ
一声明ト云フ仏法ニカナヘル欤
一生像金銀宝物トモ云ナリ
一不越本誓トモ云ナリ
一真如新真王御寺ケフナラクナラクノソコミ入寺
一堂前ニ池シホルナリ
一シリソヒハタクサニケカルト云フ寺
一霊験所ニ本尊ノ斗帳ナリ
一刀布トハ何ニ物ソ
一懺悔ト追悔ト同シ心欤
一合殺ト云フ其心ハ何
一僧ガヘシ何口トモナリ
一経ニ咄哉男子トモ云ハ何ソ
一高僧名徳中ニ大師号トス
一菩提樹無過シ勤ル寺
一ワタリ花ヲ仏ニ奉ナリ仏世ヨリ別ル欤
一茶毗リ花ハ人中ノ希有ノ花ナリ
一下臈小屋ニ縄ニ樒葉ヲツケカクルナリ
一銭ヲ二口トモ云ナリ

一金ヲ披沙トナツクル如何　一直千金ト云ハ千両金歟
一冊具ニ紺青ヒキ金青ヒキカクナリ　一蜀錦ト云ハ何錦ソ
一珠玉ハ同物歟　一木難トハ木ノナヤミタル也歟
一衣紫トカキ名ハ紫衣也　一雨衣トモ云雨皮ノ名歟
一縫裾トハ小児ノ便利ウスル物也　一大口ト云名何ナル義ソ
一モノヽ文ニ四手ウ文トミエタリ　一アヤノ文ニサチヤウト何義ソ
一連銭葦毛ヲレンセンアシゲトヨムナリ　一犀纏ハウヒヨニサナリクル也
一ワラウツノチトミユルハ野ノアツム歟　一裏ノ裨ハ一向僧ノキモノ歟
一千秋万歳法師ハ何ニツクル也　一世ノ人ノ甚ツル
一琴ヲ擧トナツク一管具ニイハルヽ物也　一[illegible]

一管絃一三三ヨリ三三[illegible]
一囃嘈サンソウトハ拍子ヲ打ナル　一鄭衛ノ音トハ[illegible]
一管絃トハ管ハ笛フエ絃ハ琴コト也　一横笛ハヨコフエ横ニ持テ吹クナル
一篳篥ノ二字ハ何ナル心ソ　一篳篥ハヒチリキ[illegible]
一簫ノ字ハ竹ニ肅ノ字ヲ書ハ竹ニ[illegible]　一管絃ニ大食ト云調子アリ
一伎楽ト云ハ伎ノ字何　一呉楽ハ崑崙ノ楽
一子衍シテ天下ハ鶴ナトノ様楽ヲ様楽ト云也
一様ルジノ舞楽ト二字ハ何　一孟嘗君ハ琴ヲ聞テ泣シナリ
一秦皇ノ獣楽ヲ東ヨリ上アリ　皇ニ別名アリヤ
一千年モノニヨロヘハツ。ハ千シト云フハ何ナル心ソ

塵儀第十 [illegible] 備書 [illegible]

三尊　懺悔　出飯　合斂

聲明　何口　生像　吐書

不越　謚号　桑落屋　非酒水

堂前池　造花　作立燈花　希有花

斗帳　灌頂　刀幣　因缘

樹沙恵金　直千金　金青　寶餅

珠玉　不離　衣裳　雨衣

[illegible]　各口十口　四口[illegible]　封帳

連錢
纓
屐耳
鼻廣（撩蝶）

甲（帽子）
雀尾
琴
五絃（阮咸）

箏絃
玉柱
筑
呉妻

管
吹
篳篥
簫

簧
大食（元食）
伎樂
崑崙（呉樂）

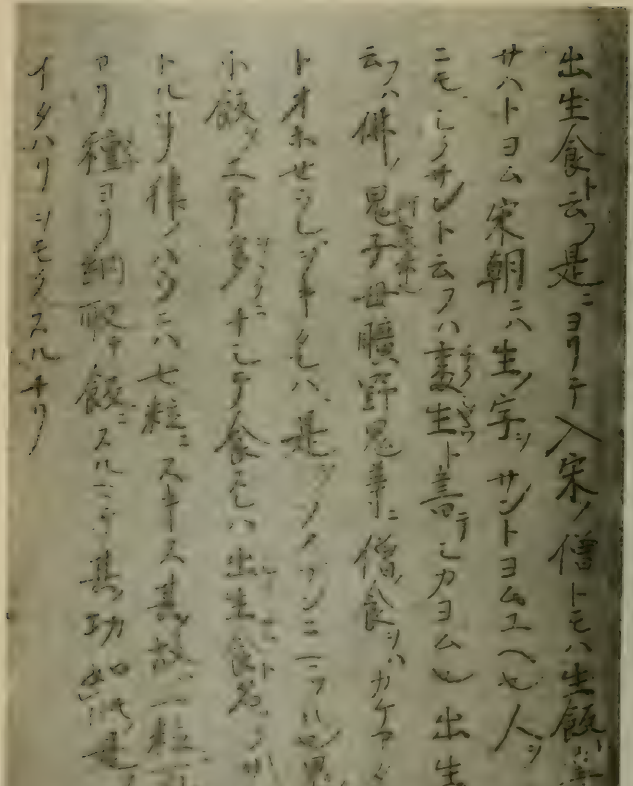
採桑老
振桙
雍門彈
河伯冒

發絃

一三尊ト云フハ脇士二躰中尊一躰ノ佛像ニ限ルヘキ歟
也シテ佛像ノミニハ非ス聖教ノ中ニハ佛法僧ノ三宝ヲ
三尊ト云フ儒教ニハ父ト師ト君トヲ是ヲ三尊ト云フ非レハ父ニ不
生非レハ師ニ不學非レハ君ニ不仕ト云ヘル是也
一懺悔ト云フモ追悔ト云フモ同シ歟ハミシワタリテノ
後ニコソ懺悔ハスレハ追悔トモ云フ歟
天竺ニハ懺悔ヲハ痾鉢底鉢刺底提舎那ト云フ
痾鉢底トハ罪過也鉢刺底提舎那ハ對他説也
此ノ故ニツヽメテ説罪ト翻ス古ヘハ懺悔ト云フ今ハ多ク

舊ノ間ニ大ナタニ罪業ノ悪ニカナキニヒタス
レノ畏テ天ヲウタラニヒト思フヒ天地ニ懺悔スラシハ
ヨリ〻ノコトニハ追悔ト懺スル我等ニ蔵是故ニ
是請懇願ノ回点ニ追悔ヲ多フヒカコトメ
シテ人ノトカムル時ニコトニ催サレタルモノ
ヘオハラタチ給ソトコシラヘテ怠ソコフニ足サレハ
懺悔ト追悔トハソノ心オホニナクス

一 サハトルトイフハ三把釈三飯釈散飯釈
昔ヨリ思ヘ書習ハシテ一准ナラス宋朝ニハ生飯ハ


出生食ト云フ是ニヨリテ入宋ノ僧トモハ生飯トモ書テ
サハトヨム宋朝ニハ生ノ字ヲサントヨムユヘ人ノ入ル
ニモ云シノサンレト云フハ數生ト書テミカヨム也出生食ト
云フハ佛ノ鬼子母曠野鬼等ニ僧ノ食ヲハカケアタヘヨ
トオホセラレシ事ナレハ是ヲノメサンニニアル鬼ヨノ
ホ飯ヲ三十穿ナニレテ食セシハ出生食トモ名ツカハノ
トルサノ作ノハシニハ七粒ニスキス是故ニ一粒ヲ功
アリ種ヨリ納取テ飯ニスルニテ其功如此ト是ノ簡
イタハリシモタスルナリ

飯ト書テ

一合殺ト云フハ其ノ心如何

是ハ古来ノ難義也一ノ會釈ニハ樂記云其ノ哀(カナシミ)心感スル者其ノ声噍(スミテ)ニシテ以テ殺(ツカル)ト云ヘリ念佛ノ声ハ哀聲ノ殺(ツカレ)カナフ故ニ合殺ト云フ歟殺モ殺ト同也殺声ニ合(カナフ)ハ合殺トイハンコト其ノ謂(イハレ)ナカルヘキニ非ル歟文集ニモ鐵ノ声ハ殺ニシテトイヘルハタ白カ子ノナルコヱニ通ル歟ヽスミトシリタルニヤ

一声明ト云ヒテハ僧ノコヱヒノ所作ハ一向ニ仏説ニアル歟源ハ佛ノ説也所出言音ニ十梵字ノ声也文ツヲ声ヲ

一、出家ノ佛ノ功徳ヲ美シテ讃歎スルナリ経ノ中ヨリ出タリ
但又俗中ヨリイテ名ルナアリ魏ノ時陳思王植ト云ノ
字ハ子建武帝ノ第四ノ子也七歩ノ詩作ル人也
此人魚山ニユキテ空中ノ梵天ノコヱヲ聞テ其音ヲウツ
シテ梵唄トス轉讃ノ七聲ツクリ曲折ノ響キノ
昇降ストヽ云ヘリ諸経要集ニ見エタリ 又名苑ニモ
アリ其ニハ巖岫ニ嘯ノ梵音ハ哀亮ナルシ キクト
云ヘリ空中トハ云ハス 也ニノホラノ行ニ聲明ノ
アリ所ハ二也 有ニ年 竟ハ又ト云ヘリ アカラサニノ

出タリ

ナドニモアラクス、三年ノアヒダ声明ノ音ヲアラワケルニコソノ
陳王ツネニコノ所ニイタリテ、ウツシトリケルナリ
瑞應經ヲハシメトシテ經ヲヨム声明モ卅八ニテ
ナラヒトリタリケリ。魚山ト云フ山ハ魏郡ノ北ニアリ
石ノ魚アリ、イロカタチ分明也。是故ニ魚山ト名ク。漢
朝ノ声明ハ此ノ陳思王ヲ祖師トスヘケレハ、倭中
ヨリ出タリトモ可云キニヤ。
一 僧ノカスシ何ホトト云フハ、僧ニ限ル詞ハ、奴ノ人数ヲモ云フ。奴
常ニハ僧ニ限ル。僧シハ齋ツシトニノヘテ供養スヘキ イ化

イハレ

士ハ愛臣ニツキテノ其本所ノ舊記誌ニ曰ト云フ、
鹿ヨリハイクカシラト云ヒ其ヨリハ何頭ト云ヒ鳥ヨリハイク羽
ト云フカ如シ凡ノ人數ヲ何口ト云フ一九サテモ跡ナキ二八
非ス日向國古庭郡ノ湯郡ニ吐濃峯ト云フニテ
アワ神オハス吐乃ノ大明神ト申スナル昔シ神功
皇后新羅ヲ而于給ヒ時ニ此ノ神ヲ請シ給テ御船ニ
ノセ給テ船ノ舳ニ令ツ據ヘ給ナルニ新羅ヲ而于トテ
皈リ給テ後鞘馬カ峯ト云フ所ニオハシマシテ新羅
テ……時ナ土ノ中ヨリ黒……給ヒシ……

云フ歟

ヲノハ穴ニテ爰ヨリ出テ終ニケレハ。男一人女一人ソ
アリケル其ノ神人トシテ迯レ住ヒケリ其子孫今ニ
殘シテ是ヲ頭黑ト云フ臨テホリ出サル、精頭黑ノテ
サシ出タリケル故ニヤ子孫ハヒロコリケルカ疫癘ニ
[illegible]死失テ二人ニナリタリケリ其ハコトシカノ國ノ記ニ
云ヘル二八日ク、ニ死盡テ僅ニ殘ル男女兩口ト云ヘリ是ハ
國ノ守神人シカリシカヒモノ、國役ニシタカハシムル故ニ
明神イカリシナシ終テアシキ病シコリテシニケルセ
是ヲ迯シハ男女シモ口トハ云ヘキニコソト覺エ侍リ

思ヘハ

四六八

御覽ルナ

吐濃ノ天明神ハ癰瘡ヲニシナフニ效イヤシ給フト
カヤ彼ノ国ノ人ハ明神御方ニ向テ頌文ヲシテ云
吾常以世為 鴻鵠争此物
高於世若有 懐憤並金錢
ト唱ヘテ秤トモノシテ朝コトニ三度アツル
コトニ月スレハ癰瘡イエヌト云リ其ノツイテモハシルス
一生像金銀宝物ト云ノハ何ナル心ソ生像ハツクリ物歟
生像ト金銀トハ胡号漢語ノコトナリト云ヘトモ
トモニ二ツナカラノ金銀ト云フ歟善見律ニ蕪ニ金生ト云フ

モトヨリ

コトハモモトヨリ黄色ナル物ト云フ心ニ生得ト云フカ
コトヽ、銀ノ像ト云フハ、白キカネヲシソメテハ黄ニナル
ツクリナシノハカリナルイロナレハ生身ニハコトナル
ヨシニテ像ト云フ物躰ニハ人ノ容形ト釈シタリ此ノ説ニハ
モチ井ス。タトヒ仏像道具ナリトモ金銀ヲモテ
ツクレルシハ僧ノ手ニトルヘノスヘキ戒ノアルナリ人ノ
ホシカルモノナレハ、イサヽカヨク、トシサカル（キセカツハ
俗人ノウタカヒナル（キ、イハレニヤ律文ニ四子ナラス
、名囲トモアリ草木ノ葉ヲハ鬼神村トナツケノ舊御寶ト、

白男子ナリハ故トナツタル事也是モ其ノ随一也
一経ニ咄哉男子ト云ルハ何ノ心ソ
咄哉シハ訓ニハヤトヨム咄哉男子ト云フハ此ノ逸ニ
ヤトノト云フ同シコトセ）惣シテイハントテ、タヽ云フハ
アキくちノ子ハ、ヨヒムケテ、ツヽムカヒニ云フ心セ
セメフスル心セ）後漢ノ光武帝ノ昔ノトモタヽナ
厳子陵カ名ルシ帝腹シサスリシコス詞ニ咄く
子陵ト云ヘリ後漢書ニアリ
一不越本誓ト云フハ本誓シコエ又欤

一也

字ヲハ

常ニハ越ノ字ヲハコユトヨムサレトモ一不越ハタカヘストト
云フセ一不遠弘羯トモ一不越トモ云ニツノ其ノ心ニテイ本糯ニ
タカハスセ真言裟ニ越三昧耶ハ心ニアリ心ニ十同釈
一高僧名徳ノ師ニ大師号カウフルト常ニハイハサルツカサイ
アルヘキ歟
別ニ大師号ト云フコトハナシ謚号也李唐朝ヨリ云フ
謚ハ名也又謚法ニ云謚ハ名也又謚法行ノ迹也ノ行
徳アル僧ナトノウセテ後其ノ跡ヲ思テ徳ヲ表スル名ニ
名ツケ号ラルヽ也大師ノ二字ハ道業ノ祖師ヲカシツクヽタ

カシツク

詞也大師ノ二字ノ上ニ謚号ヲヨヒツヽケテ弘法大師
トモ傳教大師トモ申ス也大師号トイフ事ハアル〈カラス
一 真如親王ノ御哥曰
イフナラク ナラクノソコニ入リヌレバ
剎利モ首陀モカハラサリケリ
トアルハタヽ大方ノ道理ヲ聖教ノオキテニヨミ給ヘル歟
又サヘタル證文ヲトラヘテ其ノ心ヲヨミ給ヘル歟
蘇婆呼経ト云フ真言経アリ彼ノ経ニ云 剎利ト婆羅門
毗舎輸陀是等無ニ差別一良由ニ世間妄分別ニ説ニ
故ニ

假リニ立タリ名字ヲ共ハ能ク修スル善ヲ當ニ證ス涅槃ヲ若ハ不ハ許ト

因果ヲ莫レ論スル事ヲ四姓ニ一切造ル罪ヲ者ハ皆ナ入テ無道ニ受ク

苦ヲ非ス但シ四姓ニミト云ヘリ此文ニワキテヨミ給ヘニコソ

アラメ始ノ五字ニイフナラクト置タルモ説ナル所アルコト

叙蘖婆ノ呼童子ト云ノ并オハシニス天竺ニ蘖婆ノ

呼ト云フハモロコシニハ妙膊ト云フ此ノ妙膊并ト云フハ

或ハ金剛鏁并ノ異名ドモ云ヘリ此并ノ執金剛

并ニ問答シタニヘル事ノシトケル頌セシハ蘖婆呼頌ト

云フ天竺ニ四姓アリ一ニ刹利是ハ帝王也劫初ノ

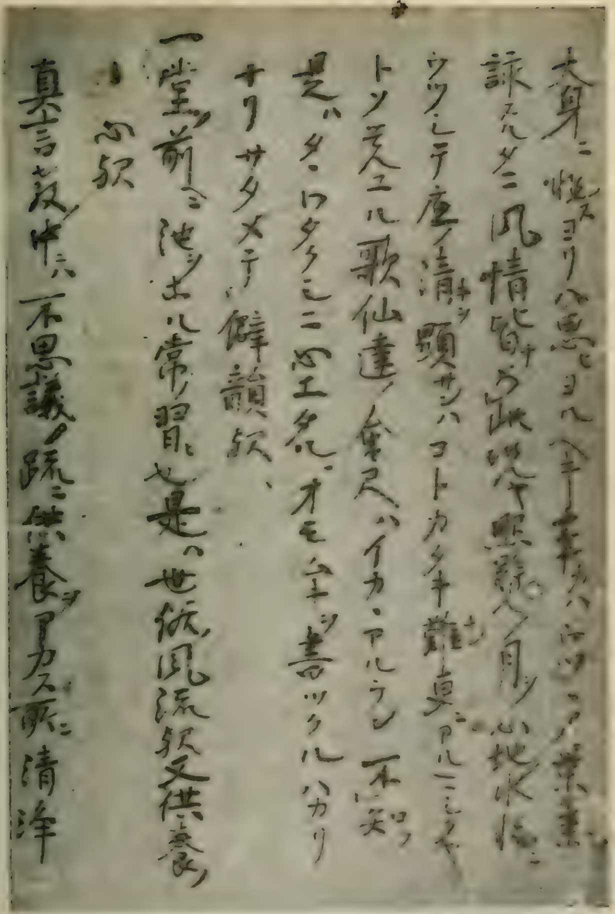
平等王ノスヱ也 二ニハ婆羅門是ハ大臣種姓ハ
三ニハ毘舎コレハ商人ナリ四ニハ輸達羅コレハ農人也
理ヲシラサルモノハ貴賤ヲ論セス四姓ヲワカタス
ツミニヒカレテ地獄ニ入ヌ地獄ニテハ上臈下臈
モナシト云フ也奈落トハ地獄ノ名天竺ノ詞也コヽニハ
若悪ト云フ弘法大師真如親王ノ御尋ニ答ヘシテ
ワレハワリタルコヽロニシヽレル人ナレハ但他識多イニテモイヌルナリ
トヨミ世俗ニ云ルコトハコレラヌヲモノナキニヤ達磨ト云フ天竺ノ
コトハ、コヽニハ法ト云フヨク其ヲ存テニ言ヲ多ニヘルトイフ

心也。達广ノ二字ヲバ、タツマトモヨム、タラマトモヨム、タルマト
モヨム。教殊ノ名ニモ是也。漢音ヲ本トスル時ノヨミ也
タルマ、タラマハ梵音ニツキテヨムヤウトモ也。世俗
ニテモ、ラリルレロハ一具ノ通音也。名ニ宗ト云ハ、禅
宗ノ祖師ニ達磨大師ト云人ガハジメケリ。彼ノ宗ノ
得法ノ人ニテ名タカケレバ、祖師ノ随一ニヒカレテ達广ノ
宗ト云フニヤ。今ニ達广ヲ知ルト云ルハ、久知法ノ義也
禅家ノサタニ、般若怛他識多トハ天竺ノ詞ハ、ココニハ如来ト
云フカクノイミシク、法ヲサトリ給フハ仏法ニモイタリ給フタ

カレトハ、王又申サルニ也、佛位ニイタルトノ給ヘ、甚タ難
シ。并ハ、權者ト思召テ其本ヲサシ給フ。エヘニノ給釈又入
壇傳法ハ成佛ノ事業ニハ、佛地ニイリ給フヨシヲホ大
給フ釈、両端ノ易ニ迷ヒ、真如親王ハ大師ノ御弟子也
高岳ノ親王トモ申ス。平城第三ノ皇子、モトハ儲
君ニテオハシマシケレトモ、其ノ職ヲ廢シテ後チニ
出家シ給ヒテ天竺ニ渡リ給ケルカ、羅越國ト云フ所ニテ
虎ノタメニクラハレ給ヒニケルトカヤ
一 菅丞相ノ無過事ヲ歎オホシメシテ、ヨ一セ給ニ

御哥ノ中ニ　菅家ノ御集ニアリ
海ナラズタヽヘル水ノソコマデモ
キヨキ心ハ月ゾテラサント
ナド云ヘル御詠アリコレニ海ナラズタヽヘル水トアルハ何ニ
水ノ四タ行
池ヤ澤ノ水ナドニハ非ズ　水輪際マデモトヨミ給ヘル
ハヘシ　海コソハ衆水ノ王ト思ヘトモ其レシ[illegible]
ハ上ハヨノ何ヨノ水モ千井テシカタク　海水猶シタラザル
故ニ外ナラシ所ヲ　海ナラデハ水輪コソ満タヌニアリ

タラズト見ユルモ水輪ノ座ニテモトト云ハ心モ深ク大ナルノ
証拠モハ、コトキハニリテ、キヨユ月ヨリ何ソノ空ク照ス昨
冥ノ照咲ツ月ニタトフルハ地際金輪ヘ攀テ第カ一下照トノ
云雖モアル、ヘカス座ニテモトツ、ケタルコトハニカタキ、
事ツ多シトスル心アラソハレニヘ。イナハモソヨト秋風ノ
吹ナト云ヘルモ定ヘニ昨今日雨日ニ限ヨト畢ラスタル心ツ
顕サムトテ昨日ノサキヘ今日秋風ツモ、アカス鳴ナク一声ニ
アクル、シノ、メト云ヘトモ識ニ郭公ノ上声ニ一聲ジムチヨタ
スル事ハ十シ年ニトル計リ又ル月ニ旅スルモ阿眠陀ノ


大身ニ惟スヨリハ思ヒヨルヘキ事ナトハ詣ツコノ業ニ
詠ズルダニ風情皆ナラ此比ハ野露ノ月ノ心地ハ侍ニ
ウツシテ座ノ清キ顯サンハコトカタキ難事ニアルニヤ
トゾ覚ユル歌仙達ノ余尺ハイカヽアルラン不知
是ハタヽワタクシニ心エ名ルオモテシ喜ツクルハカリ
ナリサタメテ僻韻歟
一堂ノ前ニ池シ出ル常ノ習ヒ也是ハ世俗ノ風流歟又供養ノ
心歟
真言七夜ノ中ニハ不思議ノ跡ニ供養ヲアカス所ニ清浄

景氣ヲ

山水草木花香ト云ニリ山水ヲステニ供養シ申セリ
池ヲ穿リ山ヲツクモ供養ノ心ナルヘシ　観泥中金月　知善去胸念
一ツクリ花ヲ佛ニタテマツルハ世間ノ意楽歟如何アリヤ
寄帰伝ニ云冬景ノ行時ニ或ハ花ナ闕ヘセハ翦諸ヲモロクノ
繒綵ニステツクテ為ニ花蕚ニ郁烈ニ金ミスニ名香ヲ設在ニ
世尊ノ前ニ斯亦佳ト云ヘリ又阿闍世王佛ノ御タメニ
ナムコロナル志シツクニテ他人ノ手ヲ不交ヘテ手ヅカラ花ヲ作テ
釈尊ニ供養シ奉ムトオホシテ、ハケミ給フニハヤクモ作リ
出シ給ハス日数ツモルアヒタ仏ハステニ涅槃ニ入給ヒニ

ケレハ空ク花ヲ拈ケ泣悲給フニ識心感シテ併ケ更ニ
生身ヲ現シ給ヒケルト云ヘル事アルニヤ遂可勘之人無者向リ
佛在世ニ其ノ造花ト云フ事ノアルニヨソ
一シワツレハ手フサニチカルト云フ事ハ作意私ノ見

情叙有所見叙

寄傾傳ニ蓮花石竹則夏秋散シ金荊桃
香ハ乃チ春ノ月ニ敷キ紫木槿石榴ハ随テ時代發シ朱ヲ
櫻素奈ヲ艾遂ニ部ヲ還テ能ク園ヲ觀ル蜀葵之流山庄
香草之類須ク持チ来リ布キ列フ無ク莫シ遙ニ指ス樹園ニト

云ニハ、オリトツテ供養スヘキ事便宜ナクハ園ナカラ
供養セヨト云ヘルニヤ、サレハ必テナカラ供養スト云フ是也
一、芬陀利花ハ人中ノ希有花トウケタマハル、何ニ花ソ
善導寺和尚ノ観経ノ疏ニ、蜀葵花ナトノヘ給ヘリ
翻譯名義ニハ芬陀利ヲハ此ニハ云白蓮花ト云々
又、醫師云、未敷ヲ名ヲ屈摩羅ト、将ニ落ントスル名ヲ迦摩
羅ト、処中ニ盛ナル時ヲ名ニ芬陀利ト云ヘリ。弘法大師ノ法
花秘釈ニハ、白蓮花ト申ハエタリ。敷外ノ葉ハ擬テ白ノ
衛ノ内ニ向カ色衛ノ、敷七此ノ花ナキハメテ菩ニ映瑠璃玉

釋女ノ手足ヲ洗ヒトリニシテキリシトキ此葉ニ著
無熱池ニ行テ八功徳ヲ以テ此花ニツヽミテ釈女ニバギ
シカハ身心安樂ニシテ天上ニ生シキ其花ヲ池ニ弃タリシ
種トナリテ彼ノ池ニアリ池ト云ハ截手足池也念佛
宗ハ義ヲ淺ク談スルヲ本意トセリ此ノ花ノ事ハ善導
和尚能ク知リ給ヘリト云ヘトモ妙法蓮花ノ最深秘
密ナルカ故ニカクシラスシテハアカシ給ハス又蜀
葵花ナトノ給テ傍説ニユツリ給ヘリサレハ今世ニ
觀經疏ノ談義スルニモ未タ祖師ノ意ヲ探サル

檀

故ニ云ク此ノ花ノサクヲ不謂（イハス）未越テ打棄（ステ）非ト云ニ其ノ謂レ

一 霊験所等ニ本尊等ヲ奉籠御帳ヲ斗帳ト云ハイカナル心ソ

和名類聚鈔ニ云 小帳ヲハイフトト曰斗 俗云斗帳ト 一云屏風帳ト 如形覆斗

云ク ワノキモサシイテ又帳ハカタチ方ニシテ斗ニ似タリ

カナラス小帳ナラネトモ スカタ方ナルニツキテノキ

ナキシハオナシク斗帳ト云フ歟

一 下﨟ノ小屋ニナハニ樒ノ葉ヲノヘリサケテ編

〃項トナツケタルハ何様ノ子細ソヤ

答 宗ノ人ノ入酒ニシ灌頂ト云 上去声 下ハ入声也

上声

小屋ニカクルモノハ二字ナレトモ二年声ニヨメトモ小字共ニ
同字也灌頂ト云ハ本ハ幡ノ名也灌頂ノ二字ヲ訓ニハ
大ハタトヨム大國ニハハタヲ高ク懸テハタノ足ノサカリ
タルシノ人ノ頭ノ上ニサハル程ニシテ其ノ下ヲトホルモノハ頭ニ
觸アタルハ其人ノ罪障ヲ滅スル得益アリサレハ灌
頂ト云フ有ル名也今ノ縄ニ橡クリサケタル灌頂モ此ノ儀ヲ
模セルナルヘシ人ノ家ノ戸ヲ出入スル時ソノ頂ニクヽリサゲ
タルハソノツカラノ気分ニ預テ益ヲエンコト大切ナル心ハ也
ニテシナラヘル釈ハ八ツ角カヘノ間ニカケヌト云フモ此ノ心也

其ノ字

壁ノ間ニ穴ハ人ノ出入アルニヨリ今ハ得益モアルニヨリ故ニ
略シテカケス

一 刀布トハ何ニ物ソカタチナトスノト歟
荀卿書ニ云荀子ニ刀布ノ斂ト呂延済曰刀ハ銭也
サレハ刀布ハ世ニ云ノト云フ也カタチナトニハ非ス

一 銭ノ二ロト云フハスカタノ二ロナルハヨシハニテ云フ歟下ニ由アル歟
大白ハ二ロナルハ二ロニ云フコソノ但シヨシテリトモ云フ漢書ニハ
太公爲ニ周ニ立九府ノ圜法ト云リ圜法トハ銭ノ事也
又李奇ノ曰ク圜ハ即銭也ト圜字ヲ二ロトヨメハ本説ニモ

符合ニ云詞也

一金ヲ披沙トナツクルハ其ノ心ある事
イサコシヒラキテ金ヲシトルかこそ也アルラシ但ニ披字ハ
出セト釈セリ 沙中ニ交ル金ヲ得テ出トモハ出ノ義
アラハナルニヤ イサコヨリ出ルハ出沙ト云フ心歟 兼
金ニ美玉ナトト云フ兼金ヲハ好金ナトト云リ 次ナル
金ヲ直ヨリニサリテ 多キシ カヌタル心トカヤ

一直千金ト云フハ千両ノ金歟
常ニハサコソ心エラレタル 但ニ遊仙窟ノ注ニ美人一咲ヒトヘエメハ

價千金、一金ハ廿兩也ト云ヘリサレハ千金ハ二
万兩ノ金ナルヘシ馬ノ一索ト云フモ四疋ナルカコトシ此ノ
事ハ見ヘタリ左傳ニ但樂ノ名ニ鎰金樂トモ一金樂トモ
通テカク鎰ト云フモ廿兩ノ金ナリコヨノカヨヘハ一ノ字ヲ用
タル也初学鈔ニ又云一斤十六両爲一金秦ニ以一鎰ヲ
爲一金ト禮記注ニ一鎰ハ廿四兩ト諸説不一准
一 冊ノ具ニコンシヤウシ紺青トモ金青トモカクノ正字ナリ
色ノ紺青ハ紺青トモ書ク但シ順和名ニ金青ト書テ．
空青ノ類上也ト云リ金ノ字ヲ可用歟凡ソ緑青モ

金青ハトモニ銅ノ気ノツトヒテ、カタマリタル也コカ
ネニハ非ス金ノ字ハ何レモ通レハ、會釈ナキニ非ス只白カネ
アカヽネ、クロカネ、コカネノキナルコト、アシキ金ハ土ニリ也
四色トハ是也 窓青ヨリ繪師ノ中ニハ、ゲンニヤウト云フ
アヤセナリ也 アヲハネハ干ニアルモノ也
一 纐纈錦ト云フハ何錦ソ
纐ノ字ハ穴ノ中ノ虫也 イキモノ、穴ノ中ニスミツクル
アリ人モ昔ハ穴ニ入リテスニ縮ケリ錦文ノ色々ヲ一色ニ
非ス トカクイロヘテノ ツホ子ク アヤイロノ色ミニハリテ

イロヘタル故ヘ是ニタトヘタルナルヘシ錦窠トモ云フ夜錦
不復識シト云フ題システ菅原ノ雅規ハ作ル詩窠ノ濃ココカナル
露霑ウルフナ後トト云ヘルモ甚ノ心ハ萬茂カ雨来テ花自シ濕ウルフト云フ
詩ノ序ニ入ミ湯ナリ瀧ソウ枝ノ間ニ蜀錦ノ春窠クワイ出ス浪ノトモ
云ヘリ山ニハイハヤト云物アリ人ノ栖ケルヤウニテ人モ
無石ナレハ雨風ニモヤフレス世ノスヱニノコリテノ
今ノヨニモ多シ大和河内ナトニモイクラモアル歟ツノ
國ノ武庫山ノツヽキニ神呪カムノシノ寺ト云フ山寺ノ坤ニアタリテ
山ノ南ニ向テ穴口アルツカヤ数不知比タルニモ岻等モ

窓ニスミニスミケン昔跡ノ殘タルナルヘシ窠ノ字モ
サヤウノ事歟
一 珠玉ハ同物歟
珠ハアクヤノ玉、玉ハ石ノタクヒ也是故ニ韓詩ノ外傳云
珠ハ出於海 玉ハ出於山 無足而至者好之也ト
云ヘリ但シ經論ニ宝珠ト云フ必スアクヤノ珠ニ不限ラ歟
一 木難ト云フハ木ノナヤミタルスカタ歟
南越志曰木難ハ金翅鳥ノ沫所成碧色ノ珠也
大秦國ニ珎之ト云ヘリ タマノ名也

一衣裳トカキタルハ装束ニテ衣裳トカケル也文トモト釈
日本記ニハ衣裳トカキテハキモノトニセタリ何ノ装束モ
キモノト云フニハコモル釈此者衣裳同事ナル事ニヤ
ヤカテテヨミムニハコロモトモト又ハキヌトモトナトニテ
モアリヌヘシ其上ハ別事釈上古ノ人ノキモノハカラ
装束ニテ礼服ノ如クナリケルニコソイタヨアカリテハ
ゲニゲニシクモノハ式モサダニラサリケルニヤ百済ヨリ
絹多渡ケルシモ多クトンノヘキルオモナクテ内蔵
寮ニ納テ置タルハカリニテソアリケルナト云フ人モアリ

天皇ノ

推古天皇ノ御時ナ小野妹子ヲ隋朝ニ遣ケル時ハ
モトヨリシハ推髻ト云フコトニシテヱヒスノ如クニカフリ
ナトモセス足モハタシニテ手ハヤト云ノ物ノ様ニス布ヒト
ハタハリシカワキテニヘウシロニサケタルハカリコソアリ
ケルシ隋煬帝衣服ヲ給テ衣冠ヲ給ケルトカヤ日本ノ
史撰記ト云フモノニハ応神天皇ノ御時ヨリサカリニ
モノ又井キモノキルコト上下ワカス衣紫ヲト
ノフルコトニハナリタリ其ノサキニハ君臣ノアヒタニ用ル
ハカリニテ次ヒノ野キモノ共ハハタカナル類ヒ多カリ

四九面

ハタカナル

ケワトミエタリトカヤ。但シ日本記ニ、推古天皇ノ御宇ニ、
小野妹子歸朝ノ時、唐ノツカヒ裴世清已下十二人
此ノ國ヘ来ル時ノ儀式ニハ、嚴重ナリシ
皇子諸臣悉ク冠ニ金髻花ヲ着、衣服皆用
錦紫繍織及五色ノ綾羅ナト云ヘリ。エミシクヨソ
キヨエシ選擇記ノ心ハ、氷炭セルニヤ。
一 雨衣ト云ハ、雨皮ノ名ヲ別ノ物ヲ、
雨衣トカキテハ、アマキヌトヨム。今ノ世ニ雨フレハ帷
カハクカ如クアメフル時キル物名也。又油衣ト云モ有ル

裴世

ミシロ衣トヨム

三ノシロ衣ハヨムハ是レ只唐令云三品以上著遇ハ雨ニ
聴ス著ニ雨衣氈帽ヲ至ル殿門前ニト云ヘリ雨アラヌ
時モ乗馬タル時ハ上ニウチキテオビモセヌモノ也其シハ
道服ト云フトカヤ宋人ノキルモノ也ハイノタチテキル
モノシヨゴセハフセタハ只雨衣モシテイノ物ナルヘシ

一 繈褓ト云フハ小児ノ便利シタヘキ物只
常ニハサコソ思ナラハシ名也但本文ニハ不然漢書第
八ノ注ニ云李奇カ曰繈ハ絡也以テ繒布ヲ為ル之ヲ絡テ負フ
小児ヲ孟康カ云褓ハ小児ノ被也トス此レニ小児ヲミ

オヒアリクヘキ物也便宜ナレハ不浄ノ物ニシテモ
ノコヒ取ナトスルニコソ

一 大口ト云フ名ハ何ナル義ソクヽリシイレ子ハクロキ土ヘニ
大口ナレハ云フ歟其故ハ主上ノ御鞠ノ時ナト小口ノ御袴トテ
メスハ御大口ニクヽリシヘシテメスハ、サヤウニ云フニコソ但シ
清少納言カ枕草子ニ大口ハナカサヨリモ口ノ廣キ糸。
ナレハトテ主上ノメサル、緋ノ御大口ハ女房ノ袴ノ様ニ
長クウチハヘ見ハ口ハ長サヨリモセハキ歟サレハニモ
御大口ナトコソイフヘシ、オホツカナキ様ナレトモ書ル

不浄

モノヽ云ハルヽコトハ極コソアルラメ

一 モノヽ文ニ四ツチツモント云フハ蜂ノ心ツナニアラ訳

蜂ニ非ス四重文也ヒニテ四ツヨセ合タルヒトエ文ノ賞

名也幸ニ非ステシ才ハヨツチノツト云ノ也

一 アヤシリカ、ヨコスチツノオリツケノ名シ、ケノナヤツト

云フ、何ナル義ソ

取数ニツケテ物シヽルヽヲタルヲハ帳ナツク其中ニ

計帳ハヨリソ其ノ計帳ニワキカキシ重々ニシテヨチア

カケヌルニ操法ノ大切ナルハ、ヨコケツアミタ、カケタル

十ルヘシ。スナハチトヽリタルカ計帳ニヨクケニ似タレハ云、
ニヤアランヽ調庸帳、富豪録帳、巡郡帳ナトヽ云フカ如シ
ヨコタハ計帳ノ一ツノ職ヨトモコトニ書シルツケタルハ
ヤスキニツキテノ名付ル歟
一、逆銭書ト書テレンテレトイハアヤマリ歟
銭字ニ二音アリ一ツニハセン二ツニハテム清濁去平オナシ
カラス常ニセンナルヲキシ此ニトイヒナシハサウムトン
ニトハ通スル故ニモ龍勝シイリウタニトヽヨビカンヒ木カニヒ
トイフタタンシハタタニトモ云フカ如シ。シリ句カタシタイノ

カンヒヲカニヒ

哥ニ常州ノヨミニアリ錢ノ音ハ常ニ是ヲモチ井ス
宋朝ノ帝ニモノシカフトキ其ハアタヒノ貨ノサツ
タクヌルニハイクラノセニヽウルソト云ハントテ幾十錢
トソ云フナルセニハ今連錢書テレムテントヨミンハア
ヤニウニアラスヤ錢ノ字ニ訓ヨミシモチ井ス只
コエノヨミ一ツノ訓ノ如クニスル歟

一 冠ノ纓ハウシロニサカリタル物也流溝ノ如ク云フニ纓ノ
ウルシスト云フハウシロサニヽヌラサンマ便宜ナキニ
似名歟如何

淮南子ニ孟嘗君カナミタシ流名ヲナサシメ纓ヲウルヲス
トニ云ヘルナリアリ是故ニ纓ヲ鴻臚膝ノ濱ニウルシスト
モ、カケルニコソ彼ノ孟嘗君カウルヲス纓ヲハ冠ノ纓トハ
云ハス衣領ノ心ト釈セリノ様ナリサレハニタク、ウヒ白サヘ
ナル纓ヲハイカヽスヽスヘキト云フ難アルニヽ字ハ同シク
シテ心ハコトセリ冠ノ纓ハ晉ノ桓公ハニヽステ、ツクレリト
カヤ屈原カ湘南ニハナタレ名ルトキ漁父カウタフコトハ
ニ滄浪ノ水スメラハ我ステワカ纓ヲスヽイツヘシトニ云ヘルハ
冠纓ナリトコルタ云ヘル芸ニ混フヘキ歟

ウルヲス

云ヘルヲハ

一ワラロツノチトヱフハ剰ノ心訳
耳ノ字ヲチトヨム、セン鼎耳ト書テ日本ニカナヘノ
ハタトヨミナラハセリ耳ノ字ニアニタノ訓アルヘキニヤ
モロコシノ本ヘニハ両方ニミミノ如ノ物ニアリセハミミ、
トゾヽヨミヽおしケレトモ、身ノ着ニハタトノミ云ヒ習ハセルニヤ
ミヽシノチトヨムすも思ノ外ノヨミ也
一鼻廣挿鞋ハ一向傳ノハキモノ訳
順カ和名ニハ高履トカキテ注ニ鼻高履ト云ハリ
サレハ鼻高ヒカクヘキナメリ、ハナノタカニサレ出来ルモノ

アレハ高ノ字ヲ義ノカキフヘキヲ世ノ人庶ノ字ニカキヤ
ナレタルハ正字ニ非ル歟梁武帝ノ光宅寺ヘ
参リ給フ行幸ノアリサマヲシフミニイヘルニハ皆大冠
高履ニシテ車ニテモチフルヨシ見エタリ其ノ時ノ臣下
トモ臭高ハキケルニヤ其モ僧ニ不限ル也サウカイヲハ
草鞋トモ書タリ正字ニハ靸鞋ト書テ小児ノ履也ト
云ヘリコレニタ僧ニシモ不限
一千秋万歳ノ法師カ頭ニカツク物ヲトリカフトト云ゾ何ナル儀ソ
コレ極タル僻事也甲ニ白鳥ノ頭ノ出タルヲコソトリカフトー

トハ云ヘケレ貴徳纈切(アヤキリ)ナトノキルカフトモ散手ノハ
名ツノカフト新鳥蘇ノハロウヒカフト林哥ノハ石榴形(ガタ)
蘇合ノハ菖蒲形(ガタ)カヤウニカフトノ姿ニモタカヒテ
云ヒナラハセルモ但シ蘇合ニイタリテハ實ハ六菖蒲ノカタ
チニアラス蘇合シリハ香ト云フ草ノオヒイテタル姿九
故ニ舞ノ名ニモ蘇合香ト名付ケ蘇合國ト云フクニニハ
此ノクサアル故ニ國ノ名ニヨリテナツクト廣志ニ見ヘエタリ
或ハ諸ノ香草ノ汁ヲ煎シアツメテ蘇合香トナツクト
云説モアリ或ハ師子ノ矢(タツ)蘇合ト云フモ云ヘリト云フ

石榴形(カタ)

此筭ハ僻說也千秋万歳ノ甲ニイタリテハ二ノ多烏ノ頭
ナシ何故ニカハトリカフトト云ハン就中是ハカフトニ
非ス帽子也仙人ノボウシカツキタル二子ッシテ年始ニ
祝スコトニスル也サレハシナシニサカリ名モノアル也カフト
ニハウシロニモノサカラス大猿ハ鷹カヒノ帽子ニ多ハス
ボウシハナヘヽトシテ頭ニ剋入ル物也其ヽシ結構ノアマ
リ金銅ノ伏輪カナモノ筭シクハフル故ニコハクテ鳥カ如ク
頭ニモイラ子ハカフトノ様ニイタキナカラサスカボフシ
ノ躰ハウセスシテウシロハサカル也サレハウルハシクノハ

千秋万歳ノおうこト云（一十七）タカカヒノボウこハ、カハ
おつこセミ、ノ上ヘ二風ノアタリテ、サムケしハ二衣、雨二ぬ二
モノシサケタリ、ヒタヒウこノツヨリ二、イロカハシキリテ
アテ又、スナカヒ二、カハシアテタリ、千秋万歳ノハ
是ニ云ヒテノ歳重ナラ、タメ二、地ハ錦ノおうこ二テノ
金銅ノカサレル十ルヘこ蘇合ハ楽家ノ口傳ニ阿育
王ノ病ニ依ヒケルカ此ノ藥ニヨリテ、イエ玉ケルノ千
ヨロコヒテ楽ノ作テ奏セこム藥ノ名ヲ楽ノ名トス舞ハ
育那カツト云ノ人ハツクリケリト云ニリ、ソノ時カフト二蘇合

香ノ摸シテコトノシコワリシ表セル訳然者カフトニヨリテノ
名ツクルト云フ説ハナシ多ヒ又
一 焦尾ノ琴ハ漢朝ノ事訳日本ニナキ訳
同躰ノ事ハ和漢トモニアリ焦尾ト云フ名ハ漢朝ノ
琴ノ名也 捜神記ニ云呉人有燒桐以爨者ヒ
聞其爆聲曰此良桐也因請之削以為
琴ニ而尾焚不盡因名ニ焦尾有殊聲兼名苑ニ
伯喈聞隣人燃火ノ火ノ聲中ニ有似琴鳴ノ遂
往取之ト云ヘリ又有異尾備火炭ノ不盡尚黒

カリ名之ヲ鯖魚尾ト云、天下ニ無匹至ニ梁ノ武帝猶在ルト
云ヘリ、日本ニハ應神天皇三年冬十月伊豆國ニオホセ
テ舩ツクラシム、ナカサ十丈海ニ浮ルニ輕ク早シテトク
行事ハスルカ如シ、其ノ名ヲ枯野ト云フ或説ニ輕野天皇卅一年ニ
此舩朽チ損シテ用ルニタラス秋八月ニ群卿ニ詔シテ
ノタマフ、官船枯野ハ伊豆國ノタテマツレル船也朽テ
雖不可用其功不可忘争テカ是ヲ名シナカク世ニ
傳ヘント諸卿ウケ玉ハリテハカラヒテ此舩ヲモテ塩ヲヤカ
シムルニシホ五百籠ヲヤケリ其ノ塩ヲ諸國ニタヒテ、舩ヲ

作ラシムルニ同時ニ五百艘ノ船ヲタテマツル是ヲツノクニノ
武庫ノミナトニツケタルニ新羅ヨリノミツキモノタテ
マツル使ヒ此ノ湊ニツケルニ誤テ火ヲ出シテ多ノ船ヤケヌ
又新羅ノ王是ヲキヽ懼惶シテ能キ工匠ヲ日本ヘタテマ
ツリシコタリシ中ニケリ其ノ塩焼ケル時枯野船ヲ
タキケルニヤ残ヲ取リテ是ヲ天皇ニタテマツルニ琴ニ
ツクラレ又給タリケリ其ノコヱサヤカニシテトヲクキコエ
ケルトカヤ魚尾ト枯野ト和漢ノ名ニトナヘトモヤケ
ノコリノ琴ハ称スル名ハサナイヘルモオナシキニヤ

一、琴箏トツノ一隻ニイハルヽモノ也箏ハ日本ニハナキ欤、
當時ハタエテナシ、昔ハトモニアリケリ、箏ハ此國ニ六
ヒサツト云ケル常陸国記云㭷ニ大谷ノ村々大榛ニ
本枝造鼓ノ枯枝テ造箏シ俗云ニ比佐頭ト云一ワ琴ハ此朝ニ
タエタリ昔ハ哥仙ノ興風ノ琴ノ上手ニテアリケル
一 樂府ニ五絃彈ト云フハ琴ニモトハ五ノ絃アリトキク
五絃ノ琴ヲ彈スルヲイフ欤
樂府ニ云一ル五絃ハ別ノ物也琴ニ非ス形ハ琵琶ノ如ニテ
五絃ヲカケタリ及千海老尾アレトモ三十スクニナシ

出タリ轉(テン)手ハ五アリ一方ニハ三ツ一方ニハ二ツ也琵琶
五絃阮(ゲン)咸(カン)シナシ形ノ物也阮咸(ゲンカン)ハ人ノ名也其人ノ
作テ好ミ引キケルニヤ杵輪ノカタチノヤウニマロキ琵
琶ナリ是シハ秦子トモ云フ又阮咸ハ日本ニモアリケルニ
コソ延喜ノ式ニハ阮咸一面 長一尺九寸ト云リ 絃ノ糸三分 何事ニモ世ノ
末ニハ少セハ手ノ為シタニモ シラヌ事ニナリ名コソ心ウケレ
一箏ノ絃シハ一二三ト云テシハリノ三シハ斗為巾ト云フコソ
不具ナルヤウニオホユレサラハ十一十二十三トモイハカシ
如何

琵琶ノ

至ルマテ

一ヨリ十二ニ至ルマテノ中ト云ヘルカ如クノ名アリソレヲ秘スル
ユヘニ一二トハカリ云フナリ弟ノ一ツハ仁ト云フ以上ナリ十ソノハ
商ト云フ其ノ中間ニモ一々ニ別ノ名アレトモ今ノ秘スル事
ナレハカヽス琴ノ如ハモトハ十二ナリ是故ニ阮瑀ノ
筝ノ賦ニハ絃ニ有リ十二四時ノ度ト云ヘリ四時ハ四季也
四季ニ十二月アレハソノ一ツ一ツニカナヘテ十二ノ緒アリ
ケル傳玄カ筝賦ニモ柱ハ擬ス十二月ニトコソ云ヘルメレ
其ノ後秦ノ時国月ノカナラスヤトテ一絃ヲ加ヘシハ
今ノ十三絃トハナリタル也秦筝トテ秦ノ國ニコトヨク

秘スル

コトヨク

別物ハ多カリケルトカヤ

一 琴ハ玉ノコトヂアリトキク、餘ノ絃ニナキ故、琴ニハタヾノコトヂニ、アナヲアケテ、絃ヲツラヌキタルトカヤ、無題ニタフルヽコトモナクテヨキニコソ、箏ニモ碧玉ノ柱ナドト云フハサルヘキナメリ、袁淑ノ正情賦ニ、回陳ニ玉柱之鳴箏ト云ヘレハコトニモタヾノコトヂハアルヘキセ、コノ朝ニハ是ヲモチヰス、ツ子ノコトヂヲタツ

一 漸離筑ヲ撃ト云フハ、筑ハ拍子ヲウツ物故、

拍子ニハ非ス筆ノ此クナル物也サカニニテキリタル
ヤウニホソキ所アリ其ヒヨハハチヒテウツノ故ニ
築シウツトハ云ス和琴ヲシモツタニハカクノトコソ云ヘトモ
ウチコト、テハチニテウツモアリス同キ風情也絃ノ
上ヲタヽクナリ和琴ノハチハ二ツアリ一ハヒラニ一ハ一口也
トモニス ウチコトハ一口キニテスル也ヒラキ撥ハ楽ノ
時用ハスアリ宇治ノ宝倉ニ本様アリトカヤ
コトサテトモフハ別ノモノ也
一 奚婁トハ舞人ツクヒニカケテウツ鼓ノ名ナリ

タル

常ニハサ思ヘリ。倍音楽曲ノ華ハミキテ舞ホス
アリ。絵図ノ所ニハ常ノ鶏婁ヲ尺ノ詞ニ鶏婁ハ左ノ
手ニ所持ス。腰鼓ニ無持用ス理ト云ヘリツヽ是
楽ニハ、鶏婁ハサシ鶏婁ヲシモタヒニカクル也ハナクテ左ノ
手ニアリツヽミツモチナガラ同手ニ鶏婁ノ緒ヲモサゲ
テ右手ニテ拍子ヲウチナケルニヤト覚ユルモソレシ今ハ
右ニツリツヽミツモテハ、手ノフタカリテ便宜アシキ故ニ
タヒニカケナラハシタルナル。大法会ノ行道ニハ左ニ鶏
婁右ニ一鼓ヲカクルセシヨモ一鼓ヲ右ニツリト云ナリ 一シ

不審

云事ハナシ

樂所始メノ時ヰ御前ニニイル時ナトハ左右ニ並ブトノハ右ノ舞ベカ
トモニ一皷シカクセ

一管絃ト云フハ管ハフキモノ、絃名絃ハヒキ物也
常ニ此ノ心也但シ別ニ管ト云フ樂器アリ説文ニ六ノ
孔アリト云ヘリ應劭カ曰長サ一尺六寸爾雅幷ニ
尚書大傳曰舜ノ時キ西王母来テ獻ニ白玉ノ管ヲ
云ヘル是也蔡邕月令章句ニ長サ八尺圍寸ト云ヘリ

一律書樂圖ニフエヲハ横吹ト云ヘルハヨコサマニ持テ
フクト云フ心歟

其ノ心ニコソ似ニ 礼記ニハフエシ吹トモアリ 然ニテ吹ノ字

フエノ名セハ横笛ト同事歟

一 篳篥ノ二字ハ何ナル心カアル

篳篥ハモト龜茲国ヨリ出タリ 是ヲ悲栗トナツク

其ノコヱノカナシキ故ニ悲栗トモイフト見エタリ 博聞録ニ悲

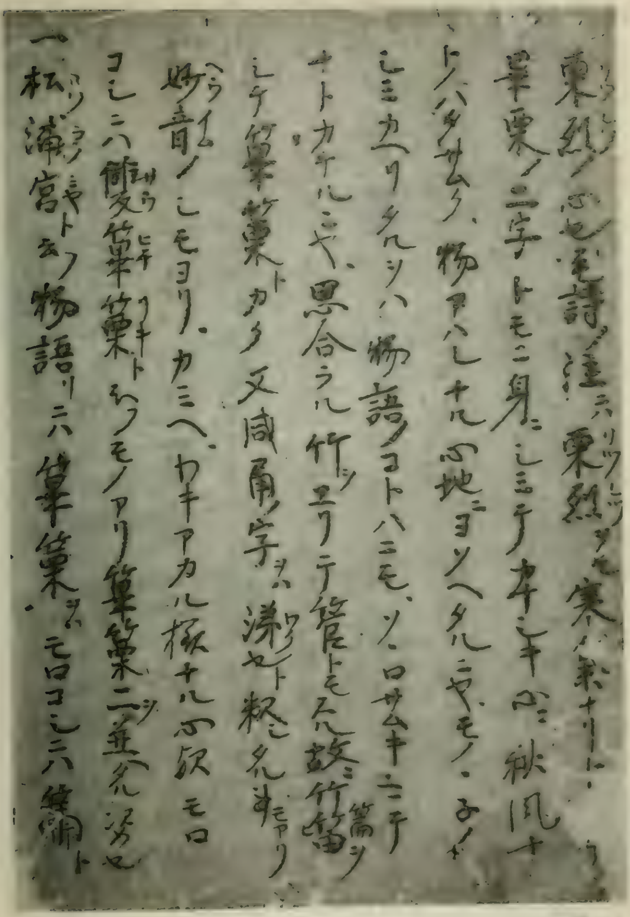
栗ヲ今ハ篳篥トカケリ 或ハ觱篥トモカク 或角ハ

觱ト同字也 觱ノ字ヲ風ノ寒キ也ト釈セリ見モ 詩注ニ カセノせム

キハ身ニしム 心ニ篳篥ノコヱノウラミカケタルハ物ノ

カナシクテ身ニしムやウナレハ 觱ノ字ヲ用ヰ 又栗ノニハ

栗ノ字、



栗烈ノ心ハ毛詩ノ注ニ栗烈ハ寒氣ナリト
篳栗ノ二字トモニ身ニシミテ寒キ心ニ秋風ナ
トノハゲサムク、物アハレナル心地ニヨソヘタルニヤ、モノヽ子ノ
シミカヘリタルソハ物語ノコトハニモ、ソヽロサムキニテ
ナトカケルニヤ、思合ラル 竹ニテ管トモスル故ニ竹ニ篳シ
テ篳篥トカク 又感角ノ字ヲハ濛セト釈シ名ヲヒャリ
妙音ノシモヨリ、カミヘ、カキアカル極ナル心飲 モロ
コシニハ觱篥篳篥トカクモノアリ篳篥ニ並ヘタル沙セ
一松浦宮トヰフ物語リニハ篳篥ヲハモロコシニハ篳篥ト

氣ナリト云ヘリ

云フヨシヲカケルハ寳説ニ叙
是ハアヤマリ也 蔡邕月令章句ニハ簫ハ編竹吹
ヨシト云ヘリ 風俗通曰 其形參差象鳳ノ翼 簫ノ
長サ二尺、五絃要義曰 大者二十三管 小者十六管
爾雅ニハ大ナルハ長サ四尺四寸 小ナルハ一尺二寸 小ハ筊
トモ籟トモ云フト云ヘリ サレハ簫篳篥ニハ ニカフヘカラス也
松浦ノ宮ト云フ物語ハ 十ヘテ物語草子ノ様ニアラスシテ
ケニヤヒキヤウニモ、モロコシノ文ニツカヒタル物ナレトモ
謀ハ無力ノ事ナリ叙 但シ文選 鉛刀ニ箔シ候而ト云

尺セル東

ニアリ常ニ舩ハアヽノハザニキテ　胡廣呼牝也篁ハ
好ノ物ナルヘシ　篇トハ云ヘタモナケレトカク云ヘハ故ニカヤウノ
業ニツキテハ箪篥ヲ篇ト云フナトハ云フニヤ李伯
陽入西戎所造トモ舩賦ニ云ヘリ
一篳ノ字ヲヽヒタトヨム　竹生箪篥ニ通スル歟
篳ノ字ヲハ篁ニカキリテヽヒタトヨム箪篥ニハ舌ノ字ヲ
用ヒル故ニキリクチノコヱヲハ譜ニモ舌トカク篁ノヽヒタノ外ニ
別ニ篳工ト云フ樂器アリ其モ亦ヘ篁同キ故ニカヨヒテ用フ
三十六ノ竹ヲナラヘ并リ是ニ二ヤウアリ一ニハ竹篳一ニハ

鐵簧也 笙ノ竹ヲハ簧ト云フ其ノ外カ別ニ簧ト云フ樂器アルカコトシ、サレハ簧ヲモ簧モ懸別同異アリ笙ノアナヽシサヽヌトモナルシハ簧ナリト云フニ簧ノ鳴釈トオホユルモ養字ノシウナリトヨム本アリ書中ニ竈下ニ養ナリト云ヘルハ人ヲモナラサヌニカミノホユル事モアレハソレ笙ノシサヌニナルヲコレト同釈トオホユル方モアレト前中書王ノ山亭ノ起請ニ云 寒養竈下ニ暖臻南ノ榮ト書レタル火タキテアタリタルコタ云ヘルニコソ、サレハオホユルニハ非ル釈字ワシナリ、真信ニ一一

僞尋ヘシ

一、管絃ハヤサシキ道ナルニ調子ノ名ニ大食乞食ト云ハ如何
アルナセカ何
大食乞食ハトモニ國ノ名也大食ハ平調ノ品ヨリ乞食
シハ一越調ノエタ調ヨトセリ共ニ別ノ調子ニ非ス彼ノ國
くニ用ルニヨラヘ叙大食ハコハケアリテエ一タアル故ニ大食ノ
諸國ト云フ大食層拔國大食琵琶羅國大食記施國
大食麻赤國ナト云フ國トモ也乞食國ハ昔シ日本ニシ
タカヒタリシ任那五ケ國ノ内也
一、伎樂ト云フ伎ハ何ノ意ゾ

食ハウタテ

伎ハ衆ノ意也一種ナラス二タノ心有ヘシ伎ハ岐也ト
釈セリ岐ハ二タ也、二タハワカレテ、二タニナル義ヲ伎ト
カヨハシテ釈ス岐トカクコトアリ伎楽ト云フハ楽ハ八
音ノアヤツリテ衆音和合スル故ニ二タノ心アラ
ハズ凡ソ伎ハ藝ノ心也手ニアルシハ伎ト云フ身ニアルシハ
藝ト云フト釈セリ打物、引物、吹キ物皆ナ手ノアヤツリシ
キシヌ、能キシハ伎楽トモ云ノ釈両方何モ多ハス妓字ハ
女ノ義也カミニヨリテ見ヘル釈慎子曰毛嬙西
施ハ則天下之美妓也ト云ヘリ是ハ美女ノ心ニ釈ス、

一 呉楽ノ中ニ崑崙アリコレハ八仙ト同物歟
八仙ト云フハ右ノ舞ニテ楽也崑崙山ニスム八人ノ仙姿ヲ
漢ニ斈フ呉楽ト云フハ十伎楽ト云フモノ也興福寺ノ
佛生會ニ此ノ舞アリ佛ノ生給ヒシヲ悦テ異類物トモ参リ
集リテ舞ヨロコフヨシ歟其ノ中ノ崑崙ハ姿モ八仙ニ
異也崑崙トハ書キタレトモ名ムトヨム天竺ニ崑崙
國ト云フ國アリ南海ノ諸州十餘國ノ内ニ佛逝補羅
國ト云フ國ノ東ニアタレリ又ハ掘倫國トモ云フ此國ノ人ノ
スカタヲ摸セル歟十伎楽ノ曲ハヨコフエニアリ 今

拍子ニツカヘテ是ヲアソハス、タヽコヱハカリニテ餘樂無之
通セス拍子ニハホソツヽミヲ用フ ホソツヽミトハ腰鼓
トイフモノ也 クレツヽミトモイフ コノ樂ハ推古天皇
廿年百濟國人味摩之トイフモノハイリテ伎舞ヲ
我カ朝ニツタヘタリ 今ノ舞曲ハタエテオコナハス欤
フエハカリハアリ

一 手紙ニテ又下﨟ナトノ採桑老ヲ採桑樂トイフハ
一向ニヒカコトヲイフ欤 又サハコトモアリヤ
田舎ノ人ハ下﨟ナトハカタコトニスルヨシハ人コレヲアサケリ

人コレヲアサケリ

但シ　栴

ワラフ於テハ律ト善業房ノ目録ヲミレハ揆讃集トカケリ
コトサケ一向ニアトナキ事ハアラス
一栴フルノエン嚩ト云フハ字如何オホツカナシ
獻無磔トカクモ獻ノ字ヲハ一ニシナウトヨム蔡邕カ傳ニ
獻ハ伏セトセリサレハ邪鬼等ヲ降伏シ突殃（サイアウ）ヲシケス
スカタナル故ニイカヒテ最初ニ是ヲナス エブノ乱声トテ
三度オコシフルハミエノ乱声ハ天ノ分第二度ハ地ノ分
第三度ハ人ノ分 三才ニ配当シテオコシフルアヒタニ
トナフル頌文アリシカリノ一句ニ義起アルニ新造ノ

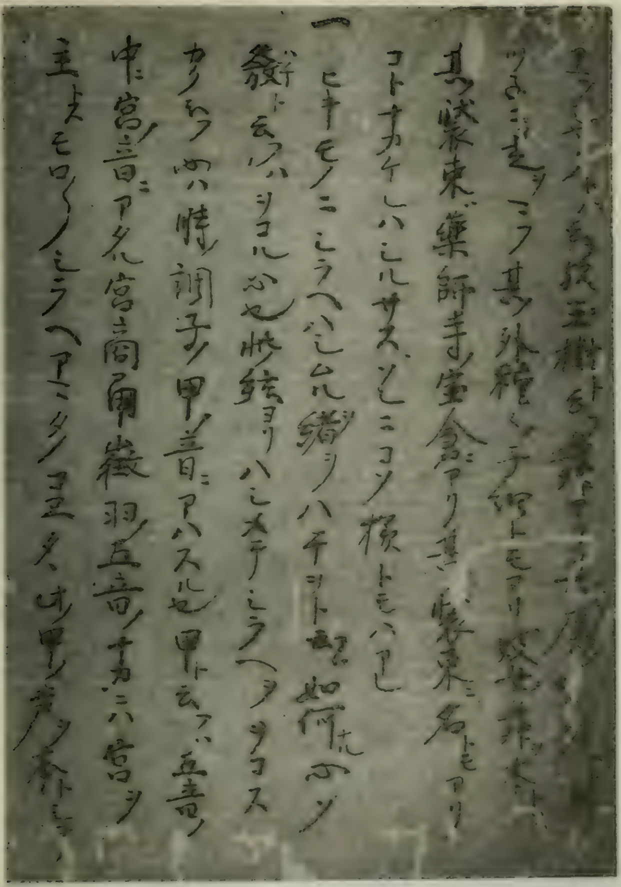
カキタル

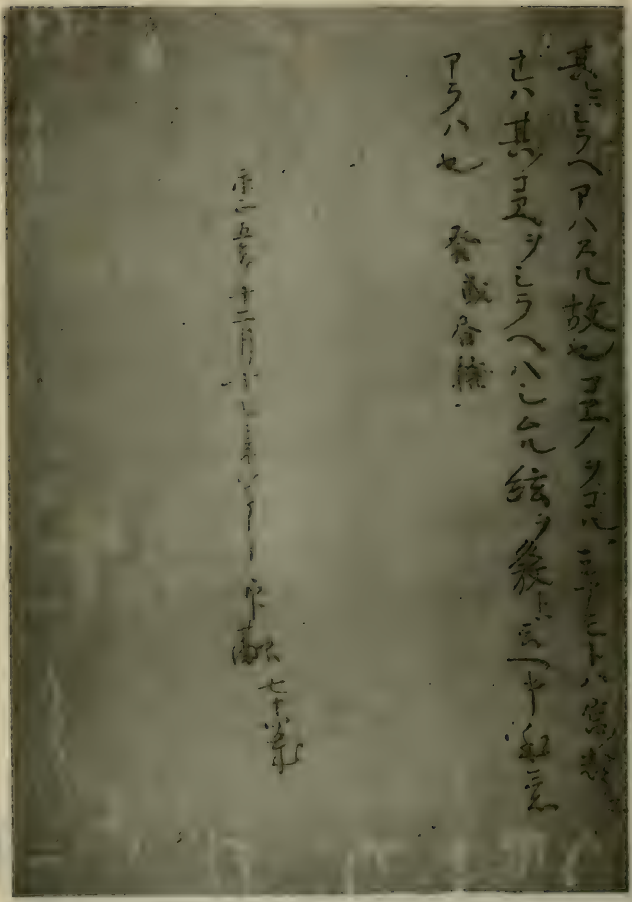
御堂ニ御所ナトニテ此事アルヲハ鎮魂トモ云フ定策
摩ナトト云フモ鎮メル心アル故ニ餘舞ニ先タチテ始ニ奏ス
是ヲ鎮ニ舞ニ舞ハ地神ノ形ヲ表スト云フ或ハ管絃音ニ
エンフトハイカニ カクツトハ人ノ魂ヲ返スニ鎮ヲ延トモ
云フ心ニテ延舞ハトコソカケト巻ヘシハ エルラス
ト云ハ今ノ不文ニ南歷ノウキニヘコトハニカニヘシ
ナメリ ナハ又タル 僻事也
孟嘗君ハ琴ヲキヽテナクナク敷ヲ掌キニテナク敷
雍門周カ琴ヒキナル名ハ時ナキ 名ノ隆房卿ノ
鄉書ト

名朗詠百首ト云フ物ニモ カタハシ添栗ルナリノ世ヤハ 此ノ事カ
シラノ人スクナキニヤ 但雍ノ三眼ノ弾トナツケテノ
其曲アリ笛ノ秘曲ナリ 一越調ニハリトカヤ オホツ
カナキ事ナレトモ琴ニモトコノ曲アリケルヲ琴ハ
タエテ笛ニウツシタルナラン
一秦皇ノ装束ニオヒクヒアリ是ニ別ノ名アリヤ
是ヨリハ河伯面ト云フ河ノ神ヲモテセシ佛師ハ毗沙
門ノオヒクヒヨリハシカガメトツ云フ河伯面ノカタコトニ
云ヒ付テ歌シタルニヤ カラノヨロヒノ異名紀朴ヰ

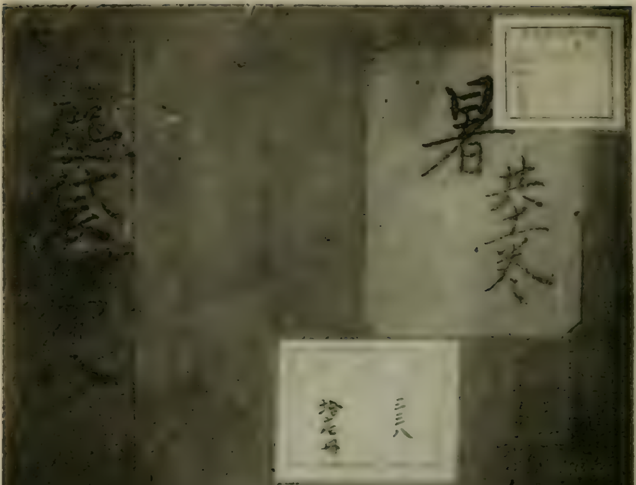
夭鬼ノ篇ニ云馮夷溺死シテ成ル河伯ト。馮夷ハ陰人
ニシテ八月上庚ノ日ヲ渡ル河ヲ溺死ス。天帝署シテ為ス河伯ト云リ
青令傳ニ云河伯ハ華陰潼郷ノ人。姓ハ呉氏名ハ夷。洛ニ
於テ河中ニ而モ其ノ溺死ス。是シ為ス河伯ト云リ。漢女ヲ河神ト
ナリサレトモ漢ハ水ノ神也。天ハ口天ハ云ヘリ。水伯也水神也。見ニ山
海経ニ河伯ト別ノ物ニ沢テ細モミラヌ物ハオヒクヒシハ
アナノジヤクカ頭ハトンニ云フ。佛本記ニ云。保女ト云フアリ
トモ。オヒクヒノタヒニ非ス。サルハイハシ一モナシ。又ニノ
サテメトニ云フカ……ヘテ人ハイヒアマニル 云々

シヤクトハ


其ノ装束ハ薬師寺ノ堂舎ニアリ其ノ装束ニ名トモアリ
コトナカケレハ……ニコソ様トモハアレ
一　ヒキモノニコソヘハコトムル緒ノ八千ト云フ如何ナルコトソ
撥ト云フハ……
カノ云フ此ハ時ノ調子ノ甲ノ音ニアハスル也甲ト云フハ五音ノ
中ニ宮ノ音ニアタル宮商角徴羽ノ五音ノ中ニハ宮ヲ
主トスモロモロノコソヘアマタノコヱ……甲ノ音ヲ本トシテ



五三一


三三八
拾七号

塵袋第八　雜物

兵庫　大刀　匕首、、刀斗

襷　矢　鹵簿　大刀契

卯杖　薪　斑幔　幄屋

耳桶　鵬藥　盂　楅子

誹謗木　毳　條状　書

籤　短冊　翰林　毫

反古　巾箱　後素　馬蹄

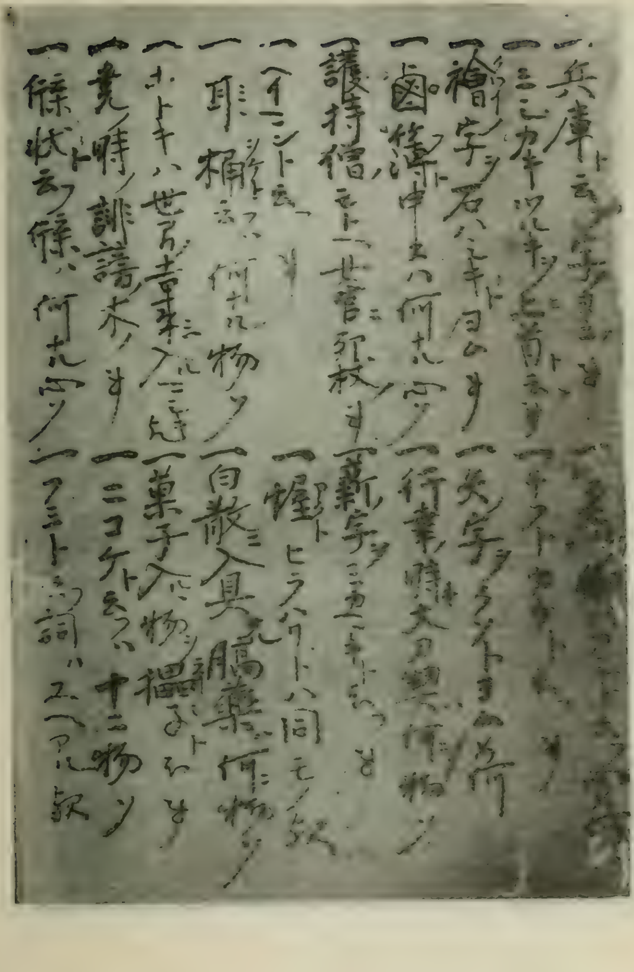
砥石　器車　爵觴　新羅提

合子拌　圓床　一桶　灰墨　薄册　剪刀

楊枝　梆筒　卷子　死灰　舡荷　罷索

燃籤　石　炬燭　掾聲　筏輿　水龜

未　松明　砧杵　中取　聲擦



一兵庫ト云フ字ヲ何ト云フ [illegible]

一ミヽカキワルキツヒ首ト云フ事 一キフト [illegible]

一禮字ノシ石ハミキトヨム事 一矢字ヲライトヨム所

一圖篇中ニ入ハ何ナル心ゾ 一行棄ノ時大刀 [illegible] 何物ゾ

一議持僧ト云ハ一世宮ニ可被 [illegible] 事 一新字ヲ [illegible]

一ヘイシトミ云フ [illegible] 一煋ヒラスハウトハ同モノ歟

一耳 [illegible] 何ナル物ゾ 一白散ニ入具 [illegible] 何ノ物ゾ

一ホトキハ世尊寺来ニ入ル [illegible] 一菓子ニ入ル物 [illegible]

一竟時ノ誹諧衆ノ事 一ニコケトト云フハ十二物ゾ

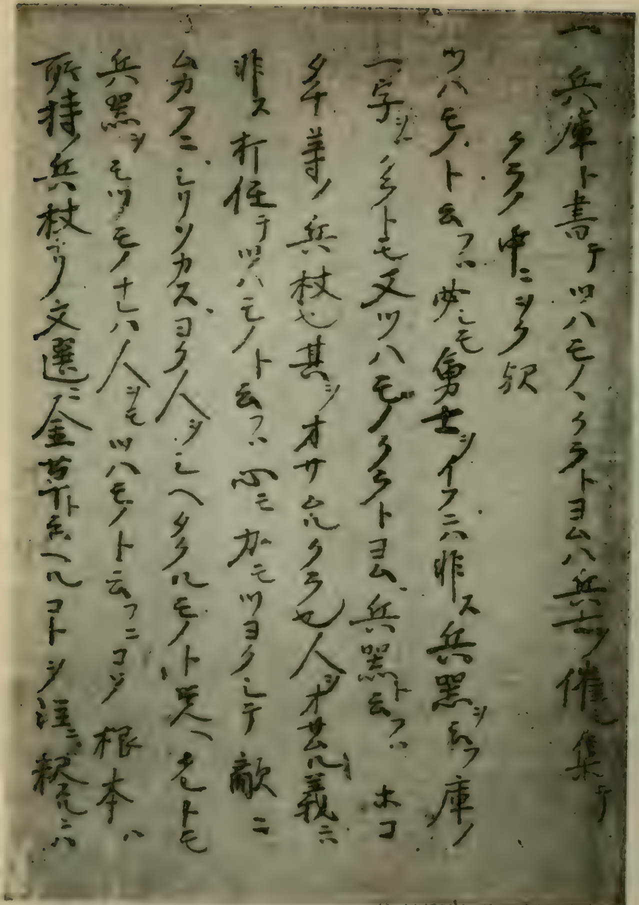
一條状ト云フ條ハ何ナル心ゾ 一フミトヨム詞ハエヘアル歟

一文書ノツクリニ軸ヤウナル物アリ
一短冊ト云フハ何ナル義ゾ
一翰林トハ筆ノハヤシト云フ心ヘ
一毫字ハ筆ノ毛歟
一懐古ト云フハ原見アリヤ
一巾箱ハタナコヒノハコ歟
一繪ヲ後素ト云フハ何ナル心ゾ
一馬蹄ト云フハスリノ異名歟
一硯石ヲ碑ト云フハイシベト歟
一器韋ト云フハ十二タルニヤ
一斛鯨ハトモニサカツキ歟
一新発ヒサウ雑発ニ
一大ヒキレノ合子トイフハ何ゾ
一楊枝ハ歯ヲスヤウ木ニテ居ル
一機鍵トハモン不審無之
一アニロハ車ノ外ニモテ入物也
一囲炉裏ハワラン界目也
一匣ハタシゲトヨムクシノ入物也
一米奇ハカスニ石ト斛ト共ニ用ハズ
一斗ハ斛ノ字ノ略也

一酒一ツケトルシ 一桶ハケ[illegible]
一庭燎ハニハトモス火ナリ
一ハイスミト云灰炉[illegible]也
一キヌタト云フシ砧トカク也
一ワナニト云アリ
一ナカトリト云ハチリトリ也
一鍋紫ト云ハトモニ十八也
一轢壊ト云ハ田ツクルモノナトノツチシラウツ也

一ハシタモキヘソトヨム也
一松明タイマツトヨム 一名[illegible]
一鍛冶カヂアヒツチト云也
一カリハ鐵ニテ作ル箆ト云也
一アフタニカニルト云也
一葛刈字カリノサトヨム也
一氷瓶ハ氷甕ト云也

ハ十三中



一 兵庫ト書テツハモノヽクラトヨムハ兵士ノ備ヲ集テ
クラノ中ニヲク訳
ツハモノト云フハ必シモ勇士ヲイフニハ非ス兵器ヲ云フ庫ノ
一字ヲハクラトモ又ツハモノヽクラトヨム兵器ト云フハホコ
タチ等ノ兵杖也其ヲオサムルクラナリ人ヲオサムル義ニ
非ス 打任テツハモノト云フハ心モカモツヨクシテ敵ニ
ムカフニシリソカスヨク人ヲコロシヘタクルモノト見ヘタレトモ
兵器ヲモツモノナレハ人ヲモツハモノト云フニコソ根本ハ
所持ノ兵杖ナリ文選ニ金革ト兵ヘルコトヲ注ニ釈スルニハ

五圖一

金ハ兵刃、革ハ甲也ト云リ是也兵ハ刃ヲ云
ホコノ名也革ハヨロヒ、カフトノ類也礼記ニ罷弁兵革
蔵於私家非礼也ト云リオホヤケノ御タメニオサメ
ヲカレテ、誅罰セラルヘキ事アルオリハ、勇士ニコレヲ
タマフヘキツカサヲ兵庫頭トハ云フ也末世ニハ兵具
ミナ、ワタクシモノニテ、オホヤケニハ、タヽツカサノミアリ、

一 タチシ御ハカシト云フハ何ナル心ソ

斫帯トカキテ、ミハカシト云リ日本記ニ抜斫帯ト
掘劔ト申名コトアリ、沈シツクエヘニ御ノ一字ヲヨミ

兵革トヒヤウカクト云フ

タハヘタリ或ハ衛刀トカキ[illegible]
タチヲハ八キタルモノナレハ、カクヲ云フナルヘシ、ハタトヽ云一ハ、
身ニ帯シタルナリ

一、ミジカキツルキノヒ首トヽ云フハ、カヒノカシラニ似タル心ヲ以
カヒト云フハ、クスリヲスクヒ或ハ食ノトキ飯ヲスクフカヒ
等ナリ 匕ハ、ソノ義ニハアラス、カヒノ字ニハ不用 順和名
云 匙 説文云早履反匙名匙云 提ノ字ヲモ用フツルキノ匕首ト
匙ハ是音支音提
云フ 棄ハ匕ハ矢鏃ト釈サリ ヤシリヲヤサキトハ云フ
セシハヤシリニ二タルツルキ也 又ハオノ 鉏形

似セトニ云ヘルセヒノ字カヒトヤサレトニニ似カラセ

一 チワウカケト云フハヒノヤナクヒヲモタスルモノ也イニハ

ヒノ箭ヲテウトヽハイフヘキ歟

常ニハサヤウニ思ナラハシ名ニヤ　但シ實ニハシカラサル歟

テウトヽハ鏁即消反トモカクノ常ニハ刀ニテトキテテウト、

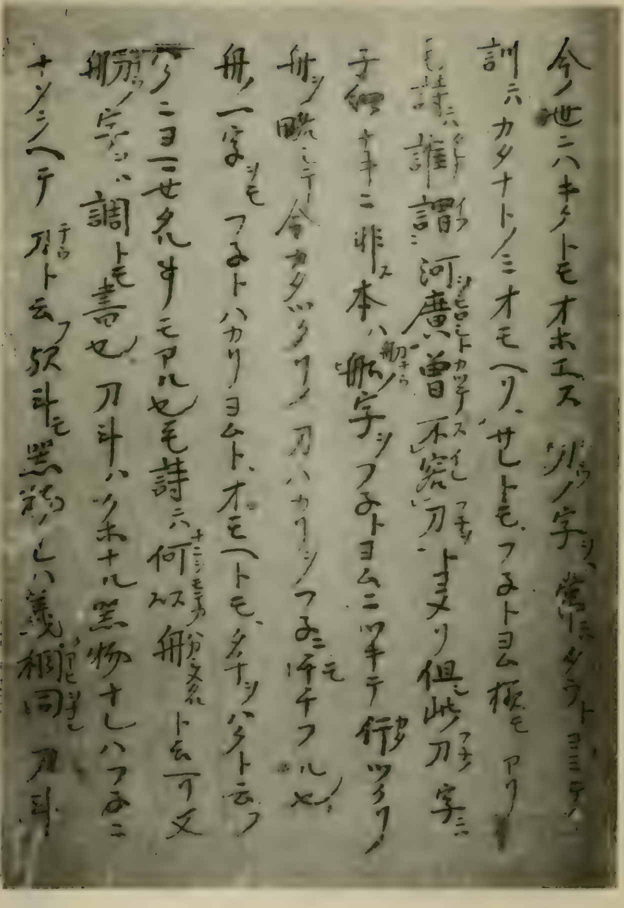
ヨム軍士ノ旅宿ノトキ飯ヲシテ食ヘキウツハ物ノ名也

ヨシワカシナトモスヘキ物也ハコレヲ温器トモ云一リノ

三足ニシテ柄アリ鐺如ノ物也君ヨリミ千ツコク時ハ

是ヲ折テナラス也人ニツケシラウヘ公ニヤ此ハ大國法也

ヤシリ



今ノ世ニハキノトモオホエス 刖ノ字ハ常ニタウトヨミテノ
訓ニカタナトノミオモヘリ、サレトモフテトヨム様モアリ
其ニハ誰謂河廣曽不容刀ト云ヘリ但此刀字ニ
子細ナキニ非ス本ハ舠ノ字ヲフテトヨムニツキテ行ツクリノ
舟ヲ略シテ今カタハカリノ刀ハカリヲシノフテニ作テアルヘシ
舟ノ一字モフテトハカリヨムト、オモヘトモ、タナツハタト云フ
ノニヨ二世ニ名才モアルヘシモ詩ニハ何以舟ト云フ文
舠ノ字ニハ調トモ書セ刀斗ハツクネナル黒物ナレハフテニ
ナソミシヘテ刀ト云フ飲斗モ黒様ノ心ハ義相同 刀斗

弓手ト云フハ兵ノウツハモノシカケノ分セテトテ三具ヘキ
モヘナウ、サレトモ、ウルハシキ、刀斗ハモチ井、サレハサル
ハキ仁ト云ヨシニテ刀斗カケト名ケ刀斗ノ代ニ
弓箭ヲモタスルナルヘシ

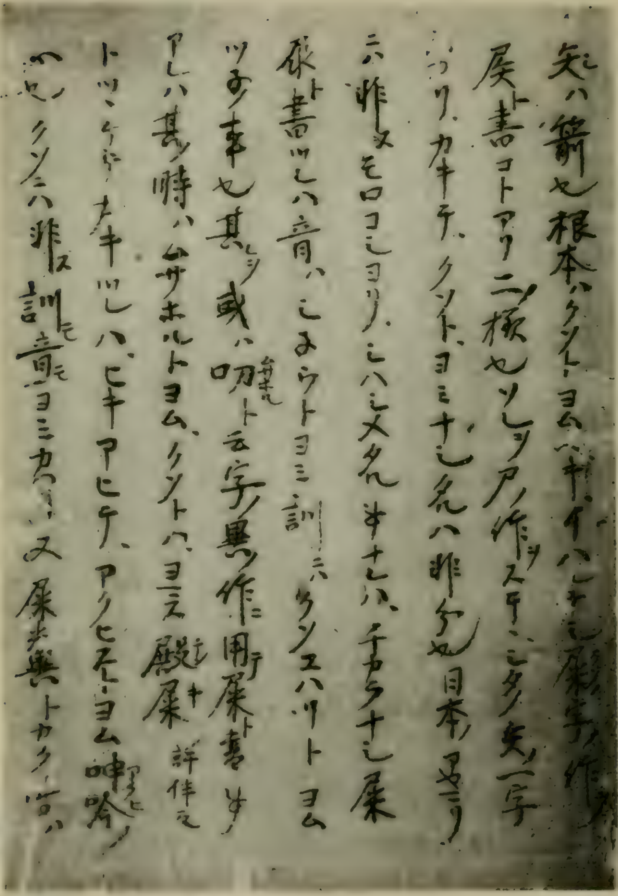
一 𥚃ノ字ヲイシハシキトヨムハ圍碁局ハキスル事 釈
𥚃ハゴハンニテ、ハジク石ハキニハ非ス合戦ノ時城ニモ
リタルモノ、敵ヲウタントテハタルイシニミト云フ物也 又ハ
𥚃トモカク　𥚃

一 矢ノ字ヲソクトヨム事如何

ヨセテ、トモニ

事如何

ハカリ


矢ハ箭也根本ハクソトヨムハ非イハレナキ屎字ノ作
屎ト書コトアリ二ノ様也ソレハ尸ノ作ツスデニタノ矢ノ一字
ニハリ。カキテ。クソトヨミナシ名ハ非分也日本ノ習ニヨリ
ニハ非又モロコシヨリノ。シハシ文名ノ半ナレハ。チカラナシ屎
尿ト書ツシハ音ハシメラトヨミ訓ニハタソエハリトヨム
ツネノ事也其レシ或ハ呎トト云字ノ異ノ作ニ用テ屎ト書ナリ
アレハ其ノ時ハムサボルトヨム。クソトハヨミエ殿屎　許伸之
トツテケウ大キツシハ。ヒキアヒテ。アクヒモヨム呻吟ノ
〔八〕也クソニハ非ス訓モ音モヨミカヘ又屎失異トカク宮ハ

カハリ……カク時ハ

トモニクソシテ叢土ナムフシリハ、コトゴトクダト心ウルカノミナラズ
字ノカヨフコトニカキラズ心セハク偏執スヘカラズ
モロモロノヒガゴトハ一隅ニシテ泥ムニアリ。叢字ノ又ノ
作ハ叢トモ書也二ツノクワシトワアハセテ今ハ叢

一 鹵簿中何ナルヲソ

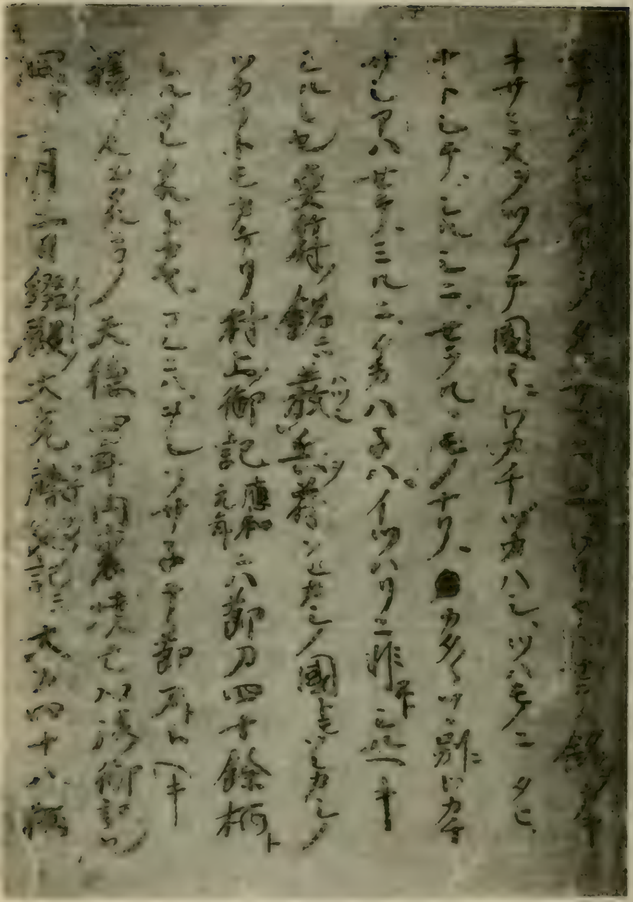
是ニ二ノ心アリ 一ニハ宮衛令ニ鹵ハ楯也簿ハ文籍也
謂鹵簿列楯ヲ鹵トス、モテナス為ニ部隊ヲ簿ト云フ、ダテノスガタナル
フタヽビ隊ト云フ、軍防令ニ云 假令陣列之法ハ一隊ノ
廿楯ナリ五ノ楯ヲ列ス前ニ五ノ楯ヲ列ス後ニ楯別ニ兵五人ニ

五人ヲハ伍ト名ク五十人ヲ隊トス又八百人ヲハ陣ト云ル也
アリ常ニ不同云古今ニ一陣二陣分テ一部ト想ヘ
思セリタトヘハイクサノカズヲワカチテ、シルシタル
フダヲ二ニ葉羅カ獨斷ニ四天子ノ出ニ車駕ヲ次第
ニ諸スル鹵簿ト云ヘリ、コレニテハヒトヘニ行幸ノ行列ヲ次
第シシルシタル、フダニアタレリ、此本ノ説ニコトナリタトヘハ
ヤウモトモ、モシモ本ニテハ、同事ナル様也其故ハ行幸
ニモ武官ノ陣ハヒク武官列セサルトキハイクサノ陣ニオナシ
然ハ此ニホカ本ニ用ルサノヨシノ諸ニハカハラヘキ事ヘニ

ヨソフヒ…ヨヨフ…ユヘ

日本紀ニ鹵簿トカキテハミユキノツラトヨメリ　サレハ一
命ノ世ニモ行幸ノ行列ヲシルスヲハ鹵簿トモ云フヘシ
一　行幸ノ時具セラルヽ大刀ト契ハ何テイノ物ソ
大刀契ト云ハモノ一ツノ名ニ非ス二ノ物也大刀ト契ト各
別ナルヲ一ニイヒナシタリ大刀ト云ハ剱也多年也ソレニ
取テ大刀ト節刀トオナシ物ト云フ説アリ別ノ物ト云フ説アリ
江師ハ大刀ノ外ニ別ニ節刀アルコトヲ云リ大刀ノ中ニ靈
剱二ツアリコレヲ節刀ト云トモ云リ其ノ説ニ千く也
契ト云ハ魚符也長サ二寸餘ニテ魚ノ形ヲツクレリ

ミユキ……ヨメリサレハ



五五二

魚ノ符七十四枚内金ハ銀ノ十四銀ノ塗物五十二ノ釼、
内裏焼亡ノ後温明殿ヨリ四十四柄清涼殿ヨリ四柄
モトメイダストシルスキリサキノ釼、ナニツシノ釼イツレモ
アニタアリ、ナカキ定二尺八五寸ニシスキース甚ノ外ハ或ハ二尺
四寸二尺二寸等也軍防令云大将出征ニ皆ナ節刀ヲ授ク
刀シ注云ルノ節着ハステミニ髭牛尾ヲ為之ヲ乗擁也今ハ
ステミニ刀釼ノ代之ニ故ニ同節ニ乃付トモ云フ大刀ノ中ニ霊釼
ニアリ百済國ヨリタテニツル所也一ニ三公戦闘ノ釼ト
名ク又将軍ノ釼ト破敵ノ釼ト云フ護身ノ釼ハ疾病

護身ノ

祈氣ハ以テ劒左ニ日形南斗ノ六星朱雀ノ形青
龍ノ形ヲ畫ニ右ニ月形北斗ト七星玄武形白虎ノ形ヲ
畫ス破敵ノ劒ニ左ニ三皇五帝ノ形南斗ノ六星青
龍ノ形 西王母カ兵刀符ヲ畫ス右ニ北極ノ五星北斗ト
七星白虎ノ形老子破敵ノ符ノ畫ス又護身ノ劒ノ銘
アリ カノ銘ニ云ク
歳在庚申 正月百濟所造三七練刀南斗北斗
左青龍右白虎前朱雀後玄武避深不祥
百福會從年齢延長万歳無極

此朝ニ節刀ヲタマハル事ハ元明天皇和銅二年三月
陸奥越後両國ニエビスアリテ野心アリ左大弁巨勢ノ
朝麻呂陸奥鎮東将軍トシテ民部大輔佐伯ノ
宿祢石陽ヲハ征越後蝦夷将軍トサダメテ此ノトキ
節刀ヲタマハス一條院御時寛弘二年十一月十五日ノ
内裏焼亡ニ大刀契オホクヤケ損ニケリ堀川院ノ
御宇寛治八年十月廿四日ノ焼亡ノトキ霊剱ヤケ
損シテ護身剱ハ青龍ワヅカニノコリ朱雀ハヨハカリ
ノコレリ破敵ノ剱ハ三星ノ中ニ二星ノコリ文王世カ兵ガ并

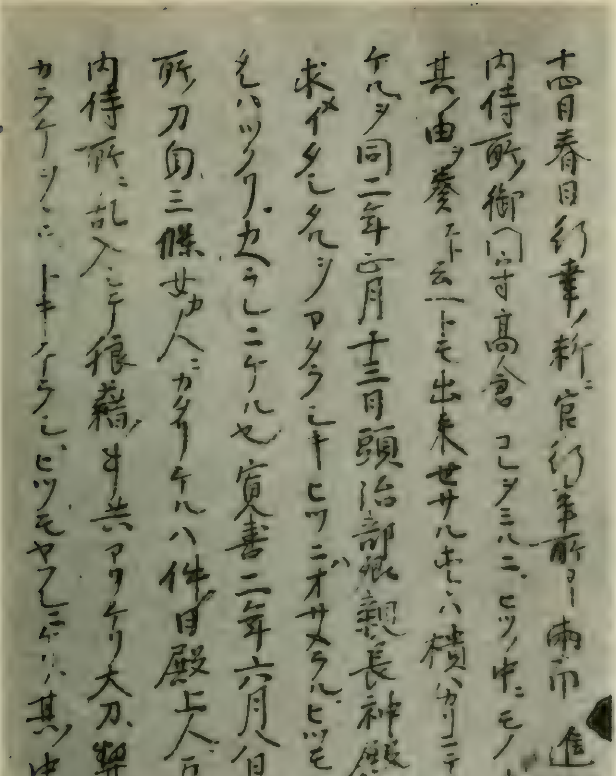
ワツカニノコレリ天徳内裏焼亡ニモサク焼損シタリケルヲ
晴明ウケタマハリテ、ニガセテ修理シタリケリ。天徳
四年十二月十二日宜陽殿ノ作物所ニテツクラシム。應町ノ
直廬ニテトキミカタ大臣陣ニ着シテ行事參議、
朝成朝臣又權右中弁國光朝臣左右近衛將
監等並臨ス。左右ノ物部各一人守護ス。鍛冶内藏
属實行ヲ、又應和元年七月五日高雄山ニテ
剱ヲツクル。天文博士保憲六月廿八日於テ神護寺ニ
三方五帝ノ祭ヲツトム。剱ヲツクル祈禱ニハ備前國

鍛冶月根安生銀ヲ造リ進スル由舊記ニ見エタリ ヤケ
ラセタルカハリニ新造セラレケルニヤ、チカタハ安貞二年
二月八日ヒツタサニカエテ入ラレル大刀横ハ黒漆ニテ、
内ハ朱漆ナリ 十カサ四尺九寸一分 深サ六寸二分、フタ
カハノタカサ一寸二分七 二尺六寸ノ鋺一ツ二尺三寸ノ
鋺一ツ 七寸ノ弘一ツ入タリ 鞘横ハウチヲヒノカフタ
ノ朱漆ノヒツノ入三ハ黒漆ニテ ウチハ大地ナルカス三ニ 金
銅ノヒレカナ物ヲウツ、フタハ方一尺三寸九分 三ハ方一
尺二寸九分、ハカサ一尺一寸九分ヨコ六一尺一寸五分ノ鋺一

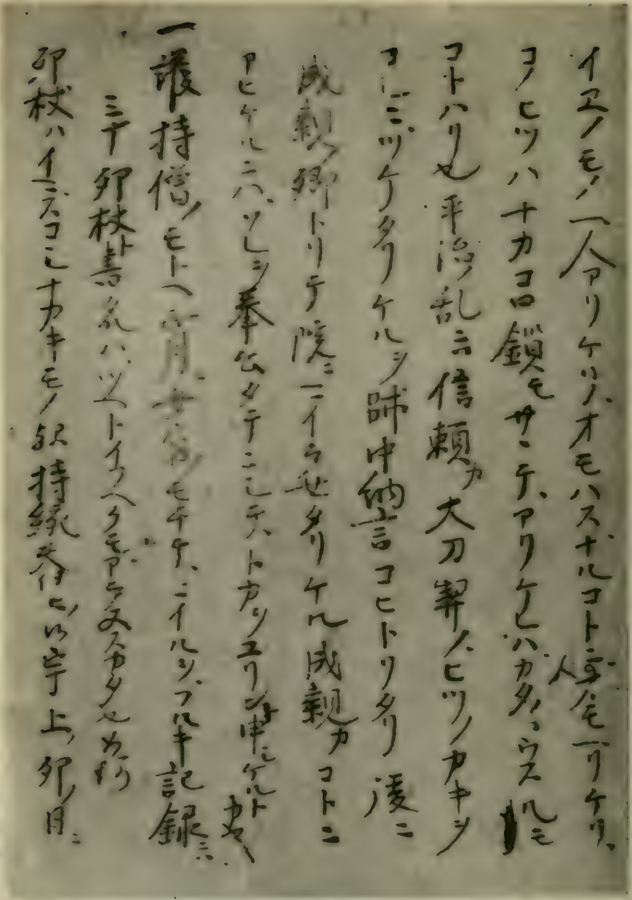
七寸

舊記ニ見エ

スヘテ、ナカサ四寸五分ハ奥ニゾイレタリ、幕ノ寸法先ニノ
記録ヨリハナカツ計オホツカナシ、コレラハ赤地錦ニテ
ツヽミテ、オナシキニシキツニスヘテニホソクキリテ、ユヒテ、
オホハ天地ニハナタヘシ、フクロニ泥ニテヱヲエシタリケルニ
ソイレタリケル、ツヽミモノハ沙汰奏聞ニナカリケルニヤ、其ノ
目ニノゾミテニハカニ錦ニツヽミケル也、フルキ滿布アリケ
ルヲハ池中嶋ニテヤキステニケリ、ニシキノ余ケルカタナ
シハ修理職ニゾメシタリケル、安貞ニハ焼亡ハナカリケレトモ
ミナ、ウセタリケルニヨリテ、トカク沙汰アリ、安貞元年二月
沙汰アリ


十四日春日行幸ノ新ニ官行事所ヨリ雨布進スルニ
内侍所ノ御門守高倉コレヲ三ハニヒツノ中ニモノナシ
其ノ由ヲ奏スト云々トモ出來セサルホトハ横ハカリニテアリ
ケルヲ同二年正月十二日頭治部卿親長神殿ニ入テ
求メイタシタルシノアタラシキヒツニオサメラルヒツモ横シ
モハツクリカヘラレニケルヤ寛喜二年六月八日内侍
所ノ刀自三條女ノ人ニカタリケルハ件ノ日殿上人五六人
内侍所ニ乱入シテ狼藉ノ其共アワケリ大刀ノ鞘ノヒツノ
カラケノシメニトキノケラレヒツモヤフレニケリハ其ノ中ニ

ヨリ雨布ヲ



イヱノモノ一人アリケリ、ソノオモハスナルコト亭主モ了ケリ、
コノヒツハ十カコロ鎖モサヽテ、アリケレハ、カタヘノ人、ウス凡モ
コトハリヽ平治ノ乱ニ信頼カ太刀幷ノヒツノカキノ
コトニミツケタリケルシ跡中納言コヒトリタリ、後ニ
成親卿トリテ院ニニイラセタリケル、成親カコトニ
アヒケルニハ、ソレシ奉公タテニシテハトカツユリシ申ニケルトカヤ、
一、義持備ノモトヘ六月廿六日モチテ、ニイルシ、フルキ記録ニ
ミテ卯林トキ名ハ、ソレトイフヘクモアラスカタシ右
卯杖ハイニスコシナカキモノ以持緑交伝ヒノ以字上ノ卯ノ日ニ

貞皇

アタクテ大舎人寮ヨリ杖八寸シ舎人献蓋ニ献鬼ト見ヘニ
タリ儀持從モトヘ女官モ持テニイルシ卯杖ト
云フメリ。クスタマノヤウニシテニツクル杖ノ十八ヘニ清少納言カ
枕草紙ニモコノモニヤスカタタヘハニ、ホコヒカチナル行衣
ハカリニテ、ウツテ、クスタマナシト、ウチツケテト云ヘリ
記録ニウツエトカケルハ、オホツカナシ
一勤ノ字ヲミカニキト云ヽ何ノ心ソ
イニタ甚ソ見ニシキカストモ云ヘトモ御(ミカ)金木(キ)奴天武天皇
四年春二月ニハニミカテ、ミカニキツヰテエニツヅニメ、ナカサ

木地ヲ

七尺ノ木地ヲ一荷ニナヒト云フ式部兵部宮内省ニモ掾納

ニテ主殿寮ニオサムルヨシ雜令ニ見エタリ一位ヨリ

無位ニイタルニテ、ソノカスリサタメタリ

一、ヘイニシト云フハ屏ニ准ニテ幔ッヒク心歟

公家ニモチヰラル、ニタツ幔ッヘイニシトハ云フニヤミロキト

綈ノチイロナルト、ニイロノ幔也 班ノ字ヲヘイトヨムナル一也

和名ノ訓ニハ、ニタツニツノ音ニハヘイニシトヨメリ、ツネニモチフル

幔ハ纐纈ノ幔也

一、幄屋トヒラハリトハ同モノ歟

三礼図ニ云、在上曰帟、天上下四方曰屋ヨリ アケ
ハリ、ヒラハリ差別アルヘシ。上ヘハカリニヒクハヒラハリ、ソハヲモ
ヒキニハスハ幄也。清少納言カ一切経供養ノ事カキタルハ
色々ノアケハリ、ヘイマントヲノ、ヒキワタシタルニ、モロコシヲ
カクヤアラント、オホエト云ヘルハ幄屋班幔ノ事ナリ。
一 耳桶ト云フハイカナルモノソ
相撲節ノトキモシ雨ヒサシクフラスシテ庭ノ乾キタルニ
灰ノタツカ、ワロケレハ水ヲ洒ニ撒ス。ソノトキ水イルヽシケト
カヤ、足桶、長横ノ足ハ半ヨリ下ニツケテ、ソレヨリ

ハチクイシカタクルシ。コレハ足ノカヽラシ（円ヽラヽ）シテ、ハタ、
ヨリサヽアケテヒラニツクリテ、其ヘヒニアフコイハヽ、アナシ
アケテ、サヽツラ又キテ、二三ハ別ノハチクイハイラス。或言
ヨリサヽ出ス。ニフ耳ノ如キハミヽヲケトモ云フ
一 白散ニイヽ具ヽタル膈薬ヲ名ヤクトモ云フハ何等ソ
女官トモカ内裏ノツホネヘコレヲモテマイリテクハレハ
ツホネノヌシナル女房歩ロクシ女官ニ名ラ給ハ例トセリ
其ヲシカウヤクモテマイリタリトイハテタウヤクモテマイ
イリナ作トイヒシハ文字ヨリカタコトシ作トモ云、タウヤクト

李トシテ

ノミトイフ年始ニハタウヤクハツカヒノ禄トゾ内裏ノ
女房ハ用意スルサトカヤ、是ヨリホタ云ヒナラハセリ
一ホトキハ盂蘭盆（瓫）ノ時用ルモノナリ世間ノ言葉ニハ
イロフニ年 物釈
瓫（ホトキ）ハ器物ノフスカタニテ言ニ通用スル釈白皇子降誕ノ
御ウブユハ ホトキニ入ルト見タ例釈 五月五日ノ薬玉ニシハ
三日 六府 左右近衛 左右衛ノ左右兵衛 ヨリタテニツル二八花トモシ此ノ器ニモル
弘仁ノ近衛式ニ云ル五月五日薬玉ノ料ニ菖蒲蓬一與 盛
雑花十捧 戴糸 トモ云ヘリ 瓫盆ノ字ハ ヒラカトヨム

ホトヽキトハ鈔字ヲヨムサレトモ、カヨヒテ、トヽニホトヽキト
云ヒナラハセルニヤ、
一菓子イル、モノヲ擂子ト云フ、何ナル義ソヘ
擂子ト云フハ、モト瓶子ノ類大ナル酒器也、ライノ音ハ雷ノ
心也、雲雷ヲ表ス、エフタチノ雲ノ中ニイカツチナリテ大雨ヲ
フリクタルコトヲエタカル也、コノクモヨリクタルアメモニカラス
サケノカメノ中ヨリ酒ヲイタスナモ、エタカニニテ、ツキセスキヲ
ミカノエヘニ酒ノオホクイラレ、コトヲイハントテ、エフタチニ
ヨソヘテ靁ト云フヨミアリ、甚ノカメノウヘニ、ムケル雲ノカタチヲ

アラハセルハ此ノ義ヲ表スルセクタモノイル、モノシ、ライレト
云フハ酒ヲイル（ヘキ）モノニ非ス、カタツキノ、スカ、タニテ、メクリニ
カハシニテ方ナルフツシオキタセ朝覲ノ節華ナントニ
御クタモノイレテ、ニイラスル、モノニヤコレシ寶集スルニ擂子ノ
外ニ別ニ樏子アリ、和名注ニハ今案俗称破子是也
中ニ有ル隔ヲ之ヲ罣セヽモヽコレ樏子ヲヤニテ擂子ト云ヒツケ、
タル欤今ノ擂子ト云ニハ（今チ）ナキ欤大ヤウハワリコノ中ノ
不同トオホヘタリ
一 素ノトキ誹謗ヲ木タタツト云フ、何ナル人タノモノツ

古今ノ注ニ云堯ノ讒ニ誹謗之木ヲ今之華表也又ニ横木ヲ

交頭古人亦從之於莫ニトニ云ヘリ華表ハ此朝ノ居額ニヤ

一ニコケトニ云ハナニモノゝモノニコヤカナル歟

ニコケニニノ字アリ一ニ云毛氈（セイ）歯髄ヲコレヲハ毛ノ納縟ナル又細弱毛也

ナリト釈セリコヽニハ、コニカニニコヤカナルカモアル「西京雑記

云照陽殿ニ有緑熊ノ席毛長サ二尺余坐則没膝ヲ」

トニ云ルハコノタグヒニヤ一ニ云［illegible］又音菜トカケリコレヲハ

旋曲毛ナリト云ヘリ識ニコヽラ又モノニコソ漢ノ武帝ノ時

天漢三年八月天ヨリ白毛ノ落ツリニハルトコヤ

ケルトカヤ

一條状ト云　條ハ何ナル心ソ
條ハフダ也　札ノ長サ一尺二寸ナルヘシ　コレニ状ヲ書タス
ヘケレハ條状ト云ヘトモ今ハ札ナラスニモカクス
一フミト云フ詞ハ二ヘアル釈
二ノ釈アリ　一ニハ新羅ヨリ表シタテマツル其ノ詞ハ長キ札ナルニ
ヨリテ地ニナゲタルヲ足ニテコレヲフミケリ　コレヨリフミトイフ　一ニハ
蒼頡カムカシ鳥ノフミツケタル跡ヲ見テ字ヲツクル故ニ字ヲ
ツケカケハフミト云フ　文ノ字ヲ書ク字トモニフミトヨム也
一文書ノオクニ軸ノヤウニ一キツケタルフタヲセントハ云フハ何ナル心ソ

箴ノ字ヲ用フ箴ト云フハミルミノ心也人ニソノコトニミテセ
トテフタヲカキテサミイタミタルナリ
一箴冊ト云フハ何ナル義ソ
ミミカクツニニヤカナル心也冊ヲハフタイトヨム唐ニ諸臣ノ功アルヲ
ホメテ鐫頭ニモノヲハタモナヒトスルトキハソノヨミヲホメテ
カキノセテタニラフヲ冊ト云フ一ニハナカタ一ハミミカクシテハアメル
カタチナリノ云フリ諸臣トハウルハシキ大國ノ主ソノナカノ
小国トモシハカカテタヒテハ随ニ甚ノ厥ニハキミトアフカルヘシ
云フ冊ハ王ノ宣旨カキノスルフタモ令冊ニ下シキリテ紙ハミニ

カキタルヲタラミヲ經開ト云フニヤ

一 翰林トハフテノハヤシト云フ義歟

甚フ不也 但シハヤシト云フハタヽ木ノ立テ多ルヲトコソ云ヘニハ非ス

花ノ林也花ノ盛ナル貌也ト釈セリ冬モノスヱノ枝ハカリアラム

ハヤシナレトハ翰林ノ林ニハキラハルヘキニコソ文花ニタトフル

ユヘニ賦ルトコロアル花林トオモヘリ

一 毫ノ字ハフテ歟毛歟

王逸カ楚辭ノ注ニ云ク鋭毛ヲ爲毫也ト云々 サキノコトニ

トカリタル毛也サシケト云フコレヲ筆ニエヒタルカ、ヨケレハ

ヤカテ筆ノ名トス秋毫トイフハイタノ筆匠ナトヘニ是モ
モニ似タルハ毫毛ト云ソ
一ホウクトイフハ此ノ国ノ俗ノ云ナラヘル名ソ未見アルソ
齊春秋云流麟子宇雲損少讃貧無能
以ニ夏故ニトイヘリホウクトハ夏故ナカク峰ヨリハニニル字ソ
一巾箱ハタナコヒノハコソ
巾箱ハフミノハコ也巾ノ字ヲハ常ニハタナコヒトヨム文選ニ向カ
注ニ巾者隠者之服幅巾セトイヘリ巾箱ト云フモ此ハ
フミノハコト心ホウルヘ十二ヤ顔延年カ大夏作ニ曰巾卷

宛衒ト云ヘルヲ李善カ注ニ巾ト云フハ巾緉也嚢ニ蔵ニ
壽シト云ヘリ名トヘハキモノヽタクヒニナルモノモアリ頭巾ト
云ヘルハヒレト云フモノヽルヰニヤフミニトルシリモアリ
巾ニ文字ヲカキテハコニイルレハ巾緉ハフミノハコ也
ヒレシハ頭巾トカク婦人ノ頭ノ上ノカサリ也ト云ヘルすも
アリニツラヲサヨヒメカ大伴ノサテヒコカモロコシニユキ
ケルヲカナシミテヒレシフリテニヨキケルヨリヒレフルヤマノ
名ニシヘルヨシウタノ髄脳ニモ云ヒフルシタルハコ也男ノカザリニ
ナルシリモアリフミノヒウニスルシリモアルナルヘシ平ニテノ

ノコフシリハ半ノコヒト云フヘキニヤ

一 繪ヲ後素ト云フハ何ナル心ソ

論語云繪事ハ後素ト注曰鄭玄カ曰繪ハ畫文也

凡畫繪之事先布衆色然後以素分布其間以成其

文ト云ヘリ。コレヨリハコヽロ汁ニヤ。一ツ地ノイロヲツケ

テ地ニ文シカシトスルトキ。シロク地ヲワリテ又シカワニ

シテ。カクトスヘシニヤ。色トリヘニツキムル汁ヲ以イニハ

シレナヘテ繪ノ惣名トス

一 馬蹄ト云フハスヽリノ異名歟

常ニハ此ヲモ馬足ノウラノ、タヽキニ、スヽリノヲ、タトヘテ
云フニコソ。但シ此ノ二字ハ、アマタニ通ス。漢ノ常帝元始年改メテ
令為馬蹄トナスト云ヘルヿアリ。文集ノ中ニ馬蹄香アリ
一 砥石ト云フハ、イシノコト、釈
カタキトクトセリ。トニスル石也。但シ紙ノ異名ニテモアリ。釈
名云、紙ハ砥也。平滑ナルコト如砥石也ト云フ。又砥石トハ
イコトモ、アハセトモ、アラトモ、トノクモハ、コモルヘキニヤ
シノタアテ、スレハ、ハタノ立ツト云ナルモノヲセサレハ、トノ、オモテ
ノヤウニ、カミノハタノ、スヘラカニシテ、物ノカキヨキシ砥ノ

オモテリニタトヘ名ナリ

一 器車ト云フハナニクルニソ

礼記ニハ山ニ出ス器車ト云ヘリ注ニ銀甕丹甑属也

實車ニハ非スモノ・中ニイリ名ハウツハモノシ人車ニノリ

名ニ擬シテ云フ歟

一 爵觴ハトモニサカツキ歟

爵字ヲハカワラケトモヨム爵ヲサカツキト云ハ雀ノ口。羽觴ハ青

雀ノ形ヲナストイヘリ、アチコチサヘカヨハカストリノトフニ

雀ニテ雀トスル歟 礼記注ニハ一升ヲ爵ト二升ヲ觚ト

三拜ヲ曰觶ト 之義也 四拜ヲ曰角ト 五拜ヲ曰散ト云ヘリ コノ
タクヒハ三十サカツキノ名數ノ不同也 巴ノ字モ サカツキ也
四拜ヲウクルモ今ノ世ニ大サカツキハアレトモコレホトノ ナキハ
ナキニヤ 爵ハ 獻貴ニ 散ハ 獻賦 觶ハ 盤 斝 擧
果ト云ヘリ 人ニヨリテタカヒテモチフルニヤ

一 新羅國ノヒサゲツコノ 巳ニ 雜羅ノヒサケト云 説
アル歟 如何

雜ト新ト 字ノ作リ相似スル カキソンシテ 雜羅ト云ト申ス
コトアリ 但ヒサケハ新羅ヨリワタレルナルモノ 朝

貞信云ハ又ナコレヲクリテ、エフダニ合セタリハ、ワツシタリ、ホケハ合セニモ
セナカムカニエフクロニイレテ、モチヨカラン、レウニ之名イトモ云フ
ニヤサヒハ正字トオホシキ字ナシ、多年ニテヒサクハヒサケ
ト云哉和語ヨリシコレヲ武名コトニイロヘタモアラスシ
陰、時祭ト云コトニハ提ニサケツヘルトカヤ、シラヌコトト云フ
樂器ハ、新羅ヨリワタセルニヤ、新羅琴トカクヘキシ、新羅
琴ト カキテシラキト[illegible]國民ハコノ國ニハシラノ
キトヨムナリ、カノ新羅ノヒサケトヱフハ、根本鈔鑼ノ
提トカクヘキ歟、鈔鑼ト云ハ、銅器ハ名也、銅鈔鑼トニ
カク宋人ハトウサラシツウソロト云ナル、サラハヒサケト云ヘキシノ

サウクトイフアヤニテアル歟

一大ヒキレシ下巻ノ中ニ合子ト云フハ五ヘアリヤ
和名類聚ニハ尚食局ト云ヘリ又ハ今案スルニ朱漆ノ
合子セヒトクヒモノスウル朱盤ノ多ヒモ朱ト漆トノアハ
セテスリタル心ニテ合子トハ云フニヤ子ノ字ハコレニカギラズ
諸物ニ多ク通スル字也楊子瓶子銚子酒台子鏑
子床子等ノ多ヒ、オホシ盤ニアラネトモアカクヌリタル定
器風情ニモ合子ト云ヘキニヤクロヒキイレノ大キナル合子ト云フハ
ヌセニリタ云リケ名ヲシ盤ノスハ排トカクヘキツ今ハ盤ト

カキナラハセリ盥ハモトハサラヒトヨムモノナリサラト盥トハ
ミヘテイノモノナルニ、混合シテナラハセリ風土記云越俗ノ
飲宴ニ鼓レ拌シテ為レ楽取二其ノ廣サ五六寸ナル者ヲ一把テ著
腹ニ以二右手ノ五指ヲ一弾ス舞者ハ應レ節ニ而舞フト云ヘリ
一楊枝ハカキナラスニモ、ヤナキノエダシキルヘキモノ釈
寄皈傳ノ説ニ楊枝ハ天竺ニ憚多家瑟詑ト云ヘリ
憚多ト云ハ歯ナリ家瑟詑ト云ハ木也アハセテ歯木ト云フ
歯シサハヤクル木也ハナリ、又ハ楊枝トモ云フハ本名ニ非ス并ス
ヤナキニモ、カキラサル釈カノ傳ニ或ハ大ナル木ヲワリ用ヰ

ヘシ或ハ千井サザキ枝ヲキリテモツクル柳ノ條蔓ノ
蔓サキトス平噛ニウルモノハスナハチ楮桃槐柳
カミシタカクヘシトイヘリ又木ノ枝ハ苦ク辛キ樺モノシ高
往トモ云ヘリ又蒼耳根トシ歯ヲカタクシ口香食消
飲シモサクミシシノモチヒルナリ年月スレハ口気頓除テ疾
微ハニヘリヨリテ即愈ト云ヘリ又歯木ヲ名テ作ス楊枝ト
西國ニハ柳樹全ク稀ナリ佛ノ歯木ノ樹ハ寔ニ非ニ楊枝ニ九条
殿ノ御遺誡ニハ楊枝トカヽレタリサモカクヘキニヤ
一 桃ノ筆ト云フハニノ木ニテ筆ツクル様アル歟

簟ト云ハモノアツク夏ノ比モノ也竹ヲアミテヒヤヽカニ
風スキトホリテスヽシ、桃笙ト云ハ竹ニテハアラス桃ノ
枝ヲスクナルヲアミテ比ヽモノトスル也集咒笙ニ非ス笙ハ
三ニ方竹ナラヘテアメルカゴトシ、笛竿モ竹ナラヘタルハ
カヨハシテ用ルハ笙ノ合モ甲ヘルモアミタル竹アハセテ
フケ谷竹ト云字両物ニ通スル歟

一アミロハ車ノホカニモ千井又物歟
アミロト云ハモトハ比ノ物也簟ノゴトシ筵篠トモ
籚簽トモカケリ麻竹ノ席也トミヘリアミノ字ニハカヽキニ

ワキテ網代ガク令ハ車ノハフモノハカリニモ千ア網代トハ
河ニ魚トルモノシクフ聲丸モノイフメル
一 圓座ト書テハ ワランタトヨムヘキ歟
圓座ヲハ又ハ藤又徒ロト云フ訓ニ和良布太ト云ヘリ
スカ圓座トハリヤク儀セラルハヒクハ、ヘリサシ名物ニナ
ニ随テヘリノ色モカハルヘシ今モ大饗ナントニハヘリサシ
名ル圓座ヲシク、ニロキ半帖ナルヘシ
一 連ヲクヽケトヨムハ櫛イル、篩歟
サコソコヽロエ名ルシ 万葉 哥ニ

シカノアマノメカリシホヤキイトマナミ

クシケノヲクシトリモミナクニ

ト云フ哥ニ 髮梳ノ小櫛ヲカキテクシケノヲクシト

ヨミセタルハ、カミケヅルクシト云フヿニ、カミケヅルクシトハ、

ハコセハイハルヽクシノ名ヲバ戯名ニシタルニヤ 但シ万葉ニハ

物ノ名一ヤウニカヽズオホシ所ニシタカヒテトモカクモ

アリ メシモ和布トコソカケトモ此哥ニ軍布トカキテ

メトヨマセタリ又此哥ニシカトヨメルハ近江ノ滋賀ニハ

非ズツクシノ志賀ノ嶋ノアマヿト云ヘル也

一 米寺ノ名ニ石斛ト云ニ開ノ字見斛ト有

斛字ヲ開スヘキ本トス斛字ヲヨチトヨム 南陽王ハ漢

武帝ノ長子也李夫人ノハラニテオハシケレハクラヒニモ

ツキタマハス定州ト云フクニノカミニテソオハシ

ケル蝎(カツト)ト云フムシハキハメタル毒虫ニテ人ヲモサシコロスモノ

也此ノ虫ヲトラヘテ、フトウミト云フモノニシオキテモノニ入レ

マハセタルハ蝎フトウミヲサスニ、フトウミ、カキミカリテ

クミ又キテルシ見ヘテケウニイリ愛スルナリシソ、コノミケル

トキノ御門モアヒソエテカロタオハシケルニヤ人ヲツカ

ハシテ何事ヲカシテ心ヲモナクサメ興シ給トタツヌ
ラレケルニ、我ハカヽルアソヒヲソスルト申タリケレハ
オモシロカリ給ヒテ蠍虫ヲ人ニアテヽオホクトラセテ
コフヲニトリ入レテムシトニハ念ナヒトヤオモハレケム人ヲ
ハタカニナシテ、ソノコフノ中ニイレラレケレハ其ノ人毒虫ニ
サシテ、ツメキ、サケヒ、カナシヒ、ノヒカニナリ、アツテ死ニ
ケリ南陽王モメサレテ、モロトモニ、ケツ入タニヒケリ
御門モカヽルオモシロキ事ヲ見サリツルヨ
トソノ給ヒケル、トキノ人カタフキテ、南陽王ヲニクミ

ヨカラズサシノミストイヒテ、漢ニ讓テ庸ニケルニヨ
リテ南陽王ヲコロサシニケリ、ソレカ死ニテ、ノチ
也百餘日ニナルニテ、カホノ色モ多ハス髮モヒゲモ
オチサリケル不思議ナリケリ、時ノ人云ケルハ五月五日
ムニしタル人ハ、しナトモ、ミタレストカヤ、此南陽王ハ五月五
日ニムニしタリケリ此ノ北史節要ニ云フヲミニ、云ヘルハ
蝎シトしル所ニ得ニ二三孫シ置ニ諸浴斛ニ便人シ裸
即ニ浴斛ノ中ニ號叩宛轉ストエリ樂天ハ窪石ノ詩ニ
浴斛ト給リ 十斗シイハ、ホトノ子シ斛トス論語ニ

廣サ深サ一尺六寸二分ノ器也ト云ヘリ一斛ハハカリノ四
万六千八十銖ニアタルト文選ノ注ニ云ヘレトモ廣雅ニ
トリテハ斛ナ大ナル器物ナル心ニテ石トモカタ取石ト云フニ
碩ノ字ノ作リツクリ也碩ハ 大キナリトヨム石ノ字ニハ
コクト云フヨミナシ 斛ノ字ノ音ヲ石ニヤトシテヨムハ白地ノ
すせ也ツクリノオホキシイトヒテヤスキユヘニ碩ノ字ノ
カタクシ用テ石ト云フセシハ宋朝往生傳ノ中ニ小豆一粒ヲ
念佛一反ノカズニアテヽ黒物ニイレシクすシアラハセリ
田舍ノ文書ニオホクカタツクリノ字ヲモチフ一杪ト

カクヘキシハ一タトカキ一撥トカクヘキシハ一オト
カキ一町トカクヘキシハ一丁トカキ一畈トカクヘキシハ一反ト
シナシタリ畈ノ字ノ草シ反トカキテ、カクカキナス歟
石モ其准ナルヘシ又盛ノ斛ト云フ千斗サクテ五斗
イルホトノハコシ盛斛ト云歟漢書ニ十六兩ヲ為ト斤ト
為ト鈞四鈞為ト石云ルハ輕重ノ量也別ナル歟
一斗ハ斛ノ字ナシ略シテカクニヤ
丁口反ナリトウトヨムヘシ口吳音ニハ斗トヨム茶維ニ
糲米一斛シテ精米ト為ハ八斗ニ云ヘリ又料ノ字ハ遼便反

ミエトヨム 斗ハヒサコ也 星ニハ南十ケ〆南斗トヨム 北ハ
北斗也 北斗ハ米ノ黒ニ似タル故ニ 廉貞武曲破軍ノ
二星ヲハ柄ノ星ト名ク 大国ノ斗ニ柄アリ 斗ノ柄ニニタル也
南斗ハヒサコニニタルカ一詞ヲ律シハ一ミトヨム 律
シハノホルトヨム 律ソムクトヨム 乱ニツケリナリ 律ニ
ミタノヨミナキ釈
一 酒一オケトルシハ 一桶ハ二リ一斗ト云事為作
オケニハカクノヨシ本トスル釈 桶ハトウトヨム 桶カクト
字ハ槽ナリハヘキト云ト タルキノ實名也 桶ヨム

字アリコレハクスヌクトヨム字ニ桐似タルハ是ニリテ
開ルニヤ、オケツハカタトヨムヘカラサル歟 文集ニ
稱 不稱トヨム事アル、オホツカナシ。ハヘキトスミ
キトハ別ナル歟如何
ヘミツノシシタニキシノヘソトイフハ人ノヘソニニタル歟
八種ノカラクタモノトイフモノアリ其中ニ黏臍（テンサイ）ト
云フモノアリ新造既立ノ説トシテハ黏（ネ）作（ツクリ）似ニ人ノ腿（コシ）臍（サイ）ニ
セト云ヘリコレシシノヘソニニタル黏臍シハ又ハ油餅ト云フ宋
朝ニハ油餅ノ二字ヲユヒムトヨム。レツノシタニキシノ

ヘソト云フハコトハソノ似タル ハカリ叶スカタノ中ノクホキシハ
（コトハノ似タルハカリ）
サモイヒツヘケレトモ所見ハ不明ナラス和名類聚抄（二六丁左）ト
カキテヘソトヨメリ注ニ云績麻（ツムイヲアサ）（同二十）名ナリト云ヘリ
績麻トカキテモヘソトヨメリ常陸國記ニ云ク昔兄ト妹ト
同日ニ田ヲツクリテ今日シソクウヘタラムモノハ伊福部（イフク）
神ノウサハヒツカフルヘシト云ケルホトニ妹カ田ヲシソク
ウヘタリケリ其時イカツチナリテ妹ヲケコロシツ兄
大ニナケキテウラミテカタキヲウタムトスルニ其神ノ
所在ヲシラス一ノ雌雉（メキシ）此雉トヒ来リテカタノウヘニ井タリヘソタ

トリテ、雉ノ尾ニカケタルニキセトヒテ伊福部臣ニ
アカリヌ又其ノヘソシツチキテユクニイカツチノ
フセル石ハ屋ニイタリテ、タチシスキテ、神雷ヲサケシト
スル二神雷ヲシヘシ、シノ、キテ、タスカラシオシコフ、タヘス
キミカ命ニシタカヒテ百歳ノノチニイタルニテ、キミカ
子孫ノスエニ雷震ノシヘシナカラムト是ヲユルシテ、コロ
サスキセシ、ノ思シヨロコヒテ、生々世々ニ随ヒ仕ンシ若シ
遠化アラハ病ニツハシテ生涯不審十九ヘシトチカヘリ
甚故ニ其家ノ百姓ハ今ノ世ニテ雉ヲクハストカヤ云ナリシ

廣サ深サ一尺六寸二分ノ黒セトモ云フ一斛ハ方一尺ノ四
寸六千八十銖ニアタルト文選ノ注ニ云ヘレトモ實ニ
トリテハ斛ナル大ナル黒物ナル心ニテ石トモカク釈ニ石ト云フニ
碩ノ字ノ作リニアリシ碩ハ大キナリトヨム石ノ字ニハ
コタト云フヨミナレハ斛ノ字ノ音ヲ石ニヤトシテヨムハ白地ノ
マヽシツクリノオホキシイトヒテヤスキユヘニ碩ノ字ノ
カタクシ用テ石ト云フセシハ宋朝往生傳ノ中ニ小豆一粒ヲ
念佛一反ノカスニアテヽ黒物ニイレシクマシアラハセリ
田舎ノ文書ニオホクカタツクリノ字ヲモチフ一杓ト

字アワコレハタヌキヌクトヨム字也ニ椆似タレトモアヤマリテ
用ルニヤ、オケソハカクトヨムヘカラサル歟　文集ニ
椆　不椆トヨムヘアル、オホツカナシ、ハヘキトスミ
キトハ別ナル歟、如何

一　ヒツノシシタヽキシノヘソトイフハ人ノヘソニニタル歟、
八種ノカラクダモノトイフモノアリ、其中ニ黏臍ト
云フモノアリ、弁色立成ニ云、黏作、似人ノ腿臍ニ
セトイヘリ、コレシヘソニニタルニ黏臍シハ又ハ油餅ト云フ、宋
朝ニハ油餅ヲ二字ヲユヒムトヨム、ヒツノシタヽキシ

ヘソトヲ云ヘキヲハソヘ似タルハ才ヤ状スカタノ布ノ名トキコエ侍ルヲハ
サセイヒツヘケレトモ愚見ハ不明ナラス和名類字抄ニ云
カキテヘソトヨメリ注ニ云續麻（ツムキヲ）旧名ナリト云ヘリ
績麻トカキテモヘソトヨメリ常陸國記ニ昔兄ト妹ト
同日ニ田ヲツクリテ今日ツクラウヘタラヌモノハ[illegible]伊福部（イフク）
神ノウサハヒヲカフルヘシト云ケル相ホトニ妹カ田ヲツクリシ
ウヘタリケリ其時イカツチナリテ妹ヲコロシツ兄
大ニナケキテウラミテカタキヲウタントスルニ其神ノ
所在ヲシラス一ノ雌雉（メキヽシ）トヒ来リテカタノウヘニ井タリヘソヲ

ニトハノ似人タルハカリ

カタヘキシハ二タトカキ一穢トカタヘキシハ一オト
カキ一町トカタヘキシハ一丁トカキ一畷トカタヘキシハ一段ト
シテナシタリ畷ノ字ノ草シテ及トカキテ、カタカキナス歟
石モ甚准十八(ミ)又盛斛ト云フ千井サクテ五斗
イルホトノハコシ盛斛ト云歟漢書ニ十六斗ヲ爲ルト
為ル鈎四鈎為ル石ト云ルハ軽重ノ量ヲ別ス歟
一斗ハ升ノ字ナシ略シテカクニヤ
丁口反ナリトウトヨム(ミ)呉音ニハ斗トヨム爾雅ニ
糲米一斛舂爲ル八斗ニ又云ヘリ又糲ノ字ハ乙便反

ヲエトヨム魁ハヒサコ也魁ニハ南十文ス南斗ヲナントヨム北ノ六
北斗也北斗ハ米ノ黒ニ似タル故ニ廉貞武曲破軍ノ
二星ヲハ柄ノ星ト名ク大國ノ非ニ柄アリ斗ノ柄ニニタル也
南斗ハヒサコニニタルカ一詞ヽ鉢シハ一ヱトヨム鉢
シハノホルトヨム鉢ソムクトヨム乱ニツケリナリ鉢ニ
ヲクノヨミナキ釈

一酒一オケトルシハ一桶ハヒリニコウト云フ正字不詳
オケニハカクノ日ニシ本トスル釈桶シハトウトヨム桶ト
字ハ榛ナリシハヘハキト云フハタル木ノ実名也桶ヨム

トリテ、雉ハ尾ニカケタルニまさレトモ、何[illegible]ヘノ[illegible]
アカワヌ文其ノヘンシッツチキテ、ユヘニイカワチノ
フセル石ハ屋ニイタリテ、タチツヌキテ、神雷ヲセラント
スルニ神雷ヲシテ、シハ、キテ、タスカラヒサリコフ。ヨテ久ハ
キミカ命ニシタカヒテ百歳ノノチニイタルニテ、キミカ
子孫ノスヱニ雷震ノシンレナカラン。是ヲエルニテ、コロ
サス、キミシノ思ヲヨロコヒテ、生々世々ニ徳ヲワスレシ。君
遠代ハアラハ病ニツハレテ生涯不幸ナルヘシト チカヘリ
其ノ故ニ其前ノ白狀ハ今ノ世ニテ雉ヲクハストカヤ、此事ヲ

取二績麻一ヲ俗云ヘソ

拘カケル所ニ引テ績麻ヲ俗云條種ト繋ニ其ノ雉尾ニ云リ

一 庭燎ハニハニトモス火 燭ハ家ノ中ニトモス火ヲ

常ニ其ノ心也 但シ鄭云在テ地ニ日ニ燎ト 執テ之ヲ日ニ燭ト云リ

又樹テ之ヲ門外ニ日フ大燭ト云ヘリ コレニテオモフニ燭ノ字ハ

内外カヨヒテノサタアラサルカ 炬ノ字モ常ニトモシヒト

ヨメトモ 和名類聚抄注ニ俗云タイマツ 常ニ

愚フニハタカヘルニヤ

一 松明ヲタイマツトヨム ソノ心如何

ニサコクハ績ト松トカキ合ソ訓ニハツキニツトヨムヘキシツイ

ニツト云ヘワツイニツシテ又イニ合ヱアメテ、タイニツイニ[illegible]
タリ　假名ノキノ字ノシメイト云フツヲミ出ナ也カキタテツノ
ワイタテト云カ如シ　タトツトハ圓音也ハツキニツツノ
タイニツト云フ事也　次ノモエハツレハ、モトノシハステヽサラニ
アタヽキニツシトリグシテ相續スルハ、ツキニツト云也
昔ハツイニツトノミコソハ爲ヒケ文伊勢物語ニモ　ツイ
ニツノスミシテ、カキツケタルヨシ也ケリ
一　ハイスミト云フハ灰ノ如キク墨歟
サニハアラス掃墨トカキテハイスミトヨム、カキハラ

ヤウニシテ入ル事ヲ説ク也。ヒノシタキニツクシハ地ノハラフ
ヨシ説ハキスミノ事也

一 面色死灰ノ如ト云ハ ハイノ消ルト云事ヲ何
文集ニ死灰トカキテキエタルハ、ハイトコソハヨミタレ、オモテ
ノイロニサホニナリテ、アカキトコロナキハ、ハイノイロニ
ニタル也、アサマシキコトニ膽シタル人ノカホナリ草カル、
ニモ死ノ字ヲ用テカル・トヨムカ如ク 火ノ消ルカ如キハ
キユトヨム 又人ノ消ルモ キエイルカ如クナル説 火ノキユ
タルアトノハイハ 死灰也

一鍛冶ヵアヒツチト云フハ二人ムカヒテウツユヘ也
ツチニハサ〆エタリ　但シ掾撃ノ二字ヲアヒツチトヨム
大槌ノ名ヲハ基文ニ云鍛人ハ大槌ヲ為掾撃ト
二人ニテウツタチトモ云ツチノ云ニテアヒツチトハ云ナシ
キヌタトユフキヌアテヽウツイタトユフヽ訳可篇ニテ
一砧トカク〆〆可
砧碪礁ニテキヌタトヨム展繒石也杖セウ畫ハ石ニアテヽ
杵ノ字モツチニキヌトヨメトモ擣衣ノ具ニハ
杵ハツチトヨム也
一カナツチノ鐵ニテツクレルニ篇トカキテ竹篇ニシタカヘ

タルヽ何

和名類聚ノ注ニハ竹ノ黒セルト云リ是故ニ竹ヲ以テ名ル

コトハリナリケリ昔ハ燈樓ノ如クノ火ヲトモシケルニコソ

今ハ松ヲタテハクロカネニテツクルナルヘシ

一フナニト云フハ船ニ荷ヲツムユヘニ荷ノ字歟

荷ハカチニテニナヘルニヤ船ニ艤トカキテフナニト

ヨムフナノニヤ

一アフタニカヽルナト云フハ何ソ

アフタトハアミタセアミタトハアミイタセ復輿ハト

ニカキテ アフノタトヨム イタ竹 ナトシアムヨミ訳良處

声曰 板輿ハ以板為輿 李善カ文選注ニ引礼

記ニ云 板輿ハ車名也 アミタハ 潘岳カ造之ヲ訳

一 ナカトリト云フハ チリトリ訳 正字ハ中取訳

輿棨 棨二字 トカキテ ナカトリトヨム 畢レ食ヲ 黙ハ二字 アミ多カケ

ホカヒナトト云モノハコトシ 本トシテ ツクリ名ナルコト 今ニ

チリトリノ名ニナリニケリ

一 菊ノ字ヲ カワクサトヨムハ 莿草ノ心訳

字ノ釈ニ 乾草也ト云フ カワクサトイフ 干草也 ホシ草也

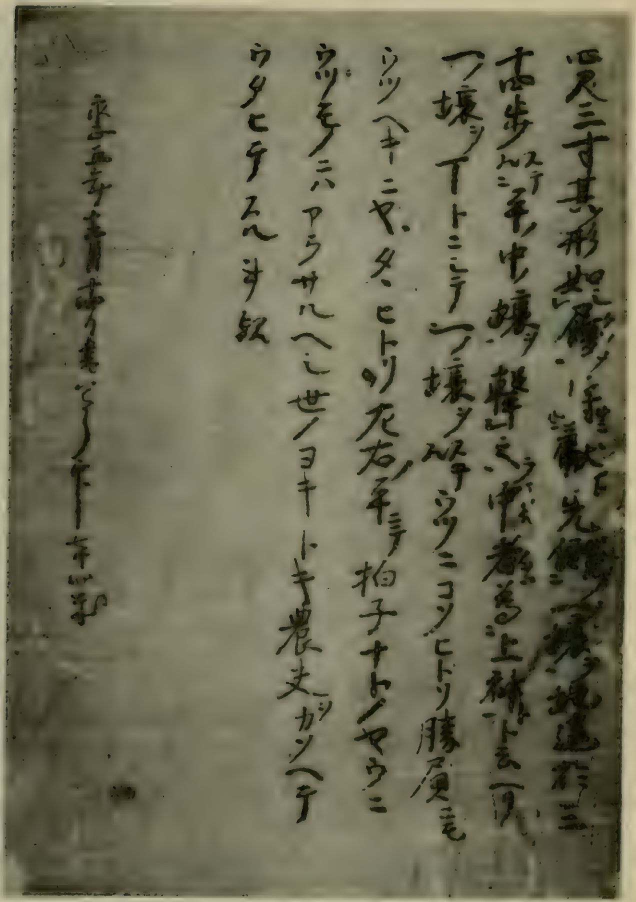
リタルヲハ

ナハニテ

サレトモ今ハ偏ヘニカリクトノミハ云ヒナレトモコレシ用テ
●カリクサトノミ云フ訳
一 羂索ト云フハ トモニナハ訳
同字ナレトモ コレシハカリニ云ハ コレタカニテハアミトヨム
ヤウアリ 和名ニ 罥索ト カキテ カケナハトヨメリ 注ニ
取馬ノ縄也 玉篇ニ 不空羂索ト申スハ 人ノ心ハ春ノ馬ニニタリ
アレテツナキカタシ 心ハ馬ニタトフレハ 心馬ト云イ意馬トモ
云フ ●コノアレタル心ヲアレツメテ調伏シ利益シタマフナルニ
馬シカケナハニテ トニノヘルカ如シ 玄奘三蔵云 衆生ハ

木ヲ作

如ニ擲羂ノ形ノ或 索空ニ慈数ハ動搖因雖不ニ云
會故ニ愛ノ斷名ヲ又 不空三藏云以テ愛念ノ繩ヲ羔ヨ
縛テ衆生ヲ未タ至ニ菩薩ニ不ス放捨セト云リ
一氷瓶ヲハ 氷侖龜ト云欤同物欤
訓ヨミハ同ケレトモ氷侖龜ハスニ叫カメ也ミツイレ也嗔ク弓
勢ハ月ノ初ト云コトシ賦ル詩序ニ運中ノ氷侖龜含ニ冬
氷ヲ而徒ニ咽トカケル是也
一礬壤ト云フハ田ツクルモノナトノ叫チシラウ欤
風土記云礬壤者ハレトナ作ルヲ前ハ鹿後ハ鋭ルナリ 長サ



長三寸其形如鰐[illegible]ノ[illegible]先[illegible]遣[illegible]三

古歩ノ以テ手ノ中ノ壊ツ聲ス中ハ[illegible]為ス上ハ下ト云一尺

ヲ壊シテトニシテ一ノ壊ツ以テウツニコソヒトリ勝負モ

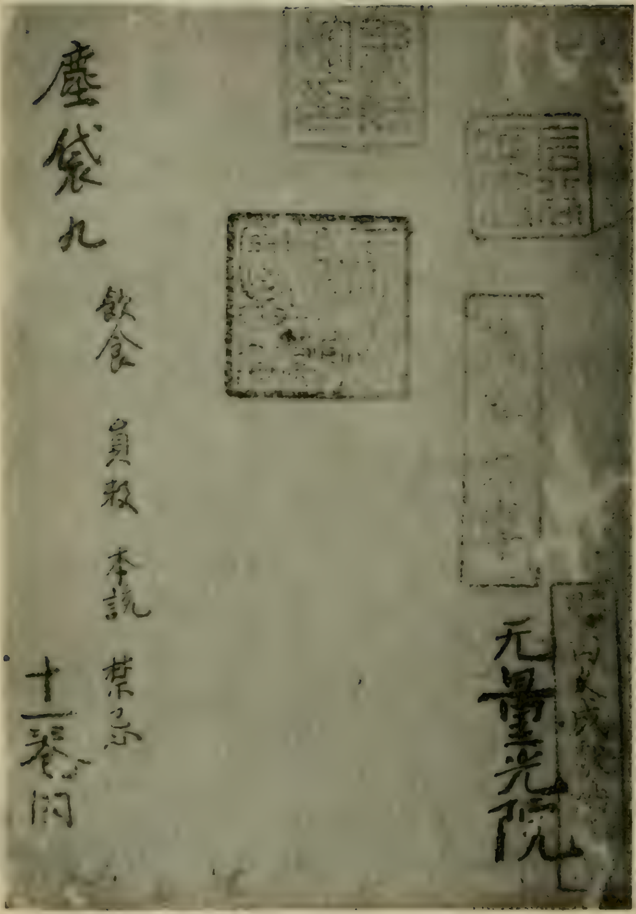
ウツヘキニヤ。タヽヒトリ左右ノ手ニテ拍子ナトノヤウニ

ウツモノニハアラサルヘシ。世ノヨキトキ農丈カツヘテ

ウタヒテスヘキ歟

永享五年十月廿日集[illegible]ノ下[illegible]年[illegible]

KO11


塵袋 九

飲食 員数 本説 禁忌

十一巻内

无量光院

一粟ノ字ヲ米ト云フ事アリヤ何

一餅餤ト云フハ何ナル義ゾ

一麨ハホシイヒコナルヤ

一オニスト云ヤ

一アツモノト云フハ何ナル物ゾ

一酒ヲバクルシトハカムト云フハ本ヤ

一酢ヲバ御ミスト云フハ本ヤウ

一年始ニ餅ヲ賞翫スルハ何ゾ

一沙糖ハ唐ノ名ナルヤ

一菓物トハ草花物ヲイフトナリ

一千二キト云フ其

一主ヲバアルジト云フハ饗應ヲスルナルヤ

一味噌ト云フハアテ字歟

一サケノ聖人トヨムヤ

一鼎ト云フハイカキナル事ニモ口々一舌ト云ニイカホトゾ

一スミ何逢ニ逢字ヲ云所　一天ニハ二ツ名モシ年ハスト云事

一三人同世ハ衆トサヨト云事　一次第ノ逢ガハ多水逢ガルジスト云事

一道ノツゝニテ学問ヲサヨト云為　一年ヲ経ルコトハモノ生ナスト云事

一トラニハ尖ヲツウルト云ヲナト云所　一キツ子寄ニ威ヲカルト云事

一石ニイサキナシ漸ニ入ルト云事　一美女悪女カ年ト云事

一斬罪工夕ジシヌルト云事　一物ナキニハ地ヲシヲウト云事

一ミヅウラニ毛オフト云事　一信ナキ命誕ハ甲ヲルト云事

一驥ニ尾ニツクト云事　一井ノ中ノ虫ルト云事

一魚水ノ契ト云事
一酒ハ本心ヲアラハスト云事
一慶[illegible]モトハ[illegible]ト云事
一諸[illegible]心ン
一変死トハ非分ノ死ニテ[illegible]
一近来盗賊ヲ以カタリ朱雀ト云ハ[illegible]
一周忌ヲ周閑トモカク事

一死ニ多ルモノ名ヲ替ハイキカヘルハ事
一割ト云コトハ[illegible]人アルヘシ
一帝崩ヲ晏駕ト云事
一諱ノ字ハ[illegible]ト、ヨミ候
一墳墓両字共ニ以ハカノ心也
一同穴ノ契ト云事
一梓宮ト云ハ天子ノ[illegible]

嘉儀第九　飲食　負数　参読　恭忌

粟米　餅福　餅膜　沙糖

麹　美物　鱠　糗

羹　御餐　醸　味曽

四種　聖人 賢人　一尋　一長

一逢　階天　三人同　火邊乾

道迷　過事　虎羽　虎威

懐石　悪女歎　居影　掃地

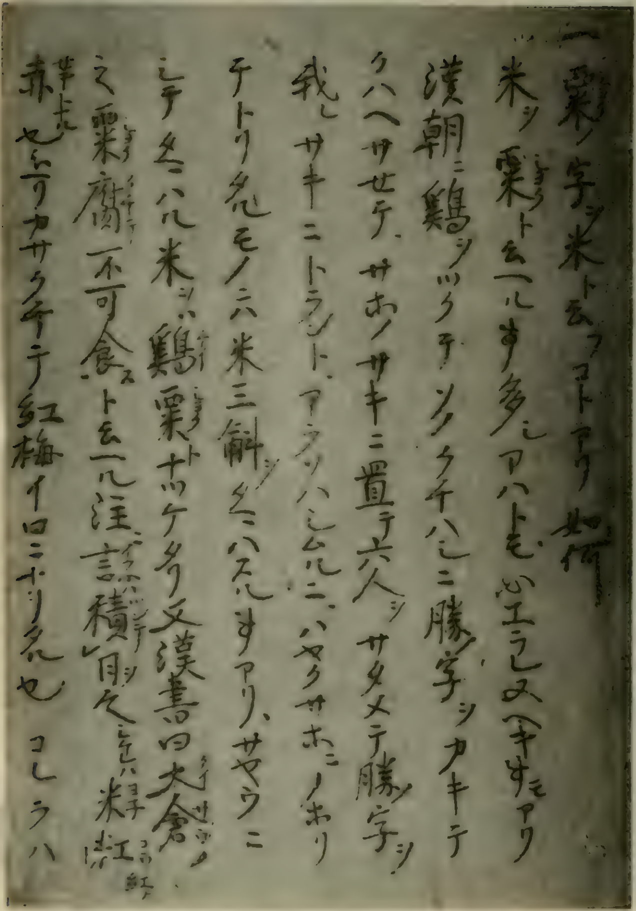
足毛　無信亀　驥尾　井蛙

魚水　囊名　頸本心　一割

鴻毛　晏駕　諒闇　誅字

炙死　墳墓　墓朱　同穴

周忌　梓宮 無啓國


一　粟ノ字ヲ米ト云フコトアリ如何
米ヲ粟ト云ル事多シアハトモ心エラレヌヘキ事モアリ
漢朝ニ鶏ヲツクテソノクチハシニ勝ノ字ヲカキテ
クハヘサセテ、サホノサキニ置テ六人ヲサタメテ勝ノ字ヲ
我レサキニトラント、アラソハシムルニ、ハヤクサホニノホリ
テトリ得ルモノニハ米三斛ヲ給ハスル事アリ、サヤウニ
シテ給ハル米ヲハ鶏粟トナツケタリ又漢書曰大倉
之粟腐不可食ト云ルハ注言積久也米紅
赤セムラカサクチテ紅梅イロニナリ得セ　コレラハ

ナリタル

ハ字ナレトモ米ナル心アルヲカヽリ、且乱世ノ教ヲ濃
乱世ヲ鑒ミテハ則粟ヲ多クス、則人富ムトイヘリ、此
心ハ米ナルヘシ、粟ノ一字アルハ、米ヲロクスル事ナルヲ
ニ先年ニ鎮西ノ八木ヲ宋朝ニワタスサツト一大
テシシトキ、頼朝卿米ヲ粟賽トカキタリ、シシ
定副紙アハノニハ何ツトアサリタリケルヲカヘリキニテ
頼朝ノ紙トカメテ、ハカリテキ、イカカヒニナリタリトキコエキ
一年始ニハ人コト餅ヲ賞翫スルハ何ノ心アル、餅ハ
福ノモノナレハ、祝ニ用ル歟

豊後国球珠郡ニヒロキ野ノアル所ニ大分郡ニスム人ソノ野ニキタリテ家ツクリ田ツクリテスミケリアリツキテノ家トミタノシカリケリ酒ノミアソヒケルニトリアヘス弓イケルニマトノナカリケルニヤ餅ヲクヽリテ的ニシテイケルホトニソノ餅白キ鳥ニナリテトヒサリニケリソレヨリ後次第ニオトロヘテマトヒウセニケリアトハムナシキ野ニナリタリケルヲ天平年中ニ速見郡ニスミケル訓迩ト云ケル人サシモヨクニキワヒタリシ所ノアセニケルヲアタラシトヤ思ヒケム又コヽニ

大一三

コヽ二

切タリテ田ヲツクリ、タリケルホトニ、ソノ苗三十カレウセ
タレハオトロキ、シソレテ又モツクラス、スヘテニタリト云ヘル
ヨリ餅ハ福ノ源ナレハ福神サリニケル故ニオトロヘ
ケルニコソ福ノ勝ナレハ年始ニモテナスヘシ二人分カヒテ
餅ヲヒキワルシハ福引ト云ナラハセルモエヘナキニ非ル歟
又内裏ニ餅ヲ名ツク福生菓トモ云ルト云リ

一 餅䭔（ヘイダン）ト云フハ何ナル義ソ
粉熟（コンジュク）餅䭔（ヘイダン）トテ内裏ノ公宴ニモチヰラル、モノ也
私ノ所ニハ見エス粉熟シハ米粉（コメノコ）ニテツクル故ニ粉ノ字

アワ鮫ハ調トヽノフル心ロ餅餤ハ餅ハモチ井ノ字
餅ヲハ釈名ニ云今糝ニテ多ナトムキトアヲアラスハナト麺合并セト云可是故ニ食
篇ニ并ノ字ヲ己タルヲ今ハ糝一ニテツクルトキ餅トモ云フ餅ノ
中ニ漢名滋味ヲノ叫ニミコメテサカナニスルハ餅餤トモ云フ
餤ノ字ヲハサカナトヨムヌ有ト同事也楊氏漢語鈔ニ
餅餤ヲ釈スルニハ畏春餅中ニ則煮鵝鴨鶏鴨ニテ并ナラヒニ
雑菜サイシメホソニキルト方截盛リ考定考定トカキテ定考ヨム也年中行事ノ中ニ有リ朝ノ
脈座ナナヒニ穏座ナトニ粉熟ノ餅餤トモニアリ
二献ニ粉熟ヲスヱ三献ニ餅ヲスヱ四献ニ餅餤ヲスヘ

宜陽殿ニヒラ庭ニ粉熟ハカリソミヘアルニヤ

一 沙糖ト沙菓トハ一物歟各別歟

各別也沙糖ハ唐ノアメ也甘蔗ト云フ草ハ多クオヒアカリテクキハニキモノヽ如シアニキ草也是コレヲコノミクラフ人モコノ草ノクキヲワキリニキリテスハマレハアニキヽ、コルアマリコレヲ煎シテハカヽタルヲ沙糖ト云フ沙菓ハ仙菓ノ名也ツクリニアルモノニ非ス山海経ニ曰崑崙ノ丘ニ有木焉其ノ状チ如シ棠ノ而黄ナル花赤キ実其ノ味ヒ如シ李ノ而無シ核名テ曰フ沙棠ト御

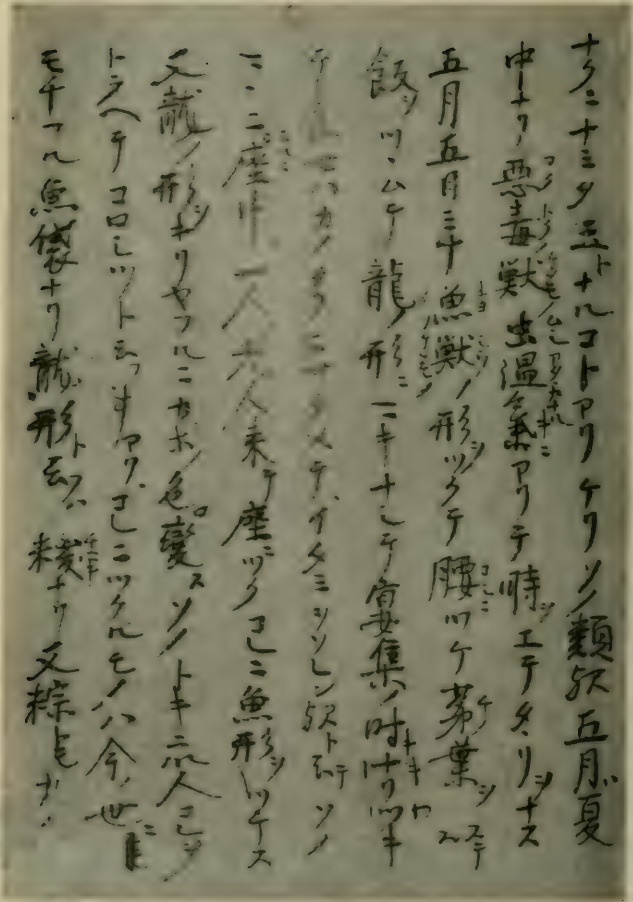
用モ泳ヲ食ニ使シ不レ溺ト云リ。呂氏春秋曰果之美者
沙棠之實ト云リ

一 趣ト云ハ何

大智律師ノ觀經ノ疏ニ趣ハ即乾飯ノ屑也ト云リ サヒハ
ホシイヒノコナハヘシ

一 美物ト云フゴキ ノ5ス イホトリノ名ナリ
兩様ニ通スル也 美物ト云ヲ魚味トオモヒナラハセル事モ
アリソノ五ナキニ非ス 日本記ニ美物ヲ酒トカキテ
イシイトサケトヨムナリ

一十ニストイフハ十ニ年魚ニスジノカクル、心歟
或云ハ鱠ノ字ヲ十ニストヨメリ其心云、日本記ニ
割鮮トカキテナマスツクルトヨミセタリ是ハ野ノカリニ
或云ヘリセヒハ鮮魚ニハカキラサル歟文選ニ割鮮ノ二
字アリ アサラケキヲサクトゾヨミセタル、アタラシキニ云フ
シキリサクナリ魚ニハカキラサル歟
一チニキトイフモノハ何ノスカタゾ
昔蛟龍人ニ化シテ遊宴ノ所ニマジハリテ人ヲ害シテ
カクレケルコトアリケルニ諸人議シテ蛟龍人ナリテ



ナクニナミタ三トナルコトアリケリソノ類ハ五月ハ夏
中ナリ悪毒獣虫温気アリテ時ヲエテタリシナス
五月五日ニ十魚獣ノ形ツクテ腰ツケ茅葉シテ
飯ヲツツムチノ龍ノ形ニキナシテ宴集ノ時サハツヘキ
チールニハカノ方ニテタスケテイタミシソレハトモテソノ
ニニ座サ一人ノ大人来テ座ニツクコレニ魚形シツテス
又龍ノ形ヲキリヤブルニカホノ色変スソノトキニ大人コレヲ
トラヘテコロシツトミュスアク、コレニツクルモノハ今ノ世ニ
モチフル魚袋ナリ龍ノ形ト云ハ粽ナリ又粽モナリ

カク

玉篇ニ蘆竹葉叢生シテ粽也風土記ニ云ク以テ菰ノ葉ヲ
裹ミテ粘米ヲ以テ灰汁ヲ煮テ之ヲ令ム爛熟セ也五月五日ニ啖フ之ヲ
魚袋ニ云ク博聞録ニハ上代ニハ以テ葦ヲ為シ之ヲ謂フ筍粽ト
云ヘリ

一 アツモノト云フハ何ニテモアツクニタルヲ云ア歟
精進ノアツモノヲハ羹ト云フ魚味ノアツモノヲハ臛ノ字ヲ
用フ字ハ二アレトモ訓ヨミハ同也

一 主ハアルジト云フ人ヲ饗應スルヲアルジスト云フハ何
饗ノ字ヲ或ハアヘトヨム或ハアルジ ヨム アルジスト八

饗スルカヽコトハ、同シケレトモ心ハ別ナリアヘト云フモ
饗スルコトハアルヘシト同シク日本記ニ為膳夫而奉饗シ
トモニリ文選ニモアヘモニフ、コトシハリテ、ナト云ヘリアルニ
ウケノコトハ、シタモノ宿クリ草々ナトノ中ニアリ

一酒ヲツクルコトハカムトモ云フイカナル心ソ
醸ノ字ハサケヲツクルナリ、ツクルトモカムトモヨム音ハ戕
凡ノ人酒ヲツクルスヘシ、シラスタチニ米ヲカミテノ
水ニハキイレテ、目ヲヘテノチ熟スルトキコレヲ
醴云フノチノ人ウルハシクツクレトモ昔ニナソラヘテノ

カムト云フ、大隅ノ國ニ一家ニ水ト米トヲマウケテ、村ニツケ
メクラシテ男女ハ一所ニアツマリテ、米ヲカミテ、サカフネニ
ハキイレテ、チリ〴〵ニカヘリヌ、酒ノ香イデクルトキ、又
アツマリテ、カミテ、ハキイレシモノトモ、コレヲノム、名ヅケテ
クチカミノ酒ト云フト云々　風土記ニ見エタリ、コレモ今ハ
幸ニヤ、サケシアクルト云フ事アリ、醲ノ字ヲアクト
ヨムナリ

一　味噌ト云フハ、正字欤、アテ字欤

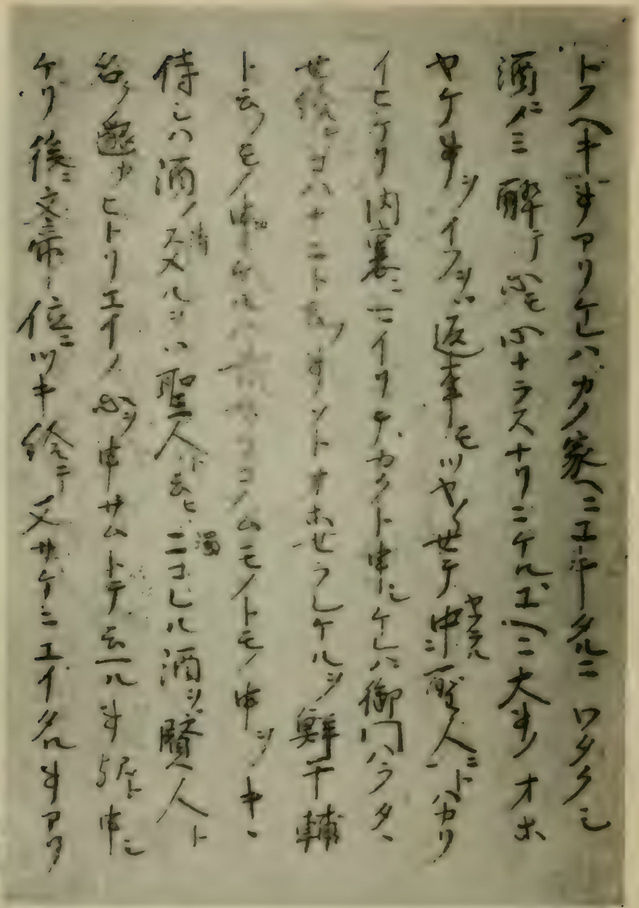
正字ナラハ、末醤ナリ、ソレヲカキマギレテ未醤ト

カキナスハ末ハ搗抹ノ義也末セサルハ常ノひしお末タルハ
ミソナリコノユヘニ末ヲ用ルヘキヲ字ノ相似タルユヘニ末ヲ
未トカケリ今世ニハ未ノ字ニ口篇ヲソヘテ味トカキ醤
醤ヲひしほトアテ字ニナリタル誤ナリ醤ノ字ハひしお
トモアエモノトモ云フ

一女房中ニ酢ヲ御ことト云フノはなけり
御膳ニ四種ト云ハ上アワ味噌塩酢酒ノ四ナリ此四ハ
器ク一器ニ入テニイラノスヘキナリ今世ニハ四種カキラス
しモ器ニイレス或ハタヽ四ノスミニ一ツヽ器ハカリソヘキニテ

六一三

アルヘキニヤ或ハ酒ノ賦ニモ麴モニハ山葵シイルヘシト
云フ人モアリ又味噌ヲ麴ヲキラス酔シナトヨク四種ニ
酔ノ名トアレハスト云ハヒモヒタハタレノユヘニカクレ
説ニテスシノ御四種ト云フナルヘシ
一サケシ聖人ト云フ名アリトハ云フメ何
スメルサケノ名ナリ酒ノ徳ヲホメテ聖人ト云フニヤ魏ノ
太祖ノトキ天下ニ酒ヲトヽメラレキソノ時徐邈ト
云フ臣下愛酒ノモノニテワタクシニヒソカニ酒ヲ
タクハヘテノミケリ趙達ト云フモノ公事ヨテ徐邈ニ


ドノヘキサアリケレハカノ家ヘニエキケルニ ワタクシ
酒ニ酔テ心モ心ナラスナリニケルニエヘニ大キニオホ
ヤケサシイフコトヲ返事モツヤツヤセテ中将蔵人ニトハカリ
イヒケリ内裏ニテイヘテカクイト申シケレハ御門ハラタ、
世ノ伝ヘゴハキニトカクノオソトオホセラレケルシ鮮于輔
トヽノモノ味ナルハ有カコノムモノトモノ申シキ
侍シハ酒ノスメルヲハ聖人トイヒニゴレル酒ヲ賢人ト
名ツケ酒カヒトリエイノ心ヲ申サムトテ云ヘルヲ作申ニ
ケリ後ニ文帝ノ位ニツキ給テ 又サケニエイ名ヲアタ

ケルニ許由ト云フモノカ又中ニ聖人ニ孫登ト曰ケルハトワ
エス宿病ハ醜見エ傳匡ハ酔見エ識トヘラス
コタヘケレハ帝大ニワラヒ給ヒケリニコレルシノ賢人ト
云フコトハ聖人ヨリハ今少シヒキシトワ見トモ、ナシ

コレモイミシキ不知

一

一尋ト云フハイカホトノ寸法ノ

一尋ト云フニ様々アリ　或ハ漢書音義八尺ヲ一尋ト云フ或ハ六尺ヲ

一尋ト云フ又人ノ両肘ヲ為一尋ト　コレハ一ヒロセ五尺也

一ヒカタ一長ト云フハイカホトノ

六甫ヲ一丈ト云フ或ハ十二丈五尺ヲ一丈トス訓ニハ一云千ト
ヨムナリ一云千ト云フ賭ノ銅也 云リ
一スミ 何逢ト云フ逢ハ十二ノ分ノ
ウルハシタハ 逑字ヲ用ヘシトカヤシシ篇ヲ略シテ
逑トハカリカクニヤ 頃和名ニ鉄用逑字ヲ未詳ト云リ
挻ノ字ヲスキイツトヨム エニタ同䝭ノ具足アルシハソノ類ノ
串ヲワケテトリ出ス分ニテスキイツト云フ字ヲ用テ何挻ト
云フナルヘシカタヲ南逑ト云モ逑ノ字ハ同ニ分狄楊州ヨリノ
金ヲイタス楊州ハ南国ナリサレハカタヲ南金ト云フ

南金ノ梃ナレハ略シテ南廷トイフニヤ此義ニテハコカネノ
ヤキタヽラムシソノ南廷トハ云ヘキトオホユレトモ銀カネノ
類ナレハナンナラヘテシロカネヲ南廷トイフナルヘシ又荊州
ヨリ白金黄金トモニ出ル々々紫一不可而櫚遠叙

一 天ニハシタチモシヨハスト云フソノ本説如何
論語ニ子貢カ孔子ヲホメタテマツル詞ニ夫子之不可
及也猶天之不可階而升ト云ヘリ

一 三人同シハ衆トセヨト云フ如何
国本記云 獣ハ三ツヲ為群人ハ三ヲ為衆ト云ヘリ 文

毛詩ノ注ニ、羊ニ三百頭ヲ為ニ一群ト、牛ハ九十頭ト云々

餘数ニハコト十九歟

一 火ノ邊ハ乾、水ノ邊ハ湿ト云フ如何

周易曰、水ハ流湿ニ、火就燥ニ、雲ハ従龍ニ、風ハ従虎ニ

ト云ヘリ。元命包曰、猛虎嘯テ谷風起ル。孝経序曰

雲集而龍興、虎嘯而風興ト云々。文選云、風ハ起ニ

於青蘋之末ト云々。風ノすハ一樣ナラス

一 道ノ口ニテ學問ハセヨト云フ如何

文選云、街談巷説、必有可採ト云ヘリ。ソノ心歟

一スキヌルサキハモノ申サヌト云フコトハ何
論語ニ成事不説遂事不諫既往不咎云々
一トラニハネヲツクルト云フコトハ何
周書云無為虎傅翼将飛入邑擇人而
食之トミヘリ
一キツネトラノ威ヲカルト云フコトハ何
昔荊宣王ノ時昭奚恤ト云フモノ北国ニスエテツハ
モノヽミ畏タリ北狄エヒス、コレヲシリ宣王群臣ニトヒ
タマフ北方ニ昭奚恤ヲオソルヽトキクイカントト諸臣申ス

ミノナシ江ビトフモノ中ニ虎ハ百獣ヲモトメテ
コレヲクラフ。狐ヲエテクラハントスルトキ、狐タハカテ云ク
汝サワレヲクラフコトナカレ。天帝ワレニ命ジテモロ〳〵ノ
ケダモノヽ長タラシム。汝モシ我ヲクラハヽ、シツラクハ
天命ヲナイカシロニスルニナリナン。汝ワカコトハヲモチ井
ズハ、ワレモロ〳〵ノケダモノヽアラン所ヲスギユカン。汝
ワカアトニツキテ、ユキテ見ヨ。モロ〳〵ノケダモノ、
ワレヲシソレンヤ、ミナトコロニアラハレナント ソノトキニ
虎コトハリナリト思テステ、ニケサリ又狐ノカクノ云フ

心ハ虎モシカヽシリヘニコシタカハ、モロ〳〵ノケダモノ虎ヲ
ミテシソレテニテハシリナン、ケダモ（モノ）ニテハ、ワカケダモノ
、長タルカユヘニ、シタカレテノニタルト、オモハレシト、コノユヘニ
虎ヲ相具シテケダモノヽモトニユカントタハカルシ、トラ
コノハカリコトヲシラスシテサトラス、タハスレテ、サリヌナリ、今ノ地ハ
方五千里ツハモノ百万昭奚恤ニツケ給ヘリ北方
ニレシタカフルハ實ニハ王ヲシタカフルヲ、ケダモノヽトラヲシタカフルカ如シ
ト申ケリ、コレヨリ狐ハ虎ノ威ヲカルトハ云ナラハセリ
戰國策ニ見エタリ且思偉傅ニ曾不知鼠ハ憑ニ社ノ

鼠ハ藉虎ノ威ト云リ。是也。社ト云ハ漢朝ニツ
チニテ壁ヲヌリニハヒテ、ネズミノソノ中ヘヲウカチテ住
住ス。説苑云、管仲云、夫社東木而塗之、鼠因
往託焉。熏之則恐焼其木、灌之則壊其
塗。此鼠ノ所以不可得殺者、以社故也ト云リ
社ノネズミシハ人タヤスクアナツラサルハ社ノ貴ニヨル匿
レシツルハ君ノシソシ奉ル故也トタトフル也
一、石ヲイダキテ淵ニ入ト云フ　ウ行
楚屈原カ湘南ニハナタレシ時、石ヲイダキテ汨羅淵ニ入ト

ココロヨリサキニ懐沙賦ヲツクリタリ李善ガ注ニハ
懐沙ハ即任石ナリト釈セリ楚屈原ガ石ヲイダキテ
フチニ入リシハ人ノシタルコトニ非ズ自殺自害シテコメハ殺シ
カラ也是ノ故ニワレトカナシキメシ見ルハカタ云フニヤ
一美女ハ悪女ノカタキトイフ心ヲ行
屈原ガ離騒ノ注云衆女嫉余之蛾眉トイヘリ
ニ其ノ心ヲ釈
一影ニ居テエタシニルトイフハ何
韓詩外伝云食其食者不毀其器

一ヒノヽナキシハ地ヲハラフトイフハ本説ハ何
文選ニ衣冠礼楽掃地無餘トイヘリ呂延濟カ曰
如ニ掃テ地ヲ所ノ濯一モ無シ餘リ也トイヘリ
一足ノウラニモオイトイフハ何
天竺ノ瞻婆城ニ長者ノ子アリ名ヲ首楼那トイフ足ノ
シタニナカキ毛アリソノイロ金色ニシテナカサ一尺ニ
及ヘリ前世ニ切利天ノ天衆ニテアリケルカ人間ニ生レ
タリケル昔ニナレチカツキケル天衆トモ五百ノ摩尼珠
ヲ摩尼宝床ヲモテクタリテトラセタリケリ此ノ長者ノ

子曰天ツモツルシツヽトメトス佛ノ目連ニ勅シテ教化セ
シメントオホシメシケレハ目連ホトケノ御シヽヘニ一方セニ
神通ヲ現シテ日輪ノ中ニアラハレ又長者子ノ日天ヲ拝スルトキ
日輪ノ中ヨリアユミ出ケレハ日天子ノ降臨シタマフト思ッテ
フタ心ナク敬信スル故ニ香飯ヲ目連ニ供養ス目連
是ヲウケテ竹林精舎ニカヘリニイリタマヒケルニ甚餘ノ
カウハシキ事ノタトフヘキモノナシ王城ニカシリ三千ケ
オトロキアヤシミテ人ナカリケリ頻婆沙羅王名ヲ聞キニ
給テ足ノモトヨリユカシクオホシケレハ長者ヲメサレケリノ

祇宮ヨリ王舎城ニイタルニテノニミゾノホリアリ求タリ。ヘテ
ト船ヲウカヘテヰタリケル。先ツ仏ノ御モトニマイリタ
ルニ王ノ足ノウラノ毛ミムトオホセラレケレハ結跏趺座シテ
足ノ裏ヲ上ニナシテ見セタテマツル。ヘシ足ヲノヘテ見セ
奉ルハ無礼ノトガヲコナハレテ命ヲウシナヒテントノ給ヒ
ケレハ王宮ニマイリテ仏ノ御ヨシヿヲマウシケルヲ
王ホメ悦ヒ給ケリ。長者ノ子仏ノ御ヨシヿノカタシケ
ナクオホエシハ、フタヒカヘリニマイリテ悦ヒ申ケル事
ホトケ説法シ給フ趣ヲキヽテ道心フカクヲコリテ

出家ニテ御弟子トナリニケリ此人九十一部ヲヨリアカタ
拙ノアニサリケレハ足ノモヽオモヒケルニヤ世業ノ情ヲ絶シ
修酬齢トシテサヒモツイフニスナラヒ久ルモノ、佛道ニ
ココロサシフカクタ、オコナヒテ、山林ニ経行シケルホトニ、アシノ
ウラノヤハラカニテ、ホトナク、ヤフレソンシニケリ、アシヨリ
血ナカレイテ、足ハ鳥ノスリニツキテ、ソノ血ノアタニシ
ルシスヒクヒケリ、イタサノアヒリニ通ヘシコリヌヘカリ
イルシ佛ヲアハレミオホシメシテ法ハ琴ヤヒクトヤ説
テハ足ハヒクヨシ中ケウ、ソノ情景ニヨリ恵ノタトヘシ

ヒキテシヒヘヨミテヘミテ其ノ句ニ縁ミナル時ハ則チ
音韻カナハスハ縁ナル時ニシテ和雅ナラヌ言ニアラス偈ニ
非ス則其ノ声モヤハラカニ修行ヲ文カキメコトニ言キハ
スナハチ心ニヨクヨク続ナル時ハ口ヲヒト志ニ随ヘト難ヘキ
縁ナレハ新ナ修行ニテ道果ヲエタリトモ識
ナラヒニ五分律ノ中ニ見ヘエタリ
ハミコトハニヤ

一 信ナキ者ハ申ツルトテモ何
過去世ニ釈迦如来ト提婆達多ト一戦ニ

釈迦ハ鴈ニ云シ給フ 連多ハ亀ナセリ 舊好年ヒサシ
カワキニ或時ヒテリシテ 此カメノスム池ノ水ツキナハ
キツキヌ 亀是ヲナゲクニ 鴈ノ云ヤウ我レ木ノエダシ
クハヘシ 亀木ヲクハヘテハウサスハ口シエダシフクムテ トヒ
テ水ノエタ多ナルトコロヘ ウツラン アナカシコクチアク(カラス)
トモフカメ悦テ眾議シテ鴈ノシヘノニニスルニ トフ
時人是ヲ見テアヤシミワラフ 其ノ限ナシ カメイカリテ
是ヲシノルニ クハヘタル所ハナレテ ツチニオチハ甲ワレテ死ヌト
云ハ 信ナキカメ 甲ワルコレヨリ ハジマル 一切有部

根本毗奈耶ニ見ヘエタリ

一驥ノ尾ニツクト云フ本説如何

後漢書云蒼蠅之飛不過数歩即付驥尾ニ得ステ絶群ト云ヘリ東観漢記ニ云蒼蠅之羽不過二十歩ニ昔附驥尾則騁千里ニ云此ノ事ニヨリテイヒハシメタル歟

一井ノ中ノカヘルト云フソノ説如何

荘子ニ井蛙難語於海ト云フ事アリ此ヨリイフ事歟

一魚水契ト云フ事如何

宇治

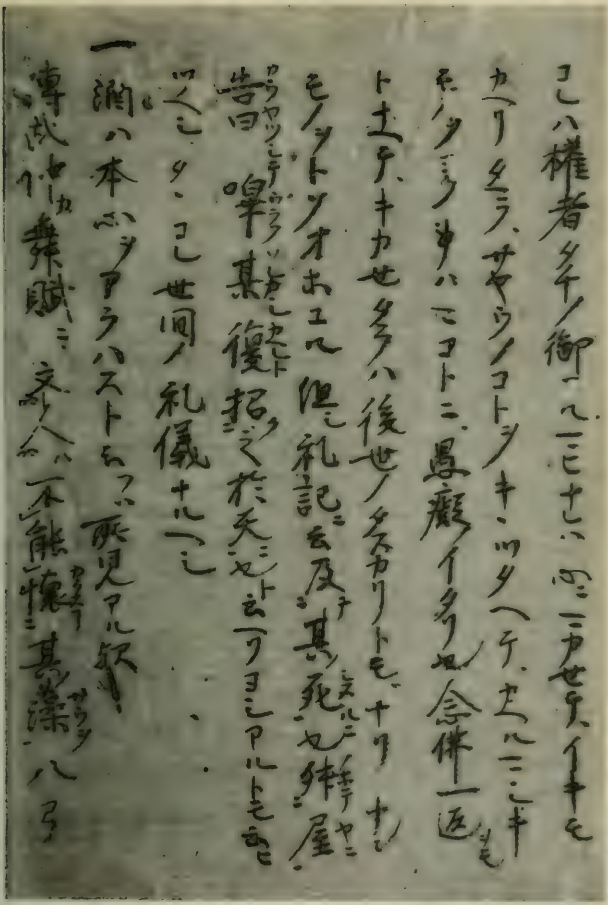
是ハ蜀先主昭列皇帝ト諸葛亮トノ契ナリシ
ケルヨリハシマレリ 又君臣相遇テ有同魚水ニ則絶
内可ハ宜ニ元トモ云リ

一 ミミタルモノ。名ツヨヘハイキユルト云ツキタウ
仁徳天皇ト宇治稚子ト位ヲ争ヒニユツリテ三年ナ
アヒタ御門モオハシニサスユ一人ノ魚ヲ宇治ヘタテマツリシハ
ナニハノ宮ヘトテカヘサレ ナニハノ宮ヘモテマイリシハ 又
宇治ヘトテカヘサレケレハ三年ノ貢魚ミナアサレシニケリ
又アマタタヒ年魚ヲモテマイリシトモナシアラヌコト トテ

サキノ御門ノ猶ニケレハ、バテハ莫シノ兵モナムアリテ、
莫ナラズミツキ物モコノ定ナレハ民ノウレヘナリトテ
宇治稚子ミツカクウセ給ニケルシ仁徳天皇ノ大サ
キノ皇子トテオハシマシケルカ此ノ事ヲシオトロキサケキ
給ナナニハヨリ宇治ヘオハシマシテ、ウセタマヘルニハ、宇治稚
子ノ上ニ[illegible]ヨミカヘラセ給タリケルニ、
宇治稚子、イキカヘリテ、コレハカキリノ命也先帝
應神天皇ニモキミノコトヲエツリ給ヒヌルヲマツサニ
申ムズルセトテ又棺ニフシテウセ給ヒヌトコソヘ
アリ

フル〻ヒ

モノヲヨフ


コレハ權者タチノ御マヘニモナシハ心ニ一カセヌイキモ
カヘリタルラフ、サヤウノコトツノキヽツタヘテ、書ハニミセキ
モノタミノ中ハコトニ、愚癡ノイタリモ念佛一返モ
トナヘテ、キカセタラハ後世ノタスカリトモナリナマシ
モノツトツオホユル 但シ禮記ニ云、及其死也升屋
而號、告曰皋某復、招之於天也ト云ヘリ、ヨシアルトモ云ヒ
ツヘシ。タヽコレ世間ノ禮儀ナル事也
一 消ハ本シツアラハストモ云ヘハ、所見アル歟
傳哉 仲尼葬賦ニ 亦人ハ一本ノ能懷ニ其藻ハ

其一

文人武騃ニシテ不能隠其對ト云ヘリ李周翰ガ注ニ云文人ハ
醉則不能隠其對勇ト云ヘリコレハ本心ヲアラ
ハス心ナリ学生ノエイタルハ面白キサマモ
武士ノエイタルハタテキサマシモアラハスト云(一八七)エハ
ヌホトハヒガヘテイイロニイタサズカエイテ本心ヲアラハス
トキ其ノサマカクレヌシラフニコソ

一割ト云フコトハ有ニ不見欤
東観漢記ニ班超ガ曰ク鉛刀一割之力ト
云ヘリコレヨリイフナルベシ欤（一八四九ト一ト云フ）ガ如シ 割 タ。

モハスニハクト

一キリノノチハキレス、ナイモハスニ、ハクト、ニハナニハラタチテノ
ムクロナレトモ、ノチニハ世ルヿナキモノナカシトノ一割ト
云ソハテニヤゲニ、年アラモノシハイラヘノモナキ歟

一鳳鳴毛トイフハ本説アル歟
春秋保乾圖云神明之應疾於鋭風吹鳴毛ト
云ヘリコレハスミヤカナルニタトフ軽キニタトフルコトソノ文
アケツクスヘカラス

一帝ノ崩スルヲ晏駕トイフハ何
史記ニ宮車一日晏駕ト云韋昭云凡ソ初テ崩スルヲ

焉ハ晏駕ト一

焉ニ晏駕スル者臣子之心猶謂宮車當ニ駕而
晩ク出ト云リ晏ハシメテナリ カヘイテノタヽラ(中ニ
ナトシソキソト オホユル心ニヤ
一 諒闇トハイカナイノ心ソ
文選注曰今ハ謂凶廬爲裏 寒涼陰闇ノ處也 接ニ
曰ニ諒闇トモ云リ廿五ニ廿ニワケテ云ハニヤ 論語
高宗諒陰三年不言 孔安國云諒ハ信也陰ハ
嘿也 陰ト闇ト通也 然其ノ釈ハ又不同ニヤ 或ハホソ
クライキスミカ 或ハモノイハスト云リ サケイキノ時ハ八しく

シキモ綢直セヌハ、タヽヨメタル云ニ非ナリ。ワロキイロシノ用フルモクラキイロナルヿ、ヿレヘアレハモノ、イハス。シト黄ノ心ナリ。諒ハ信ト云ヘリ。信ハアサムカス實ヽナルニヿキヨミ釈ナケキノ色ニハカニ變スヿモ心ナルヿ

一

誄〔誄ノ字ヲ〕シノヒコトヽヨムハ人ニシラレシトスル心歟

誄シハ飾ニ哀情ヲセト釈シタリ。モノカクスヲモ以字ニシノフトヨヒナラハセリ。恋慕ノ心モシノフト云ヘリ。ムカヘシシノフト云フソノ心也。昔ノ人ノ死ニタルニソノ人ヲヨヒカナシムヨシヲ

ニシムヨシノイフシノヒコトヽ云ヘリ。二帝王ナトノカクレ

サセ給

サセ給ヘルシモカク生トイフ屋ニシテ年々年ヲモツリテ
シカルヘキ大臣等ニイタリテ、シノヒタスクニツルト見エ
タリ今ノ世ニハタエテキコエス礼記曰賤不誄貴（イヤシキハタフトキヲシノフコトヲエス）
一夭死トハ非分ニ死スルシヲイフ歟
ツネニハサオモヘリ但シ年（孝経）未タ三十ナラ而死スル曰夭ト呂向
云二十ニスキス下死スル者シ曰殤ト総テ（ヒトニモアリ）ナシ二十ヲ思フニハ
三十ヨリノチニ死ムシハ夭死トハイフニテキ歟ト覚ユル也
或ハ二十ニシヨハサルシハ短トイフ六十ニシヨハサル シハ
折トイフ尚書ニ見エタリ

一 墳墓ノ南字ハ其ノサカノ心ニ叔

方言ニ曰無キ墳謂フ之ヲ墓ト一ワコニ曰別ル叔墳シハ

脩長ノ隴墳ナリト云ヘリ タカクツキアケタルヲハホツ

ホカナルスカタアルシノ墳トヲフニヤ多分ハ同シナリト オモヒ。

ナラハセリ

一 近来盗賊アリテフルキツカノ中ヨリ朱砂ヲトリ出ス

コトメ何

大和河内ニ石ヲタヽメルツカ多シ上古ニ人ノヲサメル墓也

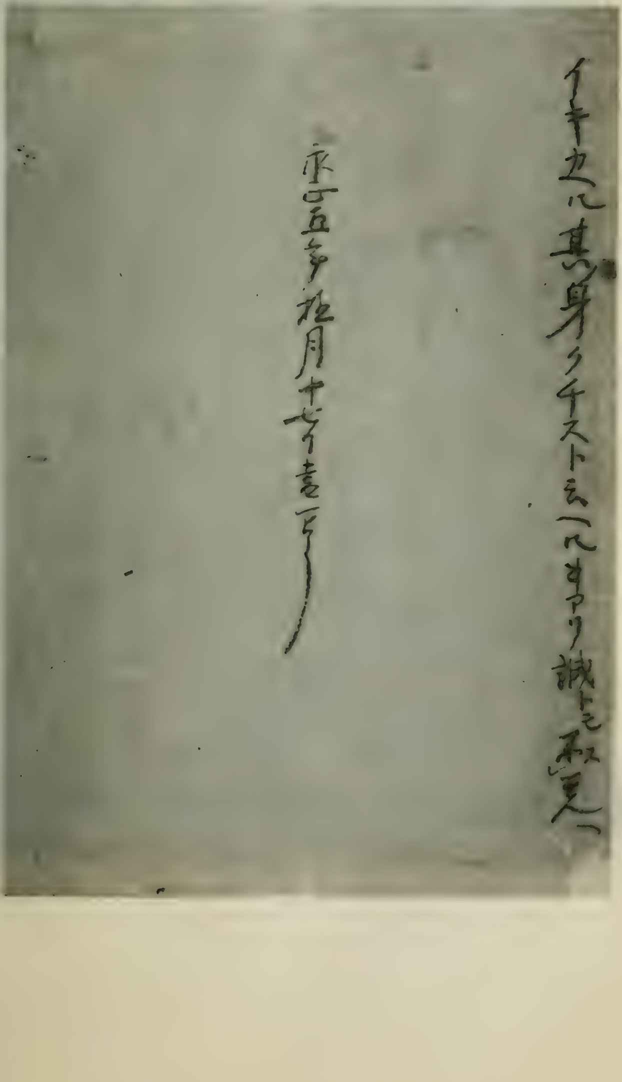
後漢書ノ別傳ニ云 衣衾 飯唅 玉匣 珠貝之属

衍ノ蒼ハ衍骨ニト云ヘリ衣衾ハ死人ノ衾也飯ト云ヘルハ
實ノ飯ニハ非ス白席通ニ曰大夫ノ飯ニハ珠ヲ啥ニハ貝ヲ
士ノ飯ニハ朱ヲ啥ニハ貝ヲストト云ヘリ啥ハ口實也ト釈セリ
死人ノ口ノ中ニイレテ空シクモノナラヌタメトヘハ死人ハモノヽ
クハスキヌトモフスニニニキテ飯ノカハリニ珠ヤ朱ヲ
飯ト名ケテ死人ノカテニアツルナリ此ノヱヘニフルキツカニ
朱アリ又モツカタノモノヽツカニ朱ハアルマシキニヤ又王侯ノ
墓ニハ玉シツシ又キチテ瓔珞トス黄金ヲ以ヘ千リハ公
ナカサ一尺廣サ二尺此ヲ以コレシノ玉匣ト云フ漢儀注ニ見エタリ

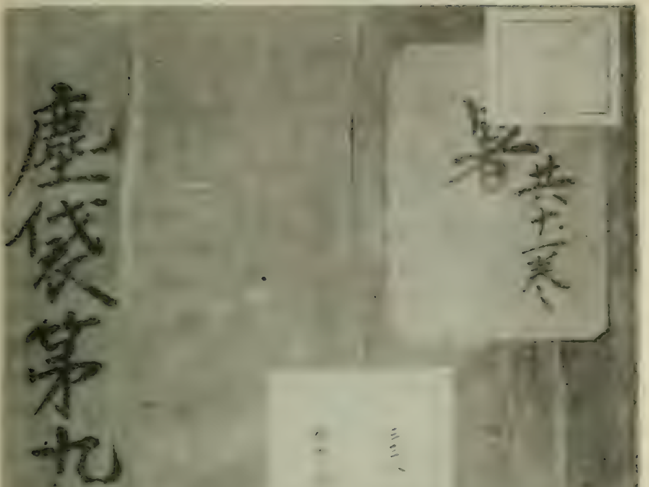
玉匣ハツタニハ名ニクミケセコレハ名ハ同シテモ別ノ玉
匣ナリ棺ヲハ朱漆ヲステヌリテ銀ヲ鏤テシロカネヲシ
チリハメ公或ハ此ハ種ノ什物ヲオサムトモ云ヘリ日本ニモ國ノ
ユタカナリシ昔ハ漢朝ノ風ヲウツシテ、カヤウニシケルニヤ
西京雑記曰漢及テ王侯送ルニ死ヲ皆ナ珠襦玉匣
匣ハ形如ニ鎧甲ノ連ヌルニ以ス金縷ヲ皆ナ鏤テ為ス文龍鸞鳳
龜麟之形ヲ
一同穴ノ契ト云フ本説如何
毛詩ニ云死スル則同シ穴ヲト云ヘリ又ナシ歟

一周忌ヲ

一 周忌ヲ周闋トモカクハ如何
イツレモ共ニコレヲ用 周忌ハ一メクリノ忌也 周闋ト
カクハ一メクリノシハリ也 闋ノ字ヲハシハルトヨム也
一 梓宮トイフハ天子ノ所居歟
凡依通曰[illegible]天子饒ニスヘ梓器ヲ張銑曰以梓木
為棺ニ因テ通テ名ニ其後シ曰フニ梓宮ト 御門ノ世絵ヘルヲ
梓木ノ棺ニオサメタテマツル ソノ所ヲ梓宮トハ云也 或又
棺ノ名ヲシ宮トモイフトモ禁忌ノ憚リアル歟 無脩圓人
ヒ三九シソワセニ[illegible]テシキ名ハ二千歳ノ後又


イキカハ其身ヲクチスト云ヘハ身アリ識トモ取見ヘ

永正五年極月廿七日喜一写


塵袋第九

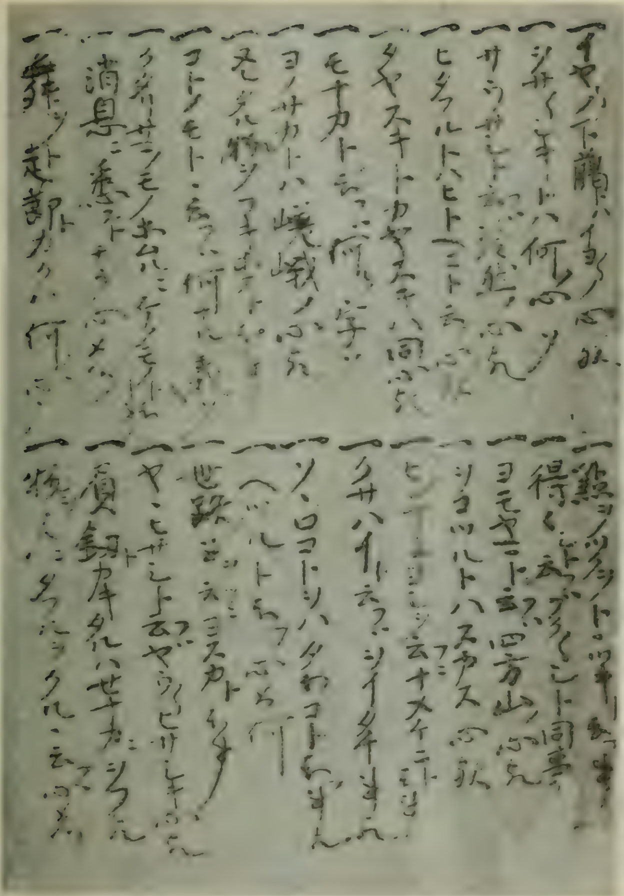
塵袋
無量光院

一ハチニヨムト云ハ雪恥ナリ
一アナカシコトハイカナル心ソ
一八稜ト八角トハ同心歟
モヽハラスキシハヘ云ヘトコルニ候
タケカルト云ハ イクワロカス云ル
一シラチキトハ宗ノ正字ハ何
一モドクト云ソノ心ハ何
一ゲダニシキシニコソアレトハ云ナリ
一モノカズヲヨムトハ云ナリ
一調美ニモノシヲアヲエルト云ナリ
一朗詠ニ冊應狀ヨメル哥字ナリ
ズムニハツヒト云フハイカナルコトバソ
一ハヽムルトハ何ナル義ソ悍ハ

一通キハニルト云ハ合字ナルヘシ
一白地トハカリソメト云フ心也
ニキヘトハカタニカノルヲ云也
一人ノ子サスルシニキストヨリ
一コイタキト云ハ何ナル心ソ
一トモカクモトハ左右ノ字也
一ナカラフルト云フ詞ハ長心歟
一人ノ安年ニ云ト年シラカト云ナリ
一如件トイフハ多クハナニ心ソ
一敵ノ字ヲアテトヨムナリ
一諸國寺ノ字ハ國寺ニ行ツイヨムヲ
一傍ノ字ヲサフラウトヨム也
一坐ト云ハ一向井ル心也

一薪ハヨモキ也
一ハフクトハヒキワクル心也
一志ノ字ゴヽロザシ、文名ニ魏志ノ字アリ
一人ニ對面スルヲ謂ナリ
一應ニ不弔人ト云フ弔ノ字ノ為
一御ハオサムスカタヒツクノ詞也
一モノシノ欲ハ欲ホルトナリ
一乱ノ字ヲオサムトヨム也
一熊ノ歸ノ道ヲサルトナリ
一ミヌカヘミタルモミヽカラス
一人ノ弁也カケタルヲ以テトナリ
一等ノ字ハイニノ事也

一ホトシトヽ云フ也
一ニイラセ名ル物ヲトリ出シテ徹スル也
一物ヲミニ成ツテヤウスルトナリ
一モノタチキ物ヲ平キ物トナリ物トナリ
一ワキニウルヲロキノスルトナリ
一醫道ニ於ノ字醫ヲヨムナリ
一ホトコルト云フコトハ也何
一輩ノ字何ツ心ノ
一月ノタムニサキト云フ心也何
一テニカラカラト云フ面字何
一權ト權ト云フ字一ツナリ
八十三ト云フト同也


一イヤノ下繭ハイヨヽノ心欤
一シホヽキヽトハ何ノ心ソ
一サラサヒト云ハ淀鮭ノ心ナル
一ヒタフルトハヒトヘニト云心欤
一タヤスキトカヤスキハ同心欤
一モナカト云フハ何ノ字ゾ
一ヨノサカトハ嵯峨ノ心ナル
一スヱタル物ソフキカトヤ
一コトノモト・云フハ何ナル事ゾ
一クタリナンモノ所ニテクモノ様ニ
一消息ニ悉スト云フナク心メハ
一雜ツクト去部トカクハ何ノ心
一熟シノツタシト・ツキリ事ノ事
一得ヽ・云フトブラヽニト同事
一ヨモヤマト云フハ四方山ノ心ナル
一シコツルトハスカス心欤
一ヒ…ト云ナスイニト
一クサハイトハ云フハシイタ事ナル
一ソ・ロコトシハタカコトヲ事ナル
一ヘツルトヲフハ心ハ何
一世路ト云コスカトヲ
一ヤヽヒザニ上云ヤウヒザヽ
一貪銅ト庫タルハ世ナカニシ
一稀ニクハ・タフルヲクルニ云フ心

塵袋第十 詞字

雪恥　進退谷　究賢　白地

八棱　荷擔　莊籍　宿勿

事計　事痛　悉　左右

就見　流歷　逸帯　係

讀數　如件　酷　散

伏　辛分畏　催　撻

坐　芽　殆　勒

省　徹　志　營

謂
御
乱
絲帛
壽
乎佐く
比多布留
中央
菁千

物
方
峯
扼挽
並く
德く志
於吉都里
草募
折耗

三一
欲
路指
條
笠くく
佐波ゝく志
加也須美
世蟻峨
苐元

弁
逆
隈
權
都ゝ
四方山
那賣氣
多和言
世菅

良久　悉之　屢鍛　赴節
養之　異者
一ハヂシキコムト云 雪恥トカクノ雪讒トカクハ キヨタシ
キヨムル欤
王子淵四子講徳論云 後漢書曰云 下ヒモハス雪除沈没之恥トモアリ史記云 些
後漢書…會稽之恥ヲ
識得賢士而圖雪先王之讎 雪讒トカキテハ
ミフコレハ越王句践カ事也
ナミタシノコフトヨムナリ コレタカフナリ 淮南子注ニ雪ノ字ハ
拭トモ洗トモ釈セリ コレキヨムルニ通セリ コハキヨノナリ欤

ナル欤

一進退ハ谷マルト云コニ谷ノ字ヲ用ル心如何
毛詩云人亦有言進退惟谷トイヘリ 谷ハ窮ナリト云
ヘリ文選ニモ覧進退之惟谷トイヘリ品深ニ出
深谷之中ニ進退無所拠トモ云ヘリ谷セハクフサカリ岸ニ六
イワテハスヽミシリソキノ便宜モ合期セス候
イハナムトニサハリテ思ヒ出タニモスヽミシリソカレヌ
イフ心ナルヘシ
一アナガチコトヽ云フハイカナル心ソ賢ナルヨミシテ云ル歟
カヽルコト云ハ賢ニ非ス愚ト思ト共ニ云カヽル

義ナリ

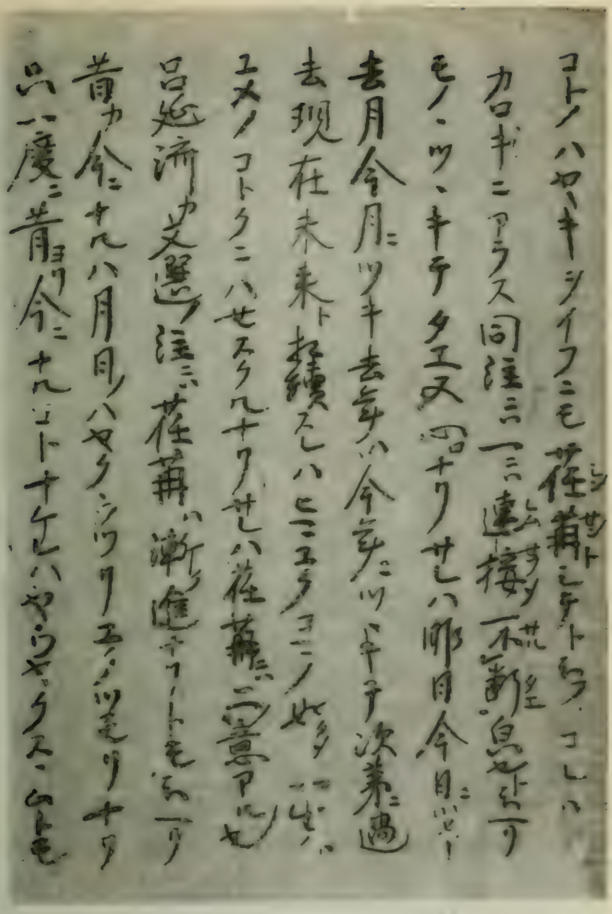
ヨムサマノ心ト云フ心ナリ勅ナレハイトモカシコシト歎ニ
ヨメルモ王威ヲシタル、義ナリノ家持ナラテニタクモリ
アヤニカシコトヨムモ、アヤシクシソロシト云フナリ
額田ノ王ノヤスミシルワカオホキミノカシコクヤトヨメル
ミナシシルニナリヤスミトハヽハスミシ領給トナリヤスミハ宣セ
一
白地トハカリソメト云フ心釈ホトナク複本ニ釈
ツヰニハヨノ心ナリアカラサマトハ暫ト云フコトハナルヘシ尤
傳ニ云咋謂ニ林甦ニ曰ト云ヘルシ注ニ咋ハ暫ナリト歎ノ
又ハ非紀ノ心ナリ暫モ非紀心通釈 一

釈ナリ

日本記ニハ中黄（ヨウ）ニミヘルシハ黄旛トカキテアカラサマニ
ミヘトヿリミヘルモノハカヘルコトナキハツネノ心ニハタカヒ
タル故常ニツチノイロハ黒モ黄ニモアリミラスナコニハ
チラスハ非シテ赤故サレハ本縣ニモアラネハ白地
トカキテアカラサマトヨム故トモオホユ

一 八穢（リョウ）トハ八觸（カク）トハ同シ心故
穢トモフレソハナワ穢シハソハクミトヨム八穢ハ觸大合ハ
同シ心也上モ字ニツキテイフ上ニ手ハ觸トカリタル名也
上ニアル名穢ハヒラナル所ナル名是故ニ訓ニヤソハヤスミトヨム故

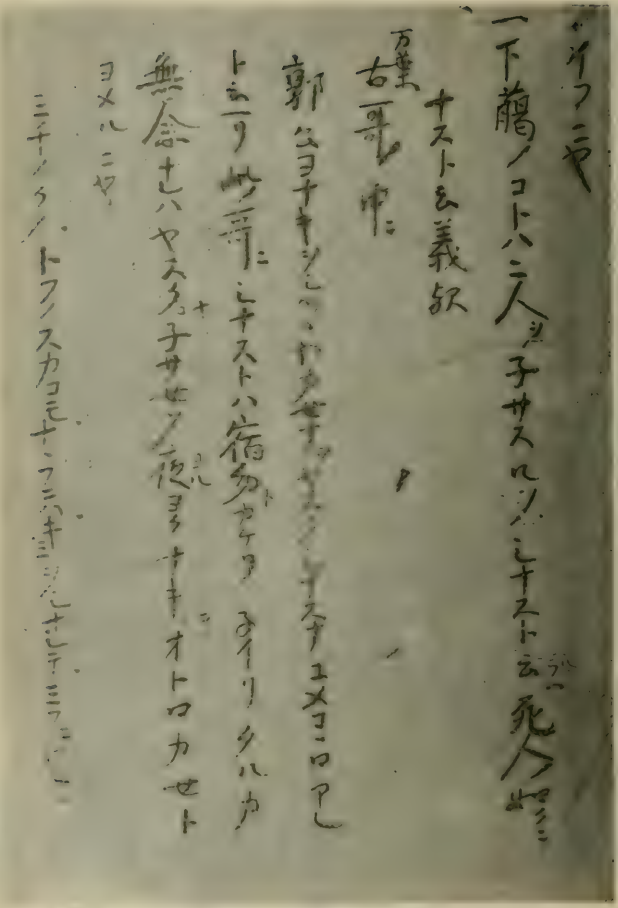
ニナフトハカタニカタクルシクシテ釈
又テニハサコソ心エヌ但此花ノ文句ニ在背為
荷在肩為擔ト云一ノ字ニ随テ其様切也（下釈文食
竅士カ影荷擔ハ負也トヽコレラニテ思ヘハ廿十カニ
ヌアシモニナフトハ心ヘキニヤ
一ヒノ。ウスキシヘエヘトアルトテニハ心字ヲ何
ヘエヘトヨフハヘヤカナルトオナシコト釈荏苒カナリ
ヘ。ヤカトヨム遊仙窟ノ注ニ軽轜ト釈セリカロク
ヤハラカナリウスキハモカヨハルニヤ又月日ノスクハ



コトノハヤヽキシイフニモ荏苒ニテアトキヲ、コレハ
カロギニアラス同注ニ一ニ連接スル不断ノ息也ト云ヘリ
モノニツヽキテタエス四十ノサヒハ那日今日ニツヽキ
去月今月ニツヽキ去年ハ今年ニツヽキテ次第ニ過
去現在未来ト相続スレハヒニヒニユクヨコノ如クノ一生ハ
ユメノコトクニハセスクルナクテノサヒハ荏苒ニハ一ノ意アル也
呂延済カ文選ノ注ニハ荏苒ハ漸ク進ナリトモ云ヘリ
昔カ今ニナルハ月日ノハヤクシウツリユクノツモリナリ
只一度ニ昔ヨリ今ニナルコトナケレハヤウヤクスヘシト也

六七〇

今日ニ到ル


リフニヤ
一下﨟ノコトハ二人シテ子サスルソハミナスト云ハ死人出ニ
ナストヲ云義歟
古万葉哥ニ
郭公ヨナキシテハ[illegible]ナスナユメコロアレ
トミヘリ此哥ニミナストハ宿多カケヲタイリタルカア
無念ナルハヤスタチサセソ夜ヨチナキオトロカセト
ヨメルニヤ
ミナクノトフノスカコモナ[illegible]ミテ

六七一

ワレテン同

トミヘル哥モ同シコトニヤ。但シコノ哥ハ別ニ會ス所アルヘキニヤ。
（三）下賤ノコトハノ中ニ多ク古哥ノ詞ニ通スル事アリ。坂東
人ノコトハノスヱニロノ字ヲツクル事アリ。ナニセロ
カセロト云フシ。古哥二六
ワカイロハユカモ人モカクサニクラクモハタルヽトツヽヤラニヽ心
トモアリ。ワカイロハトハ吾欲ニトカケリ。ワカレイ公トオモフ
トイフナリ。ユカモ人モカトモイフハ、將行人ニモトイフナリ。
ワカヘニサオモフ事モ八他國ヘオモムカンスル人ニモカヽル事
ヲイヘツテハヤトナリ。文下ノ腦ハ國ヲ二シハニルウテナントモ云フ

セロ

ツケヤラマクモ

シ古哥ニハ
草枕ハタヒヲスル也ナカニルヲセハ草ナルカレハニモトカスヲム
イヘニアルカレハトモ云ハトテイハナルカレトハ云ワ此ノ外ニモイタ
ニナモアリ 慈鎮僧正 ワカ戀ハ松ヲ時雨ノトヨメルシアカ
コヒハト ナカメテ今ワスハレタルモノアワキ ニコトニシカル
ケレトモ フルノハアカトノミ云ヒナラハセリ東國ニアツニトト
イフモアカツニナリ 本説アリ
一 タハカルト云ハタハ ロカス義
万葉ニ云

ヨソノ井テノコヽロハクルヽ、ワキモコニツキテアヒミムタハカリッセヨ
トイヘリタハカリトハ事計トカキタリコトシハカラフカ
ツキホテアヒミムトハ相續シテ相見トイフナリ次ノ字ヲ
カケリヤカテトイフ心モアルニヤ

一コチタキトイフハイカナル心ソ
万葉ニコノ詞アマタアリソノ中ニ或ハアテ字ヲ用フ
或ハ事痛トカキテコチイタミトヨメリコチタキト
同事ナルモノ。過ギタルモコトノイタミナルユヘニ分ニ
余タルヲハコチタキ社ノトイヒナラハセルニヤ

ハシウチキトイフ正字ヲ何　毛詩ニ樂ノ字ヲハトヨメリ

毛詩義ニ云柔慇之木荏染之人則被之弦

ステ為弦寛柔之人ハ温ク然則能為徳之基

云リ慇ノ字ハチムストモヨム醫書ニハユハリツチムスレハ

ヤニヒトナルトモ慇ノ字ヲ用ル

一トモカウモトイフハ其ノ字如何

左右トカキテトモカクモトヨム万葉ニハ藤原朝臣

八束哥ニ

イモカイヘニサキタルハナノムメノハナミニシナリナハ左右将為

トイフカモカクモトイヘルモ　オナシコト也

武蔵野ノクサハ諸向左右キミカニヽヽワレハヨリニシ

トモイフ東行西行トサニユキカクサニユクトヨムハ

縦横ノ心ナルヘシ東西ハ縦南北ハ横ナリ　左右縦横

トモニ其ノ心アルヘキニヤ

ヘモドクトイフハ甚ノ心ヲ何

サケシホムル哥ノ中ニ

痛醜賢良ストテ酒ノマヌ人ヲ熟見ハサルニカモニル

大ノサケシノムシツラヘト一モリテ　ワカニハノ一スミ物蔵

シテ同セス心ナリコレシモトタト云フ人ノシカサニ同セス
シテサミスルナリ田楽ノミトキノテト云フハ、タヽミタル
ハカリニハアラス、シトラシト、フルニフヨシナリセメテミル、ハカ
リハ心ユカヌエヘニハシリタチテ人ノ所作シアサケリテ
モノナラスト思フ心ヲ表スルナリ本体ハ、心中ニサミシ
テヨソニミルカモトクニテアル（十・二ウ）

一ナカラフルト云フ詞ハ長心状
万葉六 流歴トモ流経トモカケリ経歴ヘトモニフル心
ナカレフルト云フニヤ

一モノ・ゲス・シキヤウナルシシコフチト云フハ定字ヲ行
此ナサセル本説ナキカ又世俗ノコト八ヌ但シ日本
記ニハ忌部（イムヘノ）連（ハラヒ）色夫（コフチ）ト云フ人ノ名アリト見エタリコレシ
見エニハ色夫トカタノヘ年ニヤ件ノ人ノ形躰ゲスシラ
シテシコフチナリケルヤラム
一人安平ト云フ時シシラカト云フハ口シラカト云フハ歟
口ハ口シトシシト通スル歟トオホユ但シ日本記ニ係字（チノシ）
シシトヨミセリ係ノ字ヲハナムチトモヨムナリサカリ
サニノモノシノ然カト云フノ同キセノ下賤ノモノカ我カ

ナノリツシレカト云フハ人ニイハルヘキヽコトハシミツカラ
ナノルナリ
一モノヽカスシカスウルシヨムト云フハ下賤ノ詞歟
ツネニハゲスノコトハト思ヘリ但シヨムトモツキシナムト云ニ
モヨメルニヤ可ヨムニハヽメルニヤ其ノ上ヘ因情ノ記シニシハ
カノ國ニ高草ノコホリアリソノ名ニ二ノ叙アリ一ニハ野ノ中ニ
草ノタカケレハタカクサト云フソノ野ヲコホリノ名トセリ
一ニハ竹草ノ郡(コホリ)ナリコノ所ニモト竹林アリケリ其ノ故ニ
カノ云ヘリ竹ハ草ノ長ト云フ心ニテ竹草トハ云フニヤ其ノ竹ノ

昔ツアカス二青コノ竹ノ中ニ老タル亀スミケリアールトキ
ニハカニ洪水イテキテソノ竹ハラ悉ニナカレス浪
アラヒテ竹ノ根ヲホリケレハ皆ナクツレシソンシケル
竹ノ根ニノリテナカレケル程ニオキノシニニシキヌ氷
カサシチテ浅キ本所ニカヘランド思ヘトモヤスルヘキ
チカラナシ其時氷ノ中ニワニト云魚アリケリ此亀
ワニニイフヤウ汝カヤカラハ何ホトカ、キワニノイフ
ヤウ一類ツクノシテ海ニミチミチテワト云亀イハク我カ
ヤカラハシヽヲシテ山野ニ満テリ一ツ汝カ類多少カスヘム

コノシマニ

シマヨリ氣多ノ崎ト云フ所ニテワニシテ云ツメヨ一ヽクニ
ワニノカズヲカズヘテ類ノシキサツミラム、ワニヲウサキニ
タハカラレテ親族ヲアツメテセナカヲナラヘタリ其時
兎ワニトモノウヘヲフミテカズヲカズヘツヽ竹ノサキヘ
ワタリツキヌ其ノ後今ハヨシヽヽヤット思テワニトモニ
イフヤウ、ワレ汝ヲタハカリテコヽニワタリツキヌ實ハ
親族ノシヽキツミルニハアラスト、アサケルニヽキ、ハニリヘル
ワニハフクタチテ、ウサキヲシトラヘテ、キモノヲハキツ カク
イフベハ兎ノモヲハキトリテ、毛モナキ兎ナニヽヽリ

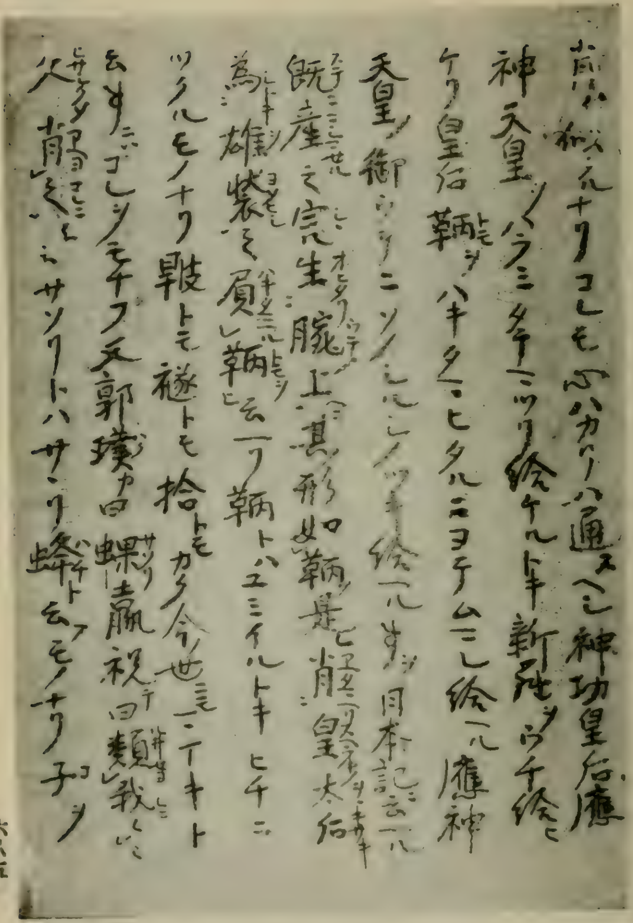
ムクワレシ大己貴神(オホナムチ)ノアハレミ終ナシ又終ヤウカヽ
ノハナシコキニナラヒテ、其ノウヘニアヒテ言ヘトノ終フ
シヽヘノミヽニスルトキ多ノ毛モトノコトク、イキヽニケリト
云ヘリワニノセナカシワタリテカゾフルサシイフニハ
兎(ウサギ)踊(フンテ)ニ其ノ上(ウヘ)ヲ讀(ヨムテ)来渡(キタリワタル)ト云ヘリコヽニヨムトイヘルハ
カゾフル心ナリ一向ニ下臈ノカタコトニハアラザル歟

一 如件トイフクダムハナニノ心ソ
件(クダム)ハクダリトクダリシクダムトヨムトリノ時ツトムノ
時トモイヒナスカ如シ行ノ心カヨヘリ一クダリコトハ

スクナキニカクフミノ心ニテハ一行ト云フ墨法ニ准ヘテ一行ト
云フコトモ上子細ヲカキタルシノ結スル頭ニクタクタノ如シト
イフハサキニカキタル行ヲ存知セヨト云義也一
領トカキテモ一クタリトヨムキル物ノタクヒシハサヤウニ
イフヘキニヤ帷一領小袖一領トイフハツネノコトハナリ
ソレニ郁子細アルヘキ歟トオホユ大方ハソテモクヒモ
具足シタルニヨテ一クタリト云フ歟又ノヒヨリソテニテ
不足ナキ心ニテ一クタリト云フ歟クタリト云フハ満足ノ
心地ナムメリト見エソレニトリテ領ノ字ヲモチヰルハ

領スルハタヒトヨム人ハカホニハ目ヲ本トシイノチニハ喉ヲ本トシ
ハキモノニハシリヲ本トシキル物ニハタヒシヲ本トスト云ヘル
ガ如ク衣服ヲ一領二領ト云フニクヒノ字ヲモチヰル
キモノニクヒ本タルユヘカトオボエルナリ但シ一准ナラズ
事モアルニヤ　齋藤ノ唐記ニハ又件ノ装束
身ノ衣裳一件トモカケリ
一調美ニモノヲアエルト云フハ人ノ物ニアエルト云ハ同シ事歟
調美ニ物ヲアエルト云フハツネニハ酤ノ字ナリ酤ヲ春梅ヲ
ナトト云ヘリ和ノ字ヲ用ル事モアリ　人ノモノアヘスルニ背トカク

肖ハ似タル


肖ハ似ルナリコレモ心ハカハリハ通スヘシ神功皇后應
神天皇ヲハラミタテマツリ給ケルトキ新羅ヲウチ給ヒ
ケリ皇后鞆ヲハキタマヒタルニヨテムマレ給ヘル應神
天皇ノ御ウテニソノモノヽムマレツキ給ヘルナリ日本記ニ云ハ
既産之宍生腕上其形如鞆是肖皇太后
為雄装之負鞆云一ツ鞆トハエミイルトキヒチニ
ツクルモノナリ韝トモ遂トモ拾トモカク今ノ世ニトモト
云ナリコレシノヒテチフ又郭璞カ曰螺蠃祝曰類我
父ニ肖タリトニサソリトハサソリ蜂ト云モノナリ子ノ

サソリ（旁）

サソリトハサソリ蜂ト云モノナリ[illegible]サソリハアヤマリナリ本ハサソリト、一本ニ

ニミナアリニ云ニルナリ常陸國ニハカソリト云カヤ

カノ國ニ賀蘇理岳ト云フ[illegible]シカアリ昔コノ岳ニサソリ

ハチシニカリケリコレニヨテサソリノシカト云ヘキタ

カソリノシカト云フニヤ

一敢ノ字シアヘテトヨムイカナル義ソ

堪能ノ心ナリタヘテト云フト同ナ也日本記ニ敢死人ト

カキテタケキ人トヨミセタリノニスルシモカヒスニテ

タヘタルモノト云フニヤ死生不知不敵人ナリ又止肩コウノ

字ヲアヘテトヨム陳孔璋カ為ニ曹洪ノ与ニ魏ノ文帝ニ書

云ヘキ也（旁）

ヲノ髭ノ背土ハ鬣魚ノ蠑魚ナト云ヘリツ子ニハ書ヘム

ストミメリ

一朗詠ニ冊應伏トヨメル伏ハナニノ心ソ

伏ハ練ナリ藥ヲ子ルニコノ字ヲ用ルヿアリサレハ

冊子ルヘシトヨムナリ伏ストハヒカヨミ也

一諸國ノ率分所ニ率ノ字ヲリチトヨム如何

率ノ字ハツ子ニハソツトヨム但シリチトヨムヤウアリ、

力出叉ニナリソツトヨムヘキーシ入声ノ通音也ハリツト

ヨミナス、ソツトヨミナス、ソツトヨムハヒキイルト云フ訓也

ヨミナス

サフラフ

引牽ナアサツトヨムニハアテカフト云フ訓ナレハスナハチ
牽合ナリ、アテカヒワカツコヽロ也牽ヲハシホム子 トモニム
一ムニハツヽト云フヘイカナルコトハソ
畏ト云字ヲシサハヨム、シツルナリ虫取ニ主タリ漢高祖ノ
白蛇シキルオソレスニナニノムニハツトキニヤアラント
云ヘリ
一侯ノ字ヲサフラフトヨムソノ、カイメカキニヘスメ何
本躰ハサモラフト云ヘキ也トシヲツヨクイヒナシテ
サフラフノトハ云ナリ、カタ云フ心ハ一ニ年ウカ・フナリ主君ノ

ウケタマハル

猶言ハ、答テイカナル御用カイテキタリ、イカナル作カ、
ウケタマハルト、ニモ、ウカヽツテ、作ニシタカハム、トウニ井タル
心ナリ。侍モ候モ心ハ同キ也。サレハサフラヒト云フ、サモ
ラヒナリ。日本紀ニ候海ヲ[illegible]テシホヲサモラヒ
テトヨミセタリ。コレモウカヽフナリ。タヽ井タルハカリシ
サフラフト云フヘクハ、ワタクシノ家ニ住シタルシモ候スル
トイフヘケレトモ、サニハアラス。公所ニカキリテイフナル也
海水ヲサモラフト云フ。ウミニナミタヽスシテマタシ
ヨキイキヲムスルニ、ヨカリヌヘキ日ヨリシヲウカヽフ故ニシホシ。

礼義也

サモラフトハ云ヿリ多キ事ニ人ノホ艹トシキ
サシミユルシハ、ウカヽニト云フ偽見トカキタリ、ウカヽヒ
ミルナリ、ソレシ多キ事ニノホレハ岳ニテノミル心ソト
心エテノ人ハミナシシカミトイフハアマ書ニリセ偽字ナニ
タクノ思フ心ナシ、ウカヽフモ、ミツモ、期元事アル心心ニカケ
テスデハニ、ミルカトウカヽフナリ、サモラフト云モミヤツカフ
ヘキサヤ出来ト、ウカヽヒ、ミツエヘニサモラフトハ云フナリ
消息モ人ノ詞モ事ニコレテハナニヽト偽トカクハコレ
礼義ハ人ニシタカヒテ命シソムクヘシキ心地シツタニ

シモトハモヨム日本紀ニ信讒トカキテシモトクヽミ
トノヨメル御字ヲシモトヽハヨムニヤコレラハ二ナ
ミナノ二ツアル心ソアラハス假ノ字ナレハ又ニルコトヨムナリ
アリモ詩ノ注ニ夜作視天河望其複トイヘリ
時節ノカハルヽニウツルニツキテコレシ複ナリ
アリ今ハシルシトスヘルモ通スル心アルヘキ也ソレモシ
モテユキテハ冬ハ春ノニナル春ハ夏ノニナル正月
スキユケハ二月ニナルナレトスルソノカハリメトモノ
ニキルニシキシルシト云フニヤニテウナフ心ハ

イヅレニモアルヘキナリ名カハサフラフト云事ハ
ミラヌモノアラムヤレモ人モミナイフ事ナレトモ
カクイフハイカナル心ソトミルニテハ、サキニヤヨリ
テ事アタクノミケレトモミルスナリ
一ハ、ムルトハイカナル義ソ 憚紙
多クハ心シキテハ・カルシイフヘキトオモヘリ 但花
傳ニ欲推摩（オモフハヌハチニミストキ）ト云リ 推字ソハ、ムトヨメルニ四字
テ思フニイタハシトモオモハスナクナサシトオモハヾニ
アタレル紙

一　坐トイフハ一向井ル心歟
ツヲニハ井ルシサスルトハ云フ但坐ノ字ヲヒサマツクト
ヨメル事モアリ礼義記ニハ武ハ坐シ致右憲左ト
何也ト云一リ坐シハツミトモヨム縁坐ト云ソノ心也
一　艾ハヨモキカ又時ニ艾漏トモ人ニハ艾老トモ
云フ如何
艾ノ字ニ心多クイヒモシリ　一ニハ草ノカルヲニ束ノ心　三ニハ
ヨモキノ心　四ニハヒサシキ心　五ニ此ノイハレク　ダウ心ハ
アニタノ心カヨヒテ　一ニナルナリ艾ヲヨモキトヨメハ

夜半ト云ヒ丑ヲ鶏鳴ト云ヒ寅ヲ平旦トストアリ朝
ヨミトヒリ、サレハ夜ヲスキテアカツキニツヽフ
ホトシ芽トハいつへキニヤ、又心ト云フスユト云フニ
オナシ、至ハサヒシキ心ナリ、又耄ナワ毛詩ニ義云
耋取名於耆耋老者耋也年乏又従幼至ハシ
耋為年久ト従昏至貝為中従人似
幼且似耋ト云ヘリ人ノシサナキカ老人ニ十八モ
ヒサシキ心アレハ芽ト云フタル、ヨワアクルニモヒサシキ
心アリテヨノアケンサノチカハクホトシ芽ト云フ

蓬ノ義アラハナリ莽草ハ莽炙乾莽ホナリ
今ノ世ニハ莽トカク正作ニハアラス、カルト云、（フハ作茻）荊川
ノ字ノ作（カタ）ツクリ也、莽シモカルトヨム、ソレニトリテ
草ノ末シカルナリ根ギハヨリカルルニハアラス
毛詩發文云蔑（カルシ）末（スエシフ）諸莽ト云、詩夜（ヨルノ先）鷄鳴時ト云ヘリ
鷄鳴トハ丑ノ時ナリ、ソレニサキダツトハ子時ばかり也、
カノ云フ心ハ、夜（ヨ）ノフクルヲ云フ、鷄鳴トハ、ニハトリノナク
時ノ心ナリ、有任テハ、世ノ刻ヲシハ夜半トオモヘリサレト
モ十二時ヲシカカテハニツキテハ、其ノ名ヲサダメタルニ子ヲ

ヒサシト云モ、スヱト云モ同シ心ナリ。ナカキ草ノスヱ
ト云モ、長キ夜ノ暁ト云モ、スヱノ義ナリ。コレニ又ヒサシキ
心モアルナリ。コノスヱヘニ、ヨモキニモ、ナルニモ、スヱニモ
久シキニモ、トシノヨルニモ、ヨノフケルニモ、其ノ一字
通スルナリ。又ヤスキ心モアルニヨテ、其安ト云フ
天下ノシタシキシハ、其安ト云ナリ。多ノ心ロコモ
レル字ナリ

一、ホトシト云ハ、イカナル心ソ
殆（ホトシト）ハ近セト釈セリ。似ヨリ名ル心歟

一状シ勤スナレト云フ勤ハ何ノ心ソ
毛詩傳注云勤ハ告セトミエタリカヽル子細セトツクル
ナリ詩ツクルニモ勤ノ字トモ韻ノ字ヲ定ル事ノアリ
ソレモ韻ノ字ヲ告ナリ同意ナレ
一ハフクトハ　ヒキ[illegible]
ハフクトハ小モ省略トモニハフクナリ工ニ名ニ　ヒキ
ワタシテハフクトト云モスヽノサヽエニサワトテハトテ
スコシツヽニワクルシイフ多シヒクシハハフクトハイハス
一ニイヘル世名ル物シトリイタスシハ徹スト云フカ何

徹ノ字ヲハスツトヨム論語ニ不徹薑食ト云一リ
孔安國カ云徹ハ去也辛シ而不臭故ニ不徹也ト云リ
徹ノ字ヲシ用ヌ謂也
一志ノ字ハ心サシナリ文ノ名ニ九州志魏志ナント云ハ
如何
フミノ名ニ志ト云フハ志ノ字ヲシルストヨム様アレハナリ
ソノ國ノ事ヲシルセハナリ志モ記モ同ヲナシ春秋
傳ノ序ニ考ニ其ノ真偽ヲ而志ニ其曲礼シト云ル説アリ
一嫐シミカクシヤウスルト云フハ其ノ義如何

ミカクトカキテヤウエトヨム音ノヨミセハ人ニアラシムリ
サウ貝●ササル屋由ナル瑩貝ヲモテミカクナリ
ヤウ貝ニハ紫貝トカリ候

一

人ニ對面スルシハ謁ト云フ可ク候
ヨノツネニハ人ニアフシ云フセ但シ後漢書ニ廣韻ニ字彙カ
オシカフニ臘面ノ大守カ齋范カ賢ナルコトヲ聞ニ
公主ヘトハ不ニ備ノ禮ヲ謁シ范シトニ云リ注ニ謁ハ請
ナリセハ人シヨヒヨセテノアハンシ謁ストニヤ公主ヘ
ヤウスニテ對面セムハ謁ト云ハンノモヤウスハ公主人又

ニテモ乱ヲ好ムカラヘキヨシニテハサラスシ謂ト云モ
ナラハヌ釈呂氏春秋ニハ歎門ヲ而謂ストイヘリ コレモ
ヨフ釈

一 モノタサキモノ シンロニキ物カナニキ十ムト云フ物ハ

甚ノ心如何

モノト云フハ万物ニカフラシメテ云事也ハ甚ノ形態名ニ
シテ定メカタチウコキ物ウヘ物ナトヽ云フカ如シ心キハ
メテヒロシ聖徳太子伝ニ馬ヲ献トイハムトキハ馬物ヲ
タテニツルト云ヘリ成尋阿闍梨在唐記ニ屋ヲ

夕ヂ名ナリ又云ク三殿堂屋物ハ百餘ジガダワトカムナリ
左傳ニ云ク野物未ダ成ラ又在ル野ニ則無ニシテ蔬食ニ云
物トモ云ヘリ呂氏春秋ニ自縮ニ云々 如輕物ノ注ニ云
物ト云フ人ナリト云ヘリ此釈ハカワシミムニ云人ニカキリタ
イフヤトオホエヒトモアニタニカヨヒ待ニシメカフ故ニサタメ
ナシ人物ハヒト思物ハサニサタメカタシ又モノハ字ヨリハ
シルシトモヨム左傳ニ云 外孫氏カ甲ノ補物ト注云
物ハ職也
一暦ニ不弔人命ト云フハ弔ノ字ノ心ヲ何

弔ハトフラフナリ生間ハ言ト云フ死間ハ弔ト云ヘル
サアリ穀梁傳ニ弔レ失レ國ヲ曰レ言ト云ヘリ人ニニケル
トフラヒソ弔トハイフヘキニヤ

一下臈ノコトハニ カキニフルシ カキタメト云ハ一向ノ
カタコト歟

日本記ニハ其東巻之中ニ蝦夷是尤强焉男女
交居父子無別ト云ヘリ分別スルシカキニフルト
云ヘハ別モ弁モ无キ人ノモノシシヒテカヘスヲハ弁フルト云フハ
モトイクラカワタリニシ今ハイクラニアクハタクカニ

カヘストイフ別ニ又ハウキニフトイフナリ
一御ハカナラスカシツクノ詞ハ　御ハ車ヲ御スナトイフ又行
御ニアテタノ心アリ御字ヲ使セト釈シ元　アリツカフト
イフハ進退ニ元ナリ牛童等ノ牛ヲ進退シテ車ヲヤルハ
イフ歟又進ナリトモ釈セリ前途ニムカヒテスヽム心ハスヽム
心モアルヘシ佛調御トイフモ一ノヘツカフ心歟難化ノ衆生ノ
心ヲコハキシノスヽメ進退シテ佛道ニ入給フナルヘシ智
度論ニハ若馬ヲ出首ニ先ヲ正轡カ如ク善当ニ治サ
合調御ト云リ日本記ニハ御字ヲシラシメスト　ヨメリ

治スルナリ。御ニハムカウトモヨム。輾（キシル）ト云フ字ヲヤルトモヨム

又ヘニ輾（テン）車ヲ同事ナリ。又御ニハモチフトモヨメリ

用ト同シ（心也）

一 醫道ニ方（ハウ）メ字ヲ醫方（ホウ）トモ治方（ホウ）トモヨム。ハ何事ニカ

左氏傳注云、方ハ法也。サレハ醫法治法ノ心也。方ヲモ

云ヘキハフルイモチヰキタルニ四字テカキナラハセリ

一 モノシノ欲ホルト云フハ 堀求（ホリモトムル） 心歟

ヨクホルト云フハ童説ヨリ欲ノ字ス十ハチホル也 万葉ニ

雨シヨロコフ哥ニ云

雨ヲヨロコブハ哥ニ云

我欲雨(ワガホシキアメ)ハフリキヌカクシアラハコトアゲセズトモトシハサカヘン

ト云ヘリ ヨロコビシアメハフリタリトヨロコブナリ コトアケ

セズトハ コトアゲハ稱ズルナリ サシモコトゴトシクサハギ

ノヽシラズトモ因此ニアシカルニシト云フニコソイノリセヨ

ナムトイハズトモト云フ心欤

一 ホトコルト云フコトハヽ如何

ツチニハ遥(ハリ)ノ字(シ)ヲホトコルトヨム散(サン)ズル字アリ日本記ニ

連延ノ二字ヲホトコルトヨメリ コレモヒロコル義欤 灌

字ヲモ　ホトコルトヨム

一　乱ノ字ハミダルトヨムナリ乱ト云フハ十人ノ乱臣ト云

ヨキ賢臣十人ヲ十乱トハ云フ從ニ言ヘハ九人ナリ文王

一母ツノクハ一テナリ十乱トハ云フ論語ニ周ノ武王ノ十乱ヲ云ル注ニ

乱ハ理ナリト云ヘリ乱ノ一字ヲハミダルトモオサムルトモ

ヨム離ノ字ヲハハナルトモアクトモヨム弟ソヒミダルト云フ

コトノアルヘヘニコソオサムルモアレハナルレハコソアツルモ

アレサレハトモニハナレヌイハレハ善悪不二ノコヽロハヘナリ

一　華ノ字ハ何ノ心ノ

ヤヽミリツヲヨム車ノサシヨスルナリサカテサシヨス
トモヨム、ミリツクトヨメルトハ大ニタカヒタル、コトハナシ
トモ実ニ相違ナキニヤツエニ車ノ後ノカタヲ
サシヨス、ウシロツヨスルハミリノサニニササセハミリツタ心
ニテモアルヘシ

一熊野ノ道ヲサスト云フ何ナル心ソ
行歩ノ心ナリ上林賦ニ擧呼直指ト云リコレハ
ハセクラカニ里ム心ナリ呂向カ注云指ハ行也ト釈セリサレハ
道ヲサスト云フ義ソノイハレツカシ

一月ノクニナキト云フハクニノ心ノ名所
クモワシクニト云フニアタルハ位ハカイニハリタル物ガラノ
カヽニリシノクニトハ云フハシモクモリノカケニナル所ノ
名ナリヲクニト云フハソレモクモワノカケニナル所ノ名ナリ
阿ノ字ハ庭ノ曲ト釈シ陽ノ字ハ水ノ曲ナリト云ヘリカクハ
イヘトモカキモ定相ナシ屈曲アル地形ニカケヒナタ
アリテオナシヤウニ月ノヒカリモテラサヌノ一向ニ
ハルヽトミワタシタルニハイツクニコソ景アリトモ見エ
ネハクニモナクオホエルナリコレシノ明月ノスカタト

スヘナリ。臓ノ字ハ、オホムネトヨム。臓ハ云フ心ハナリ

一　シメカヘシタルトモ　シミカヘリタルトモ云フ本意如何

日本記ニハ繒帛（サイハク）トカキテ、シメノキヌトヨメリ。繒ハイロ

ナリ。色シハソムル物ナレハ、ソメシ、シメトモ云フ歟。一境ニ、

深著シタルシ、シミカヘリタルトモ云フニヤ。餘事ニウツ

スシテ物ノサハカシカラヌシハ、シメヤカナルトアルト云フメリ

シミモ、シメモ通音ナレハ同事ナリ。一入ノ事ハヒトシホ

ナレトモ、カツシハ、シメナルトイヘリ。コシヲカシトオモヒテ云フ　ヒトシホナリ

ワタシメナリ。深キ入モ心通ニヤ

一　ナツカシカラウト云フハ、心字如何。ソノ心ヲ又アマネカナラス

扼捥トカキテ テツカラトヨム 平シトワクミ名ルコト千也ノ
把持セントスルコトアリ 文選鈔曰 諺ハ執譏シテ不知献
也トイフコトアリ トワクノニテ ハナレタナリ コノユヘニ アハヒシノ
ムスヒテ カレコレトモニ ツナキ アハスルシハ アハヒノ
テツシカヒトイフ シヒイハレシカ〳〵

一 人ノ弁説カケタルシオホシク ナルトイフハ 何
オシクトハ アヤニハノセ 有呼ク トイフ キ釈 後漢書ニハ
儏トカキテ オホク タヽストイフコトアリ 儏シノ是閒ハカリハ
サントキコエテ タハシキテ細ニハ シヨハ又ヨシ ナル〳〵

又條ヲハスヂトヨム五色ノ糸一條ト云ハ一スヂセシ
ニテ思フニハソノスヂハ、サヨトキコエル義訳諸国ノ
風土記ニ山イクツ河イクツトヨルスニ大道ハ大略
一條トヨルセリ道ハスヂトヨミタルモノ也ハ、スヂノ
心ニテ一條トハ云フ京ノ一條二條ト云フモ第一ノスヂ
第二ノスヂト云フニアタル
一權（ゴン）權（ケン）トハ同シ心訳字ハ一ナリ也何
正シ權（ゴン）ト云フトキハ權ハカリナル心ニテ正シクラフレハ、ツキ
ナリ權（ケン）門權勢ト云フ時ハ心ロカハル　權ヲハトルトヨム得タル

心ナリ時トリテ、ヱタル物ヲ云ヘキナリ

一 壽ノ字ハイノチ訳 獻壽ト云イノチヲタテマツル訳
イノチハツネノ事也 又酒ヲタテマツルシ壽ト云ヘシ
ナルヘシ 壽ノ字ハコトフキトヨム 潘岳カ閑居賦ニ稱
万壽以献觴(ケンシヤウ)ト云ヘリ 壽ハサケノム時ノイワヒコト
ソレモイノチナカキニ通ルニヤ、史記ニモ武安起為壽
壽(シ)ナト云ヘリ、ウツヘノコトフキナト云モ同事訳
大嘗會ニモ壽詞(神祇官)タテマツルコトアリトカヤ、日本記ニ
宝壽トカキテ 宝ホキノトヨメリ、アメフキテ、イヘノ

ワタシニイワヒコトスルヲイフニコソ呂延濟曰古人之
宴會ニ有奉千金為壽或ハ稱万歳若賓主故ニ
以相酬ナリ
一ナミ〳〵ト云フハナラビトイフト同事歟
傍字ヲナメ〳〵トヨメリ云ニハソトリテ權ナル心歟貞
觀政要ニ貓類ヘ傍求ト云フテナメトナミトハ通云也
一イヤ〳〵ノ下簡トモイフハイヨ〳〵ノ心歟
イヤ〳〵トハアヤニリ歟ヤヘ〳〵トイフヘキニコソヲモノヽ
アニタヘタヘリカサナリタルニハ世ス八宝ナラハト云

ヤヘヤニフキ、ヤヘサクラ、ヤヘカキ、ヤヘ桔梗ナムトミユ
同心ヲ以ヨツキノ大鏡ノニキ二八両三條ノシト、良相ノ
御弟ノ五位タチサセルコトナクテ、ヤミニタルヨミシノ
カキタル、コトハニカクハカリサカヘ給フ中納言従ヤヘく
ノヨシト、ニテ、コエタテニツリカケルヨシヤミニヤト
コソオホエヒトミユ一リ

一點シツクツト、トツキテトミユ、本説ナキコト欤
都率ノ僧都覺超ノ阿祢陀秘密讃ニ、伊字ノ
點側都ハタル二點、置一ハ大般涅槃義一ハ方便

袖通ノ義トイヘリ又尾張國ニ登々州ト云フ河アワ若
清公記云大己貴小彦命巡國之時往還ノ
足跡ナルユヘニ故ニ跡々ト注云俗跡謂之聞々トイヘリ
サレハトヽトイフハアシノアトノ義ニテアルヘキニヤ

一 シサクヽキトハ何ノ心ソ

シサクヽキシハ平声ニサケテイフニシサクトイフハ
別ニ葦也幹了トカキテシサクヽトヨム又スクヤカナル
心ナルヽムクロニツヨキ義歟又優ノ字ヲシサクト
ヨメルカモアルニヤ優ノ字シハ柔ナリト釈セル説モアリヤカ

タカナルニヨソ雨天大ニ水火ヲ躬恒カナカ哥ニヨリサク
シクシテオホエストヨメルシハ優ニモオホエスト云ヘル
ヨシシイフ人モアリ伊勢物語ニシサクカヨハスナリ
ニケリトテヘルハ心ツヨクカヨハストテニヤ歌仙ノシル
ヘキ事歟

一得シコトヲイフハワタクシコト同事歟
ウチニカセテヒンサウシカラスワタクシトコエタル人ナト
相ナ人ノ心ノ心ホトクイ好ト云ヘリ但シ尾州記有
世人答曰ハ注ニ依語ニ德ク寿ト云ヘリコレハ三ケノ

ヨクナウツクシキシトクヽシトイフニ[illegible]ヘシ
ニヤカナラスフトチヤカナリトハミエス
一サウサウシトイフハ冷然ノ心歟
本説ハサハヽシトイフヘキニヤ冷然ヲサウサウ
シトイフハコレシアヘテトリナス歟サハヽシトイフヘシ偸
窃ナル心ナリ物シツミヤカニシテ肅然サキトスル
義ナルハ冷然モソレニツキテハアリヌヘ[illegible]ケレハ害ヲ
心モアル歟文選ニ不如顔駟馬原憲ニ窃其身
ト云ヘリ

一ヨモヤマト云フハ四方山ノ心歟
日本紀ニハ糾流四表八方トモ云ヘリヨモヤモシノ
ヨモヤマトハアミタ云フナラハセルニヤ、ニトモトハ通
音ナリ万葉ニ高市連黒人カ哥ニ

ヨモヤマノシ、ウチコエミレハカサヌイノ、シマコキカクル、タナゝシヲフ子
トヨメルコトアリコレニハ四極山トカキテ、ヨモヤマトヨメリ
別義也山ノ四方ニメクリタルシ、ホカヨリノ、コエクレハ、カサヌイ
ノシマニカクレコクフ子ノミエルトヨメルニヤ、モシ又ヨモヤマニ
ト云フ山アルヘキ歟タツヌヘシ、ヨモノ山ヘト哥ニヨム山ハ

四方ノ山ナリ

一ヒタフルトハ　ヒトヘニト云フ心欤

ウチタヘタル心也日本記ニハ蒔ノ字ヲヒタフルトヨメリ

ナカタト云フ心アカノクサニハアラヌニヤ　敵死人ノ骨ハ

散ノ字ヲ取ニルニシハリヌ

一シコツルトハスカス心欤

コシラウルナリ誘ノ字ヲシコツルト云日本記ニ　ワカ

ルトモヨメリ　ワトシノトハ通音也ハ同事欤アヤツルツノ

ワカツルト云フ事モアリ　コトハヒロクシテ通ル　カタ

シホトニ叙アヤツルモノハ、チカクシテシレヤスキコトヘ

タルハ云叙イカサマニモ、ヤワラカニコトナキヤウニ

カヽフル心ナリ、アヤツリモノハ、ツヨクスレハ、ヤフルレハ、

コレラフルユヘニ、ワカツリトモイフナルヘシ

一 タヤスキト カヤスキハ同心叙

タヤスキトハ合期ノ義カヤスキハ軽キ心也カロキ

ニツキテハ合期コノ心モカヨフヘキニヤ、タヤスキトハ

容易ナリ、カヤスキトハ随心トカケリ日本記ニ

ヨキ馬ノオシイフニハ服御随心馳驟合度ト云々

一 ヒンナキヨシソ云フニナメゲニト云フ心如何

平ノ字ヲナメゲニトヨメリ平懐ト云フモ同ジ訳一ニト

キハ思ヒニシタルケモナキハ平民ニ准シテ無礼ノ心地

ナリ傍ノ字ヲナメゲ云フモ心ハコレニカヨフヘキニヤ

一 モナカト云フハ何ノ字ゾ

日本記ニハ由迷トカキテモナカトヨメリ最中ハ

ナシモセヌニナカト云フモ同ジ訳ニトモトバカヨフ字ナリ

一 クサハイト云フハシソノ字ヲ草訳

クサハイトハ縦ノ字ヲヨム、タ子ヲニキタルカ生長ス

ルニヨモ大人ノオイタチシイサヲニヤ但シ人ニハミニカキ
ラス種ノ字ニツキテハヨロツニカヨフヘキナリ日本紀ニ
種々雑物トカキテ、クサハイノモノトヨメリ
一ヨノサカトハ嶮峨ノ字訓ナルヘシ
日本紀ニ神性ヲカキテ、サカトヨメリ、モトヨリ性ニ
ワケタルヲサトモ訓ヨノサカハヨノ中ノクセ訓ヲ世ハ
鑰ノ字モハオナシカラス、タトヘハタヤスクテフタクヒ
ワタキ性ト訓ヘハモトノクセトモ詞ニカヨフ所アルナリ
一ソヽロコトシハ多ウヤ事ト云ヘシ

謌詞トカキテハシカリコトヽヨム實ニ宜ナル首へし
アハヌコトハシカラフイハヘし
一 又シタルモノソフキオホエト云ハ蓋ノ説
フタト云ハツルフナリ 補字ヲ用ヰ日本紀ニ
タキシスキキウキフワルサイフニ 拔鋤ニ指
揮ス進ミ共ト云リ
一 カクハシシノヘキトルヤウナルサシヘツルト云実ハ
日本紀ニ新羅所折ヲ国ト云リ 折ノ字ヲ
クレシトモヨムニヤ 龍ノ字ヲヘカルトヨムヘし

ヘカル・モ心ハオナシテイノコトハナリ

一コトノモト・云ハイカナル義ゾ

日本記ニハ縁字ヲ（コトノモト）コトノモト、ヨメリ根元因縁ヲ

云ヘキナリ但シ今ノ世ニハスルヨシシテ如読ナリ

又ソノコトノモト・云フナリ縁ノ字ハヨシナリ世ハスル

ヨシシスルモ縁ノ心ノアルニヤ　モノ・ヨシシウシナハス

シテ・シカモ略スルコトニシ思ヒアハセル

一世路ノスツイフニ　ヨスカト云イカナル心ゾ

因ノ字ヲヨスカトヨメリ因縁モ　カケテタヨリナキ

一ヒンナキヨシト云フニナメゲニト云フ心如何
平ノ字ヲナメゲニトヨメリ平懐ト云モ同事歟一ニハト
キハ思ヒシミタルケモナキハ平民ニ准シテ無礼ノ心地
ナリ倭ノ字ヲナメシト云フモ此ハコレニカヨフヘキニヤ

一モナカト云フハ何ノ字ソ
日本記ニハ由来トカキテモナカトヨメリ冣中ナト
ナしさらセニナカト云フモ同事歟ニトモトハカヨフ字ナリ

一クサハイト云フハシイタケ事歟
クサハイトハ種ノ字ヲヨム、タ子ヲニキタルカ生長ス

諺詐トカキテハタハコトヽヨム實ナク首尾ニ
アハヌコトハシヲイフナルヘシ
一 又シタルモノシノフキホストイフハ蕭心叙
フタトイフハフルフナリ擱ノ字ヲ用ルモ日本記ニ
タチシヌキテウチフリ名付クニ抜鋒皆
揮以進兵トイフアリ
一 カイハヒシノヘキトルヤウナルキシノヘツルトイフハ宍行
日本記ニ新羅所折之國ナトイフアリ折ノ字ヲハ
クヽルシノトモヨムニヤ絶ノ字ヲハヘカルトヨム、ヘツヽルモ

ルニヨリテ人ノオイタチシイフニヤ但シ人ノ三カキ
ラス種々ノ字ヲツキテハヨロツニカヨフ（キナリ日本記ニ、
種々雑物トカキテタサハイノモノトヨメリ
一ヨノサカトハ嶢峨ノ心歟ト云々
日本記ニ神性トカキテサカトヨメリモトヨリ性ニ
ウケタルタサト云フ歟ヨノサカハヨノ中ノクセ歟タセハ
癖（ヘキ）ノ字ヲモハオナシカラス、タトヘハタヤスクアフスタニリノ
カタキ性ト云ヘハモトノクセト云フ詞ニカヨフ心アルナリ
一ソヽロコトシハタハ事ト云フ歟云々

ヘカル・モ心ハ、オナシキイノコトハナリ

一コトノモト・云フハイカナル義ソ

日本記ニハ縁(コトノヨシ)字ヲコトノモト、ヨメリ。根元因縁ノ

云ヘキナリ。但シ今ノ世ニハスルヨシシシテ如読ナリ

又ソノコトノモト・云フナリ。縁ノ字ハヨシナリ。世ハスル

ヨシシスルモ縁ノ心ノアルニヤ。モノ、ヨシシ、ウシナハス

シテ、シカモ昧スルコトニシ思ヒアハセル

一世路ノ字ヲイフニ　ヨスカト云フハイカナル心ソ

一因ノ字ヲヨスカトヨメリ。因縁モ　カケテタリナキ

シハヨスカタエテトいふにや日本記ニ無資トカキタリ
ヨスカナシトヨメリ資縁ナキ心地ナルヘシ
一クタリサニノモノシホムルニケノモノトいふ心ヲ得
日本記ニ異字ツケテトヨメリ允徳ニコエテ
ツ子ヨリモコトナルコヽシシホムルコトハナルヘシ
化ナクト申ス人ヲアルハヒカ心エナリ
一ヤヽヒサシトいふハヤウヤクヒサシクナル心歟
ヤヽヒサシトハ~~ホトヤヽヒサシクナル心歟~~良久ノ
二字也ハナハタヒサシキツノ心也後漢書ノ別傳ニ

張堪カ

張堪ハ賢ナルコトシラレツ顕宗帝聞良久歎息スト
云ヘル注ニ云、良ハ甚也ト
一 清尚ニ系テカクコトアルハ如何
雅趣ナルナトカクメリ。雅趣ハ雅意ナルベシ
悉セヨトハツクセトイフ也。フデニハツクサス大概シテ
ノフルシウケトリテ、ヨクノココロエヨトイヘルナリ。文選ニ
司馬子長報任少卿書ニ、書不能悉意、略陳固陋
云ヘリ。鈔ニ曰、悉ハ尽也ト。孔融カ魏ノ太祖ニタテマツル
書ニ、因表不悉ト云ルハコトゴトクニセストヨム様モ下八字

様モアルニヤ

ツイムト云フモ コトヽタトヘフモ 心ハカハリメナシ

一 願鈎ト書タルハ 鈎ヲセナカニシフ歟

曲礼ニハ 願鈎ト書テ オヒカキハサムトヨメリ 鈎ノ字ハ

カキハ云也 ツルキニハアラス 所ニヨリタカヒ カキヤウニ

ヨリテ 差別アル 事トモアリ コレソノ一也

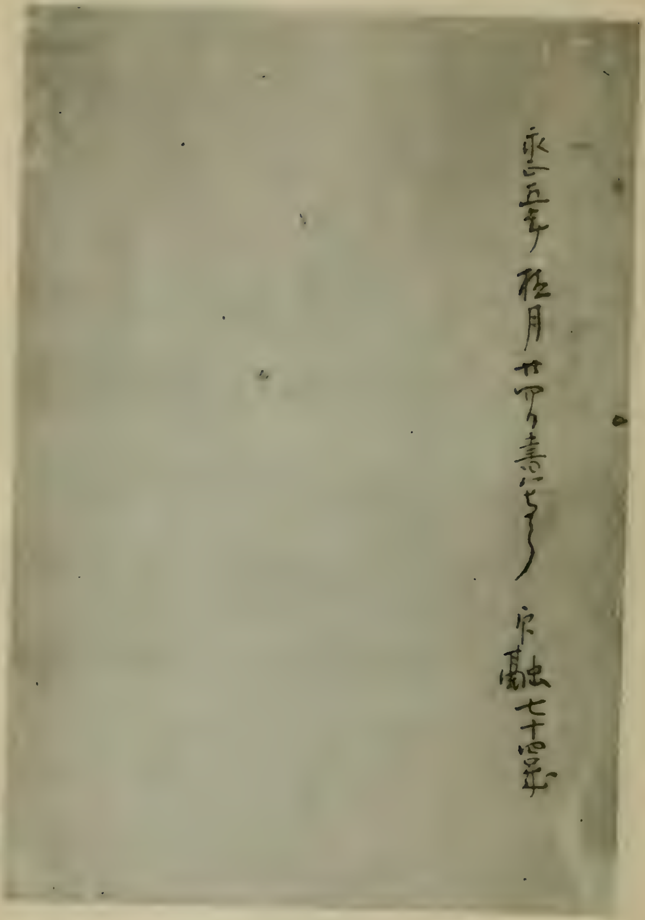
一 舞ノサイフニ 赴節トカクハ 何ノ心ソ

節ハ 楽ノ拍子(注す也) 拍子ニアハセテ舞ヲスル也 日本

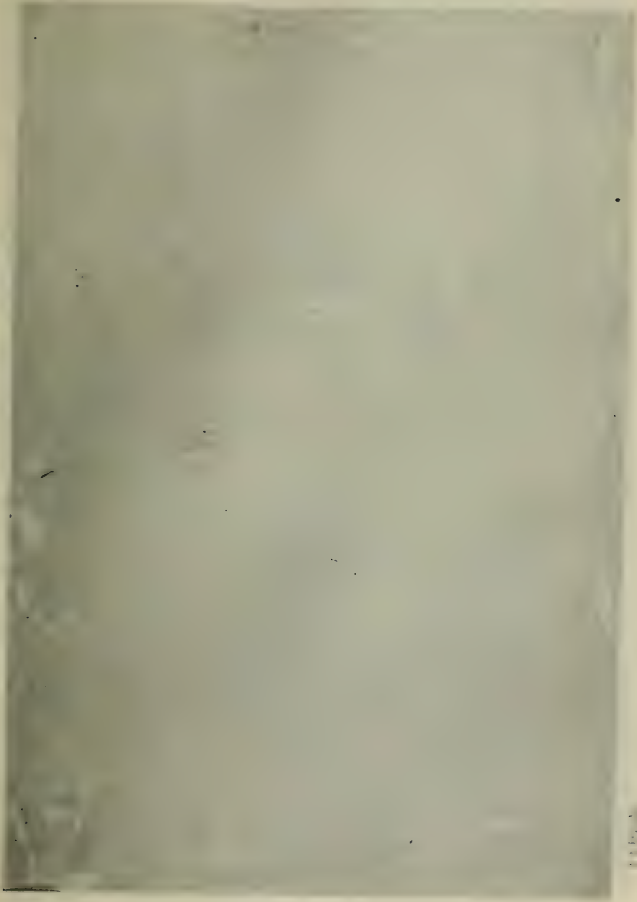
記ニ 赴節 歌ヨミナト云リ

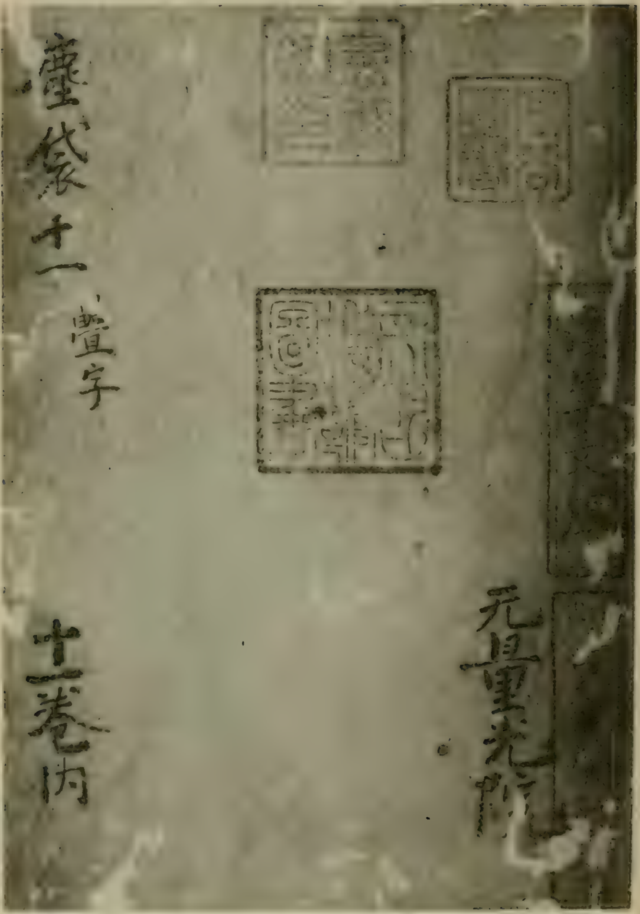
或 恭敬 撃節ト云ルコトアリ 注ニ 撃者循趁也

相從也心也トモ云ヘリ拍子ニアヒシタガフ也琵琶引ニハ
鈿頭ノ雲篦ハ撃テ節ヲ碎トモ云ヘリ節トハクラヒナリ
クラニト云フハ拍子ノクラヒ也曲節ノ二字ヲハヒキ
アハセテクラヒトヨム
一 モノシル人ニタヅヌルト云フ所ニ心ヲ
養ヒトカキテコレヲイレキトヨメルモアリ


永正五年極月廿四日書之　宗融　七十四歳

七・一九




元旦重光門
璽袋十一
疊字
十二卷內

一、浚渫スルト云コトハ、浚渫ト云ハ何ゾ如斯…ニ…ヒハタイトヨ云何ゾ不ンゾ

一 消察ト云フハ、コノ不訳
一 従容シワカ、ストト云フハ何事ゾ
一 万流ト云フハ、ヨロツノ流ヲシテ云フ歟
一 高昇ト云フハ、十二ノ不ゾ ノロ
一 廻翔ト云フハ、鳥如クニモヒカケル不訳
一 張緒トハ、イカナル不ゾ
一 雅意ニカナフトハ、我カ所トハ義歟
一 累葉ト云フハ、ヨシカサナル不訳
一 官ニ任スルヲ、拝除ト云フ義ト何
一 モノ、イチワツト云フハ、遊物訳
一 帝師ヲ儒者五更問ト云フ…

一 管見ト云コトハ、其ノ見ト何
一 判定ト云フコトハ、其ノ不如何
一 経始ト云フハ、草創ト云フ同不訳
一 キミシイサ文章ヲ、経籍ヲ…
一 坐閑セラルトハ、何ニ事ゾ
一 莫大トハ、甚云ト何
一 絶倫トハ云フハ、物ニ出ミカル不訳
一 亀鏡ハカヾミノカヾミニ訳ト何
一 緇素ト云フハ黒白訳ト何
一 ヨミニシワラサル者ヒシ肥遯ト云トハ何
一 将来トハ、…

七三四

雷同トカキテヒタヘクヽ…

一造営トイフハツクリイトナムト云心
一修理ト云フ理ハ何ト云心ソ。
一景福トハイカナル福ソ
一不敵トイフハカタキナラヌト云心
一鏗鏘トハウカヽフ心欤
一匪石ノミコトヽイフハ如何
一浅轢トハ心チハル欤
一閭閻トハイカナル心ソ
一按摩ト云ハイカナル心ソ
一正直トハ心ノスナヲナル欤
一須道トイフハ三ケナル三日欤
一ヨハ丁ナルシ……

一施行トイフハホドコシオコナフト
一有截トハイカナル義ソ
一都盧トイフ心如何
一消息トイフ二字ノ心如何
一殿籞トイフハ殿トイトイフ心欤
一周章トイフコトハ心如何
一推恩トハミナミナヨム心義ヨミ欤
一登用トハノホル心欤
一細縄墨トイフ心如何
一已上トハステニカミニトイフ欤

ヨハケニアイヘ

カハシ

一偏頗ト云ハヒトヘニトイフ心候ハヽ頗トハスコフル義ソ
一猥雑トハミタレカハシキハル歟
一荒蕪ト云ハアレテコケノオヒタル歟
一脈膏ト云ハイカナル心ソ
一懈怠ト解體トハ自體カケルトソノ別如何
一ハンセキトアルシ羅麻トイフハ何ソ
一朝野トイフハアシタノ野歟
一傍若無人トイフハ不入ナル歟
一欵状トイフハ何ノ心ソ
一羅籠トイフハ何ノ心ソ

一落索トイフハシキ氣シテ去ムル心歟
一清慮トイフ本意ハ如何
一花説トイフハ花ハ亡キ説歟
一病ノ危急ナルト大漸訴器トハ如何
一巍々赫々トイフハイカナル心ソ
一草創トハハシメテ造作ヲイフ歟
一言語トハトモニコトハノ心歟
一疎簡トイフハオロソカナルフタ歟
一壺奥トハイカナル心ソ

堂々

一荅酢トハイカナル

塵袋第廿一　疊字

安堵　雷同　省察　管見

從容　刊定　万流　經始

高第　之獻　任誕　廻翔

幽閑　狼藉　莫大　雅意

絶倫　累葉　龜鏡　拜除

緇素一物　肥遯　五更間　將來

造作　施行　後昆　舊貫

有截　景福　鄒盧　不敵

七三七

都盧

不

消息 覬覦 戲截 匪石

周章 淩轢 地丞 僴然

登用 揣摩 緦維 正直

已上 有道 陀僻 偏頗

荅酢 猥雜 蕭索 荒蕪

清廣 服膺 花說 懈怠

大漸 叅留 獲麟 巍々堂々 朝野

草創 無六識 傍若無人 言語

欵狀 踈簡 糴糶 壼奧

一　安堵スルト云フコトハ堵ノ字何ノ心ゾノ

文選曰百姓安堵シ四民反業ツト云ヘリ

呂延濟曰堵ハ墻也安ニ墻離堵ツ不失ニ家業ヲ以テ人家ノハ

墻ノシタミクチノ上ニ壽ト心盗賊等モ出入合期スレハ

家ヤヤウクシテニタキ壽トカタクシ心賊モ闖入セス

牛馬等モイラスニカワツシカタメテ後ナ安穏ナル

ヘケシハ安堵ト云フ歟

一　靁同トカキテヒタヽクトヨムハ十二ノ心ゾノ

常ニ泯ノ宗ツヒタヽクトヨムハ混同スル心ナリ靁同ト

オナヽ心ナリ張銑ガ曰謝僕ヽ孝ノ同時ニ應ス是非ニ
相同シテ不別ニ善悪ヲシトモ一リ、タトヘハ、イカツチノナリ
ト、メクシリ人ノコエシイタヽルハ、イカツチノ大ナルヒヽ、
キニ一キシテ、ヨシモアシキモ、キ、ワカル、サカタヽ
コレニニタルハ、ヒタヽクトヨメリ、ヒタヽクト外ハ一ニ混シテ
ワカレサルナリ
一省察トモアハ、ハフタ心訳
トモニアキラカナル心ナリ礼記曰孔子云礼不可不省
省ヽトハ一リ察モ明ナルナリ

ヒタヽクト外ハ

一管見ト云フ詞ハソノ読ミ何

史記云少見之人ハ如下從二管中一闚ミルカ天上トアリ

ソノ意ナリ

一從容ソウカニコトト云フハナニコトソ

呂延済曰從容ハ柔和ノ貌ト云ヘリ心トケテ

ハラノタチナトモセヌシツリツイフナリ或ハ縱容トモカク

縱ノ字ハホシキマヽノ心也又ユルフナリ或又松容トモ

カク嵇康カスカタ孤松ニ似タリト云フコトニヨソヘテ

云フニヤ又縱容ノ容ノ字ハカタチノ心ニハ非ス イルトヨミ

スルヤウアルヘシ縦容ハニヽシイルヽモ許容ト同事ナリ
蕭相云辭ニ右大臣ヲ表ニ人心已ニ不縦容ナリト有リ　山谷集
ハソノホシイママ又オリアノ縦ヘリ
一　判定（ハンテイ 又判也定也陸也）トイフコトハソノ心ガ何
判ハケツルナリコト多シテ三タヒシ又ヘキシケツリ
スチヽ至要シノスキトリテソノ不用シヽル訳
一　万流トイフハヨロツノ流シイフ訳
万流海ニ宗スナトイフハ河ナリ又流シタクヒトヨムニ
ツキヽテハ万類トイフ同事ナル様アリ

嵆康カ高士傳ニ曰孔子問ニ項槖ニ曰居何有ル曰ク
万物流ニ屋是也トヽ同注ニ云許与ニ万物同流匿也ト
ニ一リ孔子ノ大項槖ニアヒテ井トコロハイツクソト
タツ子給フ御返事ニハ万流屋トコタフルハ法界ヲコメ
テ家トスルヨシヽシノ申ケルニヤ然ノタケシヒタヽニ七歳ニ
シテ孔子ノ師トナル人ナレハナヘテノナラシヤ
一経始ト云フハ草創ト云フ同シ心ハ欤
トモニハシメ名ル義ナリ経ノ字ニアミタノヨミアリ注ニ
オサムトモヨムヘシサレハオサメハシムルニモアルヘキニヤ　但シ

經ヲ、
但シ

ハシムトヨメハ経始ハハシムル訳又アルトモヨムコレハ
義カナハス経祈トカキテハフレリタツトヨムニカク

一 高第トイフハナニノ事ゾ
謂德行高遠明於經國之道第一著也トイヘリ

一 文献 文ヲフミトイフハ献ハイカナル義ゾトイフニツル訳
文ト献 文章ト献トイフハ賢者ト献ソハ賢ナリト釈シタリ
サレハ文章ヲハ賢者ヲ不足ナルシカクイフ也

一 キミシノイサメタテニツルシハ往譖ジ献ストイフ如何
キトウケ思フニハ譖ハ閉ツフレタルナリイカニ鬱氣

途ニシタガフトモ、メツフルノ如クニ同シヒサキナルモノニ
あれコトモシノト人ヲ見、戦ヒモ愚ツノトモ公平ニ忠ニアヲ
スハストト、オモヒテノハ、カラスイサ文志　玄訳ト叢ユ
然ニ周本記ニ瞽史教誨ストゑ一リ、左傳ニ史為
書瞽ハ為　瞽盲者為詩以諷刺
ゑ一リ　又玄工誦ニ箴諫注云工ハ楽人也誦箴
諫ミ、又韋昭曰瞽ハ楽大師、史ハ太史ノ辞トゑ一リナミシ
イサメ本ニヘキトモ人ハ、サタニ用テ、文シツカリ、詩シツハ、
楽ノコトハシモテ、アニヒトーコトシソシヒリノ字ヲヘキニコノ

コソ

ソノ仁ニカハル事ナキトイフ心歟 経ノ字ハ早下ノコトハナリ
又論語ニ未見顔色而言謂之瞽 注云周氏
曰未見君子顔色所趣向而便逆先意語者猶瞽者
語者猶瞽者ノトイヘリ是ハ初ニイヘル心ナリ
一 廻翔トイフハ鳥ノ如クニトビカケル心歟
廻翔ノ二字ハフルニフルトイフコトハナリ 廻ハメクル 翔ハ
フルニフルナリ フルニヒニワル歟 振舞トカクハ心エヤス
カランタメニアテ字ニカクカ 礼記ニ室中不翔ト云ヘリ
一 幽閑せラル、トハ 尤力ナキ所ニトヂコメラル、義歟

周氏

愁ノ字ハ[illegible]トモ又トラアトヨムナリ。[illegible]
トラヘテシイコムルナルヘシ。又愁ヲハフカシトヨメリ。
フカクトヂコムル心モヤアランヽト オホエハ トラアト
イフハ心ツヨキニヤ。

一 狼藉トハイカナル心ソ。
藉ハシキヰセシキヰハシキモノナリ。狼ナトカ
井タルアトハサワクトモナキ心ニヤ。狼藉ノ字ハミダリ
カハシキナリ。楽天ハ浪跡ノ二字ヲ用テミダリカハ
シトヨミセタリ。ナミノヨせ花アトニハモクヅチリナル

イホノウツナアケラルレハカクイフヿルニヤ 文選ニハ
良迹ニ無蹤跡トイヘリ ヨキアトキノ ウキニハモ
ナクミ乞アヘルナリ浪迹ノヨミモカタ〴〵ワカレタルニヤ
一莫大トイフハ大ナルヿナカレトイフ心ナラハ義タカフ欤
莫字ニアヽタノヨミアリ ホトコストヨメハ ホトコス
コト大ナル心ニヤ 文孝碑ニ莫大之トイヘリ 此ハ孝行ノ
セン注ニ此莫大行トイヘリ 此ノ意欤
一雅意ニ一カストハ 我カ心トイフ義欤 雅ノ字如何
雅ニ アニタノヨミアリ 雅意ニ一カストハ モトノ心トイフ欤

釈ノカモト思ヒハシメタルシヒカ事ナレトモ、オコナハレ
トナルハ雅意ニカナヘル義歟 雅趣トイフハ雅ニシテ正
コトナト歟 有ソウルハ下ノ心ニイフニヤ、オナシ字ナレトモ
コトニヨルヘキ歟 義ニ任スルハ非相応 雅ヤカナルこと

一絶倫ト云フハモノヽホニカルヽ歟
絶倫ヲハトモヨミスグルトヨム、絶ノ字ハ正ノ作ニ絶ト書ク 此字在奥
絶ハコヽニキヨ又トテワロキ縮也サレトモ書蹟ノ
ハ字ノ碑ニハ絶シトタルトヨミセタリ、サレハニヤ、今モ
コレシ用ツ 碑ト云フハ人ノ死ニタルトトニソノ人ノ徳ヲ

シルシテ石ニエリツケタルヲ江南ト云フ所ニ曹娥カ碑
アリ、タヽ八字ヲカケリ、八字ト云ハ黄絹幼婦外孫
齏臼トカケリ魏ノ曹操ト申ス御門ノコレヲ見テ心エタマ
ハサリケルヲ御トモニ揚徳祖ト云フ人マイリケルカ、ヤ
カテコレヲ心エタリケリ曹操ハワカ案ニエタラン、ニテ
ハ物ナイヒソト約束シテ三十里ヲスクル、アヒタニ
案ニエタリケリ、サテ徳祖ニ釈セサセテキヽタマフニ
心エ極タカハサリケリ、其ノ八字ノ心ハ絶妙好辞ナリ
ケリ絶ハスクレタリ、妙ハタヘナリ好ハヨシト云フ心辞ハ

コトハナリ

コトハヽワレ、セレハ、スクレテ、タヘニヨキコトハ、アル人トイフニヤ、
ソチキニタリケルニコソ、黄絹ハイロノ糸、色ノ絲、絲ニテ
キヌハシルハナリ、イロノ糸ハ絶ノ字ナリ、幼婦ハ少女ナリ
ヽヽハ妙ノ字ナリ、外孫ハ女ノ子、女ノ子ハ好ノ字ナリ、齏臼トイフハ
ニラキナリ、蓼ノ薑、韮等シイルヽハキニヤ、ニラキノ
ウスハカラキシウクルモノト心エテ辭ノ字トス、絶倫ハ
トモカノニスクルト心エシハ、カキラス物ホニカリ
詞ハフカキ心トハ、オホエス、ソレシ人ノ絶倫ナルトイフハ一ツ
不得スルカタニ心エラルヽハ、エリノフカキコトノ餘韻ニモ

スクレタル義ニヤ、アラム殊ノ字モスクルトヨム殊勝ノ
二字ハ共ニスクルヽナリ、コトニスクルトモ、ヨニルレトモ
コレハサニハ非ル歟、殊シハタツトモヨム、殊恨トカキテハ
ウラミシタツトヨム殊シタルト云フハ断絶ノ義也文絶ノ
字ハオタツトモヨム姜女絶シハヒホミオハトヨム王逸カ曰
絶ハ落ナリトヽヽ玉ニタノヨミニカヨフ
一 累葉ト云フハヨシカサヌル心歟
打任テハ此ノ義ナリ日本記ニハ累葉ノ稱ヲ匡ト云ヘリ
但シ李周翰カ文選注ニハ累葉ハ猶シ如木ノ葉ノ相襲

多ノ此カトイヘルハ葉ハハノ心トオモヘルニヤ、メヅラシキ說也

一龜鏡ハカメノカヽミ狀ナ作

龜ノ字ヲハシルシトモヨムシルシノカヽミヲ貞觀政要ニ

太宗ノコトハニ朕今ニ以テ蜀王ヲ為元龜ト云リ　但シ

或書ニ元龜象齒一尺二寸ト云ルトアリ　逐テ可勘

文ニ元龜者大龜ナリ天子ハ以テ一尺二寸ノ龜ヲトス元也

諸侯ハ八寸、卿大夫ハ六寸、士ハ四寸ト云ヘリ　文選劉

注云　巳東出元龜大龜也ト云ヘリ　異物志云　涪陵ニ

多大龜ハ以テ可卜　卜云ヘリ　龜甲ノハラノ二ハカメノ

ヨコシアカヽニテ、ヤキテ、ソノヒワレタル文ニツキテ
吉凶ヲシルトイヘハ、コノウラスルカメ叙カメシシルシニ
シテ得来ヲシルユヘニカメシシルトイフニヤ、可尋之、
一 官ニ任スルヲ拝除ト云フ、除ノ字ハ拝官ニ似タリ又行
漢書ノ音義ニ、如淳カ曰ク、凡ツイフ言除ト者、除故官シ
就ニ新官ニトイヘリ、モトノツカサヲサシステ、他官ニウツリ
ノホレハ、カクイフ、マタ無官ノモノハ故官アルニアラネハ
名ヲノミツカムモ除ノ義ハ、オナシキ叙拝ノ字ハヨロコヒ
申ニテノ、シカムヲトオホユレトモ、拝除ノ拝ハメストヨム

ツカサメニト云フ是歟

一緇素ト云フハ黒白歟如何

オトコシハ白衣ト云フ僧ヲハ黒衣トオモヘリ緇ハクロシ
素ハシロシトヨム字也ハ黒白衣ヲトリアハセテ緇素ト
云フ道俗ノ二字ヲハ日本記ニハシコナヒ人シロキヌト
ヨメリ。シロキヌハ白衣ノ衆ト云フ心ナリ但シ毛詩ニ緇
衣篇アリコレハ別ノ事ナリ僧ノ黒衣ニハ非ス緇衣ヲハ
卿士ノ朝服ナリト云ヘリ。オトコノキル袍ノイロナリ依テ
白衣ト云ハンニハシロキ袍ヲコソキルヘキニ僧ノ黒衣ノ

サロノ定ニテ道俗トモニオナシ緇衣ハ心且ラレヌ事
ナレト白衣ト云フ事ハ佛在世ヨリ云フコトニヤ、天竺ノ
俗衣ハシロキヲ本トスル歟コレニツキテ黒白衣ノ別ヲハ
云フニヤコノサレトモ和漢オナシク俗ノ黒袍ハアル一ニシ
別ニ位ニシタカヒテ緑衫(ロクサン)トモ蒼衫(サウサン)トモ云一トモシシ
ナヘテ道俗シワカツニハ俗ハ白衣トス黒衣トモ緑
衣トモ云事ハナシ経ニモ白衣受欲非行道ハ云一ハ
一モノハイチブツト云フハ逸物歟
ツネニハコノ定ニカク、イチモチ(一物)ト云フニモ通用ス歟

江連衡カ曲水ノ宴ノ詩序ニ天下ノ一物巴上ト
カケリサレハ一物トモカクヘキ𪜈オホユレトモ、ツ子
ニハ逸物トカキナラハセリ

一ヨニミヽレウラス、カスカナル、スヽヒシハ肥遯ト云フ何ノ心ソノ
肥ノ字ニ二ノ様アリ一ニハ肥ト云フハ蓜ノ字ニカヨハシテ云フ
蓜シハサルトヨムコノユヘニ肥モサルナリ二ニハ飛ノ字ニカヨ
ハス飛ハトフ心ナリトフト云フモサルト同シトヒサルナリ
遯ハ遁ノ字ノ異ノ作ナリオナシ字ナレハノカルヽナリ
サレハコノ兩字ハトヒサリノカルヽナリコレハ周易ノ

卦名ナリ卦ト云フハ八卦ノタクヒナリ八卦ニハスミシ
ヒキクルヤウニミタカヒテ八方ツツカサトリテ吉凶ノ
網テコレニツキテミユルカコトク周易ノ卦類ヒロクシテ
ソノ卦ニイカナル義アリトサタメシテルニツキテウラ
トモアルニヤソノ卦中ニ飛遁ノ卦ト云フ卦アリ又ハ
肥遁トモ云ヘリ思玄賦ニ上九ト云ヘルコノ卦ノコトナリ
注云上九ニ曰飛遯ト無不利又遁而能飛遁
卦艮下乾上上九ノ爻肥遁最在卦上居無位
之地不為物所累矰繳所不及遁之最美故曰

隨長之時ハ而擾如此ト云ヘリ此ノ肥遁ト訓シ名本伝
アリテモノニアナツラレス、ワツラハサレス、カタチナリ
サレハ世ツノカレテ、ミツカナル勝地ヲシメテ、井名ハ世事ニ
サニタケラレス、ワツラヒニカヽラス、コノ江ヘニ肥遁ト云フハ
ヨキ所ヘトヒサルト云ナリ
一帝師名儒者ノ五更ハ閒ト云フハアカツキーシトフ歟
後漢書注云五更老人也知五行更代之事三老知
知天地人之事ト云ヘリ五行トハ木火土金水ヲ云フ万物ニ
カタトレワ四季ヲ土用ヲハシメテ五方五音五色五味

五藏五神等ミナ五行ヲハナレス　更代トハ次ナルヽ
トヱフコトニヤ、五行ノウツリカハルニツケテ變化
サタマラス、カヤウノミチヲシヽルモノニシ、其ノ子細ヲ
タツヌ給フ心歟

一　將來トハユクサキ歟
ユクサキシノ將來トヱフコトハ勿論也、但シ聊ニキレ又
ハキ事アリ呂向文選ノ注云將來ハ謂自古至今ト云ヘリ
コレシハキトオモフニハスキニシカタシ將來ト云ヘキヤウニ
オホユルナリ、ヨクヽコレシ思ヘハ魏ノ文帝ノ鐘繇ニ与フ書ニ

流聲将来ト云ヘルコトハ二ツトテ釈セリ大方ノ将来ト
云フコトハシノ釈セルニハ非ス魏ノ文帝ノコトハ、ムカシタカラ
トモエタリシ
ハモエタリシ國々ノコトシ、カソヘアケテ今ノ世ニテ
ナシカタリツタヘテタルハト云フヨシニテ将来ニナカス
トハ云ヘリ今ノ世ハ昔人ノ為ニハ将来ニアタルユヘニ
自古至今トハ釈セルナリ
一 造營トモ 營作トモ云フハツクリイトナム釈
ツクリイトナムモ義ハタカフニヤ但シ文選ノ七
命ニ楚ノ陽ニ翻ハ歐冶所營ト云ヘリサレハ造作トイフ

張銑

トモニツクル心ナルベシ 造作ト同釈

一施行ト云フハ ホトコシ オコナフ釈

左ニ白人等ニ モノヲトラスルハ、ホトコス義。施行トヨム

下知状ノ施行ノ状ト云フハ字ハ同シケレトモ心ハカハル也

施ノ字ヲシハ オコナフトモヨム サレハ施行ハオコナヒオコナフ

ナリ 文選ニ何施与臻此乎ト云リ 鈔曰施ハ行セト云

一後昆ト云フ昆ハ何ノ心ソ

張銑カ曰後昆ハ後嗣也ト釈セリ 昆ハツキト云フ心ナルベシ

一舊貫ト云フハ心如何

作ト

鄭玄カ曰昔ハ人事也因ハ舊事ニ則テ可ナリ何ソ必シモ改
作ト云事アルヘキコトセ

一 有截トハイカナル義ソ
詩ニ海外有截トアリト云ヘリ截ハ整斉ナリト釈セリ

一 景福トハイカナル福ソ
儀礼ニ介ニ其景福ト云ヘル注ニ介景皆大也ト釈シ
タリサレハ景福ハ大福ナリ

一 都盧ト云フハ如何
二ツヤウアリ一ニハスヘテト云フコトハ都合ノ義也都盧

何千人ナトト云フ是也二ニハテラツヽキノ舞トヨム タカキ
サホニノホル今世ニ行ニノホリト云フモノ也都盧園ト
云フタニノ人ヨタ タカキ木ニノホルコト、テラツヽキノ
如シコノエ一ニカタ云フナリ

一

一不敵ト云フハカタキナクストイフ義也何ノ
敵字ハヒトヽトヨム 一不敵ト云フハヒトヽキモノアラスト
云フナリ、アナツリニシキ一ワ布政庭風流未央歓
崑崙ト云フモヒトヽカラスト云也崑ハ崑崙山、崙ハカノ
山ノ峯ノ名也崙風其崙ト名ツクトワアハセテ崑崙ト云フノ

ヤニノ北角ニ見エタリ十洲記ニ

消息

一 消息ト云フ二字ソノ心如何

文選李善

文選オ十二善注云消者言往也事既往故消去
之息言来使無所求故曰息也ト云ヘルハ消息ト
往来同心ナリ或ハ識者ノ説ニイキシケストイフコトナリト
釈セルハソノ本説オホツカナシ使シモテノアチコチ
チカヒニ云ヒヤルコト往来ニシハ往来ノ心ニテ消息
トモ云フ釈 消息ノ二字シハ アリサトヨム アリサニシノ
カキタルフミノ名釈トモオホユ

一覬覦トハウカヽフ心ゾ
ウカヽフナリ但シウカヽフトヨム字アマタアレドモ此レハ
タヽウカヽフ心ニハアラヌゾ覬シハ幸ト釈シ覦シハ欲スル也
トテ一ツ有所待ノ心アリテウカヽフ心ナリ御辞也シ
ウカヽフナト云フニハコエタル事ゾオモフ心ナトノ
アルシハ覬覦ノ心アリト申ニヤ

殿宸ト云ハ殿

一殿宸ト云フハ殿ハトノト云フ心ゾ
宸殿ノ殿ニハ非ス右ノヰタリノカハヒルナリノ宮殿ノ殿ハ
ハ足トツクル殿宸ノ殿ハ足ーツクル殿宸ハ勝劣ノ義也

殿ノ音義ニハ上功ノ臼殿ト下功ノ臼殿トト云ヘリ
殿ハシトリ殿ハニサルニコソ馬融カ曰殿ハ在軍後ニ
云ヘリ
者也云々

一匪石ノ二ト、云フハ如何
毛詩ニ云我カ心匪石不可転我カ心匪席不
可巻トモ云リ。オモヒサタメテシ事ハ石ナトノ様ニ
ヤウニウツリカハルコトアルマシキト也公何可転ト江
朝綱カカケルハコレモ枇杷大臣職ヲ辞スル勅答ニ朕カ
心匪石ニ公何可転ト江朝綱カカケルコトナリ

一、周章トニフコトハ心如何ト
王逸カ曰周章ハ猶コトニ周流セトニフ徃来スルナリ人ノ
コハテタルシリハアチコチアミフミモ、サタメスハニリ
ニハルコトニヤ、但屈原ト雲中君ノ歌ニ聊翺遊兮
周章スト云ヘルハ遊戯シテアチコチユキメクルセハアハテ
ニトフニアラス、雲中君ト云フハ神ノ遊戯シタミフ
シ体イル、コトヘ、アハツルニハアラス、急ナリタイコトハ
遠ツミ色アリ、サレタキモアルシ、多クナハ遊戯シタミフ
急ヒ逃ナリ、氣色也ヒトヘニ心急ニ非ス タチアリタサハ

浅轢ス

浅フニモアリサハクニモアヘシタヽシノ思ヒナラハヽハ
サハ吻ノ心ニツキタリ悶悙トモカク悵覘モアハツルナリ
一 人ヲ浅轢ストハウチハル釈
後漢書ノ注ニ浅轢シ欺蔑也ト云ヘリ冊牟
サイカヒロニスルニコソ、サホトノ事ニハイハサル釈轢ハ
モニル・心ニヤイカサマニモシタヤカナルすカタカル〈ニ〉
一 地忍ツタヽ ニヽノフトヨム義ヨミ釈不ト何ノ
地字ヲハ佃ヒト釈セリ [redacted] 是故ニタヽ ニヽノフトハ
ヨム別ノ歪曲十キ釈

一、同然トハイカナル心ゾ

同然シハ~~イカナル心ゾ~~ヒキアハセテ、イナフトヨム。同シハ
不受ノ義ナリ。同言トカキテハ、イナヒ申ストヨム。同
ヒニトヨム。ヒニハ和合セヌ心。和合セヌハ不受ノ心アリ
ヒニモイナブモ心ハカヨヘリ。誰敢ヘテ同然センナト
云フハ、タレカハ不受セント云フナルヘシ

トハノホル
一、登用トハ、ノホル心歟

登用ハアケモチフルナリ。蔵書云、唯賢是登
又ハ登庸トモカク。文選呂向注云、庸ハ用也ト言

以テ

二ノ意アリ

一 ムヘン拖ヲ愛ニ開アケモナフ

一 按摩ト云フハイカナル心ゾ

コレニ二ノ意アリ一ニハシメサスル心氣ノアカルシサ

スリタタミナトスニハカスルトヨム腫物等ノカ

スルハ、ニヽナフカ如シニモ、ハシ名ル上ヘナトシ甚シハ

サスル心モアルヘケレトモ別事ナリ典薬寮ニ

按摩師ト云フモノシシカレタリ是ハ物ヲサスルモノニヤ

一 總維ノ崇班ナトト云フ班ハ心如何ニクタナルヤ歟

崇ハタカキナリ、タツトフ心モアリ班ハツイテナリ

班

位次次ノ心オナシ班ニハ多ノ事ニ見ト崇班ヌノ心ニ
一正直トハ心ノスクナル釈
ソノ心ナリ但シ花傳ニハ恤民為徳正直為正
正曲為直正人ノ参和為仁如是則神
聴之分福降之ト申タリ。ソノ心ノスクナルヲ
正トハイヒ、人ノ一カレハシ、ナシスシ直ト云フト釈シタルナリ
コレハ人ノ人ニサレハ大事ニヤ
一已上ハスヂニカニトヱフ釈文以上トモカクノ釈ハ何
スナリニカニトヱフ心地ニテ已上トカンジモ義タカフコトノ

往

人ハ六ハシ、クサモカクメリ　八尺以上ト　カクシノ正ナトス
以往カキテ、シチツカタトヨム。コレヨリ東ヲモ西ヲモ
西ニシハ　以八尺以陏ス西ト云フ。仝ニタ以往ソ已往トカキ
以東ヲ已東トカケルハナシ。以上ト云フモ以東等ノ準ナリ
毛詩ノ注ニモ六尺以上ヲ馬ト云ヒ五尺以上ヲ駒ト云フ
漢家ステニコレヲ用フ。和朝ナンソカレニソムカン
今ニ五尺以上ト云フハ実ニ五尺以下ヲ数カヘ多ハ
多キカタヲカミトシ、スクナキハ、スクナキ、カスノ
ハシメヲ以上トシテ、六尺以上五尺以起トハ云ヘルナルヘシ

チナル御

一有道ト云フハ言ニ十アル言ヨ釈シ今ト云フハ鍛錬ノ
匠業ノミチ〳〵モコモル釈
明王ハクサカリノコトシモステタニハスヤウシ白カタ
御メクミニハ、カチ夷匠ニテモ命〳〵ノミチチシステ
給フノミニトキニヤ、コレハ大方ノコトハリセ仍ミ礼記ノ注ニ
道ハ謂ニ仁義シヲセト云一リ公子トハ仁義シシヨナハル謹
シノミノイサリシ御世トモ云ヘキニヤ、
一ヨハケナル物シアイヘイト云フハシジノ義ヲ何
楊雄カ羽猟ノ賦ニ使三エミ阮陪ニ陋小ナリト

ナシトヨム、セハキ

云フモシコレ陁僻シイヒユカメテアイヘイト云
ナシタルニヤサミスト云フ字ソハ常ニ褊カタクコレソハ
スクナシ…ミム、セハキモスクナキモ同シ心歟モノ
ケノモナク、イフコトハニハ、サミスト云フスクナキヨシ
ナリ礼記ノ注陁ハ備倭陋セトハ西京賦ニ云フ惨ナムト云ヘ
則鮮於歡勞スルトイヘ則褊於悪ト云ヘリ
一偏頗ト云フハ偏ハヒトヘニト云ヘハ心ヤスシ頗ハスコフル
釈心シエス如何
頗ノ字ソハカタフクトヨム文選ノ第八ニ行頗僻ト云ヘル

シハ注ニ頻ハ傾ナリ辭ハ鄙ナリトモイヘリ心ヨセニ
思テ一方ハカタフキタルヲ偏頗トハイフナリ

一 答酬トハイカナル義ソ

答客問酬ト客ノ報主ニ問酬トイヘルコトナリ
智論ノ中ニモ答酬ノ旨趣辭理超絶セリトイヘリ
イヘノアルシノマラフトノ返事スルヲハ酬トイフマラフトノ
イヘノアルシニコタフルヲハ酬スト云フナルヘシ又ハ酒ニ
酬客觸主人主答客問酬客趣主人ノ問酬スル
アルコトナリ

一、雜雜トハミダレカハシクミニシハル訳

心ハツカハスサキ云ツヘシ但毛詩ニ雜来就之

トヨメリサレハマツニアリ云ハル訳アツマルユヘニ

ミダリカハシキニヤ

一、落索トモ云フハシチダルシノモトムル心訳

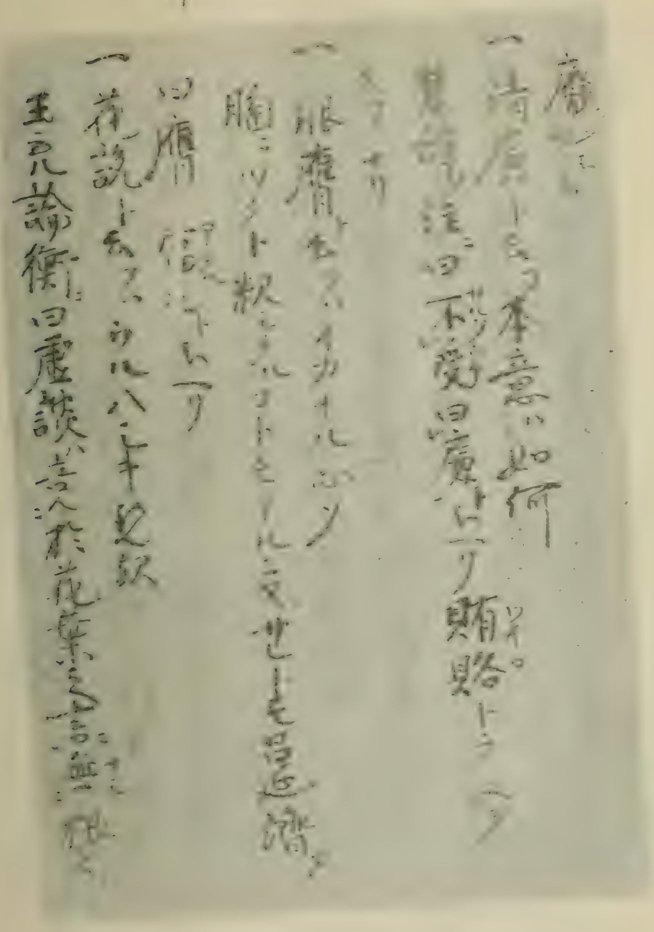
落ハオツルナリ索ハ盡トモ釈セリ鄭玄カ礼記注ニ

曰索ハ散也トアサレハ落索ハオチチルモイトモナリ

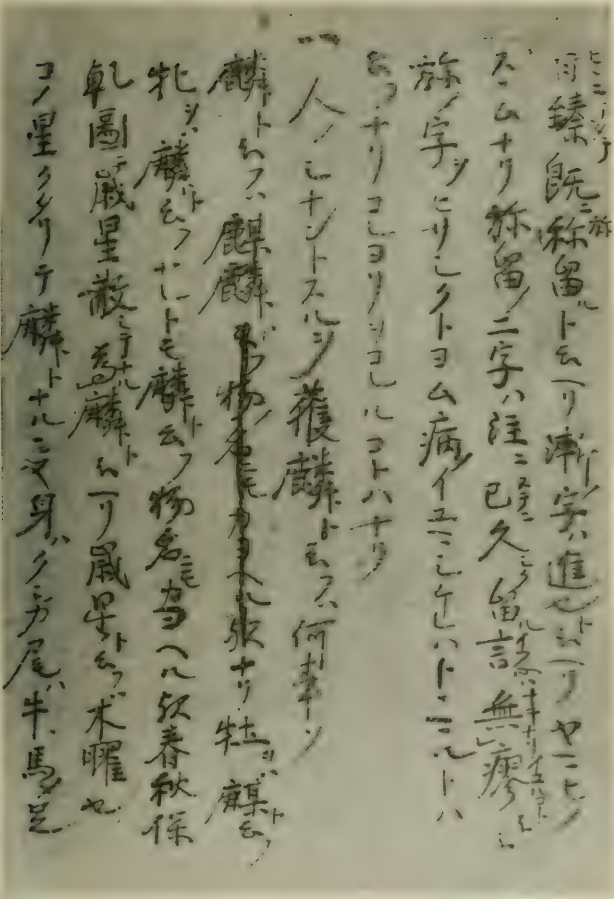
一、蕪蕪トモ云フハアレテコケノオヒタル訳

アレスタルナリ蕪ハアレタルトヨム呂向カ曰

當ルト


膺ノ事
一 清原ト云フ本意ハ如何
貴神注ニ曰 [illegible] 賄賂トモ云ヘ
リ
一 膺ト云ハイカナル心ゾ
胸ニ [illegible]
曰膺 [illegible]
一 [illegible]
王充論衡ニ曰 [illegible]

深トモ一リ或ハ發言ノ不能成功者謂之ヲ花読ニ
叙セズシテコトシノ花読トハ云ヘキニコソ
一懈怠トハ解體トカケルトソノ別如何
字ハカハリ乞トモ同ジ事ナリ天平四年六月廿
二日ノ格ニ恐ハ悠々ノ後進因テ此ニ解體云リ懈
怠ハモノクサキナリ。モノヽ手キハ四支五躰モタユル
ヤウニテスクヨカナラスコレニヨリテ解躰トモ書ク
一病ノ危急ナルシノ大漸ト云ハ如何
尚書ノ顧命ニ曰王曰嗚呼ノ疾大漸惟危病ニ



何臻既ニ称留ト云ヘリ。術ノ宗ハ進セト云ヘリヤ。ニヒノ
スヘムナリ。称留ノ二字ハ注ニ已久留詰無瘳ト
旅ノ字ヲニサシクトヨム。病イエニシケレハトニ云ルトハ
云フナリ。コレヨリノシコレルコトハナリ
一 人ノニシナントスルシノ獲麟ト云フハ何オ年ノ
麟ト云フハ麒麟ト云フ物ノ名也。有角ナル獣ナリ。牡ヲハ麒ト云フ
牝ヲハ麟ト云フナレトモ麟ト云フ物名ニモ在当ヘル叔春秋孫
乾圖ニテ歳星散シテ為ル麟ト云ヘリ。歳星ト云フハ木曜也。
コノ星クダリテ麟トナル。ニ又身ハ尾ハ牛、馬ノ足

一角アリ。ツノサキニ肉アリ。コノユヘニ角アレトモ
ニイシワタコトナシ。虫ヲフミコロサス。コノユヘニ仁
獣トモイフ。杜預カ曰、麟ハ仁獣ナリ。聖王ノ嘉瑞也
トモイヘリ。ヒジリノ御門ヨニ出テ給フトキコノケタ
モノアルヘキナリ。シカルニ魯ノ哀公十四年ニ西ニカリシテ
紫麟ヲエタリ。周ノ世モスエノ世ニ賢王ナシ。サセル
麟ノミユヘキ世ニモアラヌニカヽルコトアルハ、カヘリ
世ノシトロヘ又ハ遠ク運ノイタリナレハ、孔子コノキシ
ナケキイタミ給フ。春秋ハ孔子ノシルシ給ヘル

トモ

アニサク、コノ麟ヲエタルニテノコトソニルニテ、ホト
ナク、ウセ給ヒニケリ、孔子ノ御年七十一ニテノ杜預絶
筆シテ於獲麟ト云一句ニトヽメルハコレナリコレヨリ
家後ニノソムシハ獲麟ト云フナク獲ハエタリト云フ
ナリ魯ノ哀公ノ麟ヲエタリシコトナリ
一巍々堂々トイフハイカナルヘソ
巍々ハヨソヨソナリトヨム、ユタカナルヘナリ堂々ハ
蕩々トモカタヨソヽトハ盤ノ字ヲヨム、座徳アルテイノ
事ナリ曲礼ニ云行容導蕩ノ貌盤畢着ハ貌

戯ニヨリトムヘリ堂々ハ美白威白也曽子曰堂々乎
張也良慶士カ云堂々ハ出衆皃ナリ文選曰巍々
蕩々無得其間張銑曰言帝徳之廣遠也
論語云大哉堯之為君蕩々乎民無能名
焉巍々乎其有成功也トムヘリ
一朝野トムハアシタノ野歟
朝ハアシタニ非ス日本記ニハ朝ノ一字ヲ御門トヨメリ
朝堂ニアテタリ朝宗朝堂ナトノ朝ハアツマルノ
心ナルヘシ野トムハ、ノニハアラスイヤシトヨム允鄙ノ義也

堂々ハ守学

イヤシキモノシハ野人ト云フ、野ニスムニハアラズ。孔叢
國ガ云、野ハ循ニ不達ヲ云、ソタナキモノナリ。又野人ト
云ナニ別ノ子細アリ。眞言教ノ中ニ天等守護衛天八方西南方
眷屬シアカセルニハ此鬼王ハ摩睺羅等及ヒ野人
食人者ヲ為ニ族トスト云ヘリ。コレシ釈スルニ西方ニ又野人
其形以大ナリト云ヘリ。西方トハ天竺ノ事也。鬼ノタクヒニモ
野人ハアルニコソ。コノ野ハイヤシキ心ニハアラズ、人ノ心ナリ
一 草創トハハジメテ造作スルヲ云フ歟
貞觀政要ニ、天地草昧、群雄競起、攻破乃降

戰ヒ勝ハ乃チ魁ツ由テ批ニ言フニ之ヲ草創ヲ為スレ難ト云ヘリ
是ハニタダ堂ヲモツクラス造作モセス帝王ノモト凡人ニテ
カタスミニハオハスルカ、ニハカニナワイテ、ヨシトリテ
國王トナリ給フソ云ヘリ漢朝ニハウチカチニシテ世ツトル
ユヘニタヽカヒカツトハ云ヘリ世ツトリハシムルシヨコニハ
草創トモ云フニヤ草昧(サウマイ)トモ云フコトハシモ 昧(シ字ニハ云)草トヨム周
易ニ見エタリ草創ノ一字トモニ、ハシムトヨム十リ、造作ニ
カキラス
一ブロクシキト云フコトハ、心与何
無六識

眼耳鼻舌身意ノ六識ノ中ニ第六識ハ意識ナリ
性念ナキモノハ意識カアタルカ如ニ第六識ナキニ
オナシケレハ無六識トイフ欤又モノモキヽシラスハミ
シラス功サキシラス ナスシラス ハツシアニコトモ
サクリワカス ヨロツニ無分別ナレハ眼ヨリ意ニイタルマテ一ノ
識ハミナナキカ如クナレハ無六識トイフ欤
一 傍若無人トイフハ今案欤所見アル欤
史記曰荊軻与高漸離歌於市已而相泣
傍若無人トイヘリ フルキコトハナリ ヨミハ無ノ字ヤ

秦ノ始皇ソタハカリテ、ウタノトテ、コレラツリテヒ、
サリシトキノコトナリ
一言語トハトモニコトハノ云歟
ツチニハ、モノイフコトハナリ 能ヲ言ニ 千時言ヒ言
千時語ヒ語 トモ云ハル注ニ釈トモ云直言日言ト論難ソ
日語トモ云ヘリ スナツサルコトハヲハ言トイヒ、モノ論シ
ソハ語トモ云ヘキニヤ、コレハ、ツネノコト千ニハタカヒヌヘシ
一歎状トモ云ハ何ヒノ云ノ
一サミソハ歎状トカクヘシ 状ヲハイタムトヨムナリヤ

略シテ

中ス状ノイフナルヘシ又款ニハヨム字アリ歎トハカク
コレシハニコト・ヨム字ノツクリ混乱スル歟歎トカキテハ
タメクトヨム歟アトカキテハトシタメクトヨムナリ
ミタレアヒヌヘシ
一 疎簡(カン)トイフハシロソタナルフタ歟
簡ノ字モシロソタトヨム両字トモニオナシヨミナリ
フタトモヨム、フタハ本縢ハフミタナリ、ソレシフンタト
ヨム風ニテノフタトイフハ世俗ノコトハナリ
一 纐(テチ)纈(テウ)トイフハ何ノ心ノ

トモカク

米穀ノ乏キ時アタヒシニテコレヲカフ、アタヒノ
タカキトキハ、アタヒシシトシテ、コレヲウル糶ハカフル
糴（テキ）ノウルナリ糶ハヒサイトモヨム、モノヲウリアニニタル
シハ贏（エイ）ト云フノイフサトヨム、コレシトウテ、アキノ利トス
貪（トン）冒（ボウ）ト云フコトアリ、ウリアケナリ、ヒサイトハ鬻（ヒサ）直（ナク）ノ
字販（ハン）字等ニテモチフ、ヒサイ女ト云フニ販女トカク
モノヲウル女ナリ、ヒサキメト云フヘキヲヒサイメト
云イナセリ
一壺（コ）鬻（ヒサ）トハイカナル心ゾ

呂向文選注曰壼ハ内阜ノ室トス一ヲ云ハ暴ノ
クシラナリ尒雅曰宮中巷謂之壼ト云馬通
平イノ事ニ叙

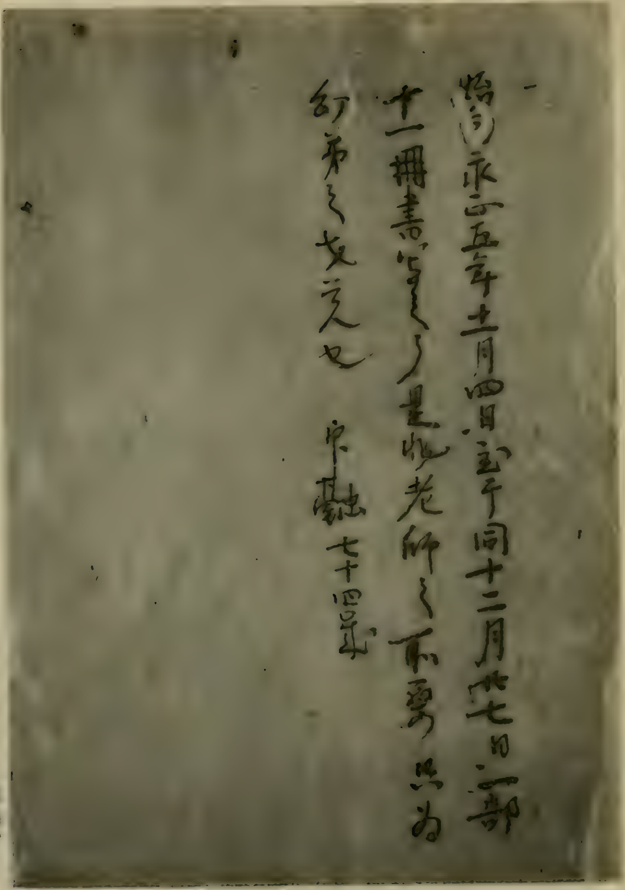
絶

絶（セチ）綸（リン）事　セチノ字不可連声此字ニ可読之
連声ハセツナリ字ハセチ一ナリ

絶ニ　式支切　廣韻曰[illegible]

絶（セツ）　情雪切[illegible]

絶　[illegible]


始自永正五年十一月四日至于同十二月廿七日一部
十一冊書写之了是依老師之所要為
紹弟之支證也　宗[illegible]　七十四歳

塵袋解題

本書一部十一卷は何人の著なるを詳かにせず。天文年間に編せる塵添壒嚢鈔はこの書より二百一條をとり、壒嚢鈔五百三十六條に添加して廿卷の書となしたるものにして、塵袋てふ名は實に塵添壒嚢鈔によりて夙に世に知られたるものなり。然れども、その全書は殆ど世間に傳はらず、如何なる書なるか得て知るべからざりしに、天保の頃薩摩の藩士山田淸安之を高野山に得てより、はじめて世にその全本の存するを知ることを得たるものなり。

山田淸安の得たりし書は永正五年に高野山の住侶印融法印の手寫せしものなるが名古屋の人神谷克楨之を借りて天保十五年に影寫せしを以て漸く世に知らるるに至りしものとす。かくて後江戸の黑川春村之をきゝて信濃須坂の藩主堀侯を介して神谷氏の本を借り之を寫したりしもの黑川家に存したりしが、恐らくは大正十二年の震火に遭ひしならむか。さてその時堀侯の寫されし本、後、小中村淸矩博士の藏に歸したりしが南葵文庫に存せり。

印融手寫の永正の原本は山田淸安の歿後所在明かならずとして學者の嘆の種となりたりしが、今東京帝室博物館に尙藏せらるゝは斯學の爲大なる幸なりといふべし。この本如何にして博物館の御藏となりしか詳かなることを知らず。各卷に「淺草文庫」の印あり、又第一卷の表紙に「新献　六」の押紙あれば、一旦幕府の

庫中にありしものと思はる。次に「石谷藏書」「町田久成獻納之章」の印あるを見れば、これが出でて町田久成（號石谷）の藏書となりしを獻納せしものと知られたり。この本は楮紙袋綴にして縦七寸六分 横五寸八分にして十一册あり。各卷に、表紙と見ゆるもの二様あり。内なるは外題を（たとへば卷一にては）

塵袋一 天象神祇諸國内裏 十一卷

と直ちに墨書し、なほ左の下部に「无量光院」と墨書せるを見る。これは本來の表紙と見ゆ。而してその表紙の内面最末の行に又「塵袋第一天象神祇諸國内裏」と記せり。これ原本の目次の最初をなすものにして本文と同じ筆蹟なり。外なるは、外題を紙片に「塵袋第一」の如く書きたるにて押し、なほ、下に西院敎王院と墨書せり。この墨は卷五までに存するが、卷一、卷二には上にある貼紙の爲に一部分見えず。その外各卷、「暑共十一卷」と記せる紙片を左上に貼したり。この外の表紙は後に加へしものと見ゆ。なほその卷一なる外表紙の中央に「先德印融法印自筆也」と記せり。さて卷末にはそれぞれ印融の識語等あり。その卷一の末なるは

永正五年戊辰十一月九日書寫了雖非老師
之詮用只爲幼弟之才覺也
印融 七十四歲
傳与玄昌

とあり、第二卷の末には

永正五年戊辰十一月十五日書寫了

印融老身七十四歲

傳与玄昌

とあり。第三卷の末には

永正五年戊辰十一月廿一日書寫了

無量光院先德印融御自筆

傳与玄昌

第四卷の末には

永正五年十一月廿五日書寫了

印融七十四歲

第五卷の末には

永正五年戊辰十一月廿九日書寫了

第六卷の末には

永正五年戊辰十二月五日書寫了

第七卷の末には

永正五年十二月十日書寫了印融七十四歳

第八巻の末には

永正五年十二月十四日寫了印　七十四歳

第九巻の末には

永正五年極月十七日書寫了

第十巻の末には

永正五年極月廿四日書寫了　印融七十四歳

第十一巻の末には

始自永正五年十一月四日至于同十二月廿七日一部十一册書寫之了是非老師之所要只爲幼弟之才覺也

印融七十四歳

とあり。これらのうち、年号及び印融の署名以上の部分は本文と同筆と見ゆれど、その他の部分は別の一筆と見えたり。而してそれは第三巻の末に「無量光院先德印融御自筆」と記せる人の筆とおぼしく、それと、各巻の内の表紙の外題幷に无量光院の文字とは同じ筆蹟なり。かくて考ふれば、これは如何にもここにいふ如く、印融自筆の本と見らるるものにして、紙質筆蹟その他に就いても疑ふべからざるものの如し。かくて印融が自ら識せる如く、永正五年十一月四日より十二月廿七日までにわたりて之を書寫せるもの即ちこの書な

りといふべし。かくてその印融自筆の本に、内表紙の外題等を書きたる本に更に後に、表紙を加へたりと見ゆ。その外の表紙は何時頃加へしか明かならず。第一巻の末の外表紙の内面には

文化七年庚午九月令修補之
爲令法久住學衆不退
院務乘海誌

とありてこの時に修補せしことは明かなれど、その文字と「先德印融法印自筆也」とかける文字とは同じからねば、これはその外表紙を加へたる後に修補せしものならむ。さてその卷一の外表紙の内面右上部に押紙ありて次の文を載す。

淸安云壒囊抄ト云モノアルニ後ニ塵袋ヲ添テ同類合一シ□ルヲ塵添ーー抄ト云塵添ハ塵袋ヲ添ト云ヿノミ然ト云ヘモ眞字ヲ假字ニ假字ヲ眞字ニ改ルノ類少カラサルニツケテ風土記等ノ文モサルサカシラシタルモノ此彼ミユレハ此原本モテ見ルニシクヿナカルヘシ

とあり。なほその左に博物館員黑川眞道氏の記せる紙片を押せり。その文

此の付箋に淸安とあるは薩藩山田一郎左衛門淸安にして高野山無量光院より本書を獲たる人なり
黑川眞道識

とあり。これらにより、この本、確かにもと山田淸安の藏本たりしことを知りうべきなり。

かくて、この原本と南葵文庫本とを比べ見るに、その間に往々誤脱あり。たとへば、巻一「北辰北極ト云フハ別ノ星歟同星歟」の條の文中

　就中ニ北辰ト云フ

といふを「北極」と誤り、又

　尊星王

といふを「尊王」とせるが如きあり。又振假名をば多く省けるあり。さて又南葵文庫本の外表紙には「無量光院乘海」の文字ある押紙のありしさまに一々摸寫せるが、それには一も「西院教王院」の文字を見ず。この出入は如何なる理由なるか。この無量光院といふは、もと印融の住みし所にして、そこにこの原本の傳へられたりしものたることは信ぜられて可なりといふべく、その乘海といふは、この巻一の末に署名せし人にして、文化七年に無量光院に住して、これを修補せし人なれば、それの院傳本のこの書に、その名を署し、この押紙をなすことおのづからあるべき事にして疑ふべからざるなり。然るに、今の博物館本に、これなくして西院教王院の文字あるは如何。かくて、よく意を注ぎて博物館本の外表紙を熟視するに、いづれも、この押紙を後に剝ぎ去りしものならむと思はるる痕跡を見る。而して、第六にありてはその文字の痕跡見え、第十にありては「無量光」の三字（光は上半のみ）見え、第十一にありては「無量」の二字（量は上半のみ）見えたり。さればこの押紙山田清安の藏したりし時に存せしならむを後に何人か削りしものといはざるべか

らず。しかも西院敎王院の文字も新しきものとは見えぬに、南葵文庫本にその存せぬ理由は未だ之を知るに由なし。

本書出現の由來又價値等につきては、この本に附せる神谷氏、黑川氏等の序跋に詳かなるを以て往きて見るべし、これらの序跋はもとより印融の原本には存せぬものにして、南葵文庫本に加へたるものなり。今それらの文を取捨して別に文を綴らむよりは、それらの文につきて直接に知られむことの一層確かなるべければなり。

本書著者明ならず。著作年代も詳かならずといへども、文永弘安の頃の書なるべしと森村の序にいへるは首肯すべき說なり。今、本書の體裁を見るに、既に塵添壒囊鈔にて知らるる如く、雜多の事項につきて解釋を加へたる一種の類書なり。この故に大方の人にとりては見聞を博くするの利益あり。はた消閑の讀物としては趣味饒かなるものなり。古風土記の逸文等の多く引用せられたるは、本書をして學者坐右必備の書たらしむるものなり。加之、これを史料としても一種の價値あり、例へば卷八太刀契の條の如きは史家の看過すべからざる事實を記せり。然らぬものといへども鎌倉時代の世相の一斑を察するを得べきなり。又之を國語學の方面より見れば、卷十にある「アナカシコ」の說明の如きは下學集の同じ語の說明に比して、その正しきこと霄壤の差あるのみならず、實に、當時の學問の程度、室町期の暗黑時代に比して數等の上に位せることを證せるものとす。又「ナニセロ、カセロ」の如きの東國方言を載せたるなど、この學の研究者にとりて極め

て貴重なる資料なりとす。

この書すべて六百廿條、そのうち二百一條は塵添によりて知られたりといへども、他の四百餘條は本書によらでは知られざるものなることを思ふ時は、本書の價値はいはずして知らるべし。況んや塵添に引ける二百一條といへども、往々誤脫ありて、本書につきてはじめて明なるもの少からざるに於いてをや。しかも、印融のこの本も亦、原著より二百年以上を經過したるものなれば、また多少の誤なきにあらず。されど今日にてはこれ以上を知ることは不可能なりといふべく、それらの缺陷は又逆に塵添壒囊鈔によりて訂すべきものなりとす。

塵添壒囊鈔の序には塵袋十卷といへり。この異同は如何にといふに、黒川春村の序にもいへる如く、塵添には他の十卷いづれも引けれど、卷八のみ一條も引けるところなければ、塵添の編者はその卷八の缺けたる本を見たるものなるべし。

本書は從來寫傳の本のみにてし未だ曾て刊行せられず、學者たゞその名を傳へて容易に見るを得ざりしなり。余はこの學界の缺陷を嘆き、大正六年八月に珍書同好會にすゝめて謄寫版に附して會員に頒たしめ、纔に一部の學者の渴を醫したりき。然れども、その頒つ所僅かにして百部に滿たず、その底本とする所は南葵文庫の復寫本にして原本を多少參照せしに止まりき。今や帝室博物館の恩寵を得て、印融の原本を寫眞術にて複製したり。その大さの少きは遺憾なれどもその確かさは言を費すを要せず。これより後學者これを利用

して學術界に貢献すること多大なるべし。
今讀者の便宜の爲に本書と塵添壒囊鈔との比較の表を次に載せて參考に供す。

昭和十年一月七日　　山田孝雄識

塵袋と塵添壒嚢抄との比較表

塵袋中の事項		收めたる塵添壒嚢抄の卷數及事項數
卷一	二十三項	卷一2、卷三1、卷四8、卷十12、
卷二	十六項	卷九8、卷十8、
卷三	二十三項	卷八12卷九11、
卷四	十八項	卷八18、
第五	九項	卷二9、
第六	十九項	卷一12卷二7、
第七	十九項	卷一1、卷十一18、
卷九	二十六項	卷二13、卷三13、
卷十	二十九項	卷一8、卷二21、
卷十一	十九項	卷一19、
計	二百一項	卷一42、卷二50、卷三14、卷四8、卷八30、卷九19、卷十20、卷十一18、　計二百一項

上の如くなるによりて次にそれらの卷々の比較表を示す。塵袋の事項の入らぬ卷の分は省きて載せず。

塵添壒囊鈔巻一	壒囊鈔巻一	塵袋
一、五節供付云々	同上	
二、七草付云々	同上	
三、雛物	同上	
四、端午付云々	同上	
五、五月子事付云々	同上	
六、以恩報怨付云々	同上	
七、以主命截親頭云事付云々	同上	
八、沛艾事	同上	
九、悲愛事付云々	同上	
一〇、腹黒事付云々	同上	
一一、忙々事	同上	
一二、瓶	同上	
一三、鐵炮	同上	
一四、縮	同上	
一五、氈毲	同上	
一六、籾		塵袋六
一七、宣		同上
一八、奏		同上
一九、平生		同上
二〇、百廿年壽命事		同上
二一、成長		同上
二二、片才		同上
二三、言語之異		同上
二四、淸貧		同上
二五、屬文		同上
二六、螢聚		同上
二七、百發百中		同上
二八、何口		塵袋七
二九、去々年		塵袋一
三〇、上中下		塵袋一
三一、安堵		塵袋十一
三二、靁同		同上
三三、管見		同上
三四、從容		同上
三五、判定		同上
三六、果葉		同上
三七、龜鏡		同上

三八、拜除　同上
三九、緇素　同上
四〇　將來　同上
四一、周章　同上
四二、間然　同上
四三、正直　同上
四四、偏頗　同上
四五、落索　同上
四六、淸廉　同上
四七、花說　同上
四八　譯意　同上
四九、巍々堂々　同上
五〇、雪耻　同上
五一、進退谷　同上
五二、白地　同上
五三、宿勿　同上
五四　叓計　同上
五五、叓補　同上
五六、忍　同上
五七、色弗　同上

卷二

一、讀數　塵袋十
二、調美酤物　同上
三、敢　同上
四、候　同上
五、殆　同上
六、省　同上
七、弁　同上
八、御　同上
九、隈　同上
一〇、並々　同上
一一、都々　同上
一二、德々志　同上
一三、佐波佐波志　同上
一四、比多布留　同上
一五、於古都里　同上
一六、加也須幾　同上

一七、那賣氣		同上
一八、中央		同上
一九、多和言		同上
二〇、良久		同上
二一、悉		同上
二二、火邊乾水邊濕		塵袋九
二三、往不咎		同上
二四、狐借虎威		同上
二五、懷石入淵事		同上
二六、美女惡女敵		同上
二七、攝地無餘		同上
二八、無信鑰		同上
二九、非蛙		同上
三〇、魚水契		同上
三一、死人喚名蘇		同上
三二、雨顯本性		同上
三三、同穴契		同上
三四、周忌		同上
三五、髪筆	一六、同上	

三六、潼	一七、同上
三七、鰲頭付云〻	一八、同上
三八、蒻音訓付云〻	一九、同上
三九、蒟醤事	二〇、同上
四〇、形見	二一、同上
四一、眼皮	二二、同上
四二、睚眦	二三、同上
四三、白柏子付云〻	二四、同上
四四、雙陸賭碁事付云〻	二五、同上
四五、碁經字付云〻	二六、同上
四六、露沸付云〻	二七、同上
四七、拒遊云付云〻	二八、同上
四八、兎角付云〻	二九、同上
四九、柑頭不可顧在家付云〻	三〇、同上
五〇、人依名有吉凶付云〻	三一、同上
五一、地頭名付云〻	三二、同上

五二、代與世同異事付云ゝ	三三、同上	
五三、載淵改心云事付云ゝ	三四、同上	
五四、盗人云白波付云ゝ	三五、同上	（塵袋五、有異同）
五五、梁上公事付云ゝ	三六、同上	
五六、水牛		塵袋五
五七、宿直		同上
五八、人丸		同上
五九、賊		同上
六〇、餘黨		同上
六一、土蜘蛛		同上
六二、師資		同上
六三、入室		同上
六四、滑云韃家		同上
六五、兎缺		塵袋六
六六、臍緒以竹刀切		同上
六七、頬		同上
六八、陰		同上
六九、噬臍		同上
七〇、身體		同上
七一、朕		同上
卷三		
一、兩人中不過	三七、同上	
二、紫竹	三八、同上	
三、本末付云ゝ	三九、同上	
四、塩	四〇、同上	
五、擽打	四一、同上	
六、椙霧	四二、同上	
七、羽觴付云ゝ	四三、同上	
八、屠刑付云ゝ	四四、同上	
九、起請付云ゝ	四五、同上	
一〇、起請失付云ゝ	四六、同上	
一一、退座人數付云ゝ	四七、同上	
一二、沙汰付云ゝ	四八、同上	
一三、齷齪	四九、同上	

一四、六親付云々	五〇、同上	
一五、猶子	五一、同上	
一六、小兒翫物字	五二、同上	
一七、雑詞付云々	五三、同上	
一八、欲々云	五四、同上	（塵袋十、大躰同）
一九、販婦付云々	五五、同上	
二〇、給	五六、同上	・
二一、命婦	五七、同上	
二二、知雌雄法付云々	五八、同上	
二三、魚一喉付云々	五九、同上	
二四、狙	六〇、同上	
二五、甘露		塵袋一
二六、粟米		塵袋九
二七、年始賞餅		同上
二八、沙糖		同上
二九、趁		同上
三〇、美物		同上
三一、鈴		同上
三二、椶		同上
三三、美羹		同上
三四、饗		同上
三五、醴酒		同上
三六、味曾		同上
三七、四種		同上
三八、酒名聖人賢人		同上
三九、燧	六一、同上	
四〇、御弓	六二、同上	
四一、鞦	六三、同上	
四二、忌返矢付云々	六四、同上	
四三、幕紋	六五、同上	
四四、野太刀付云々	六六、同上	
四五、刀鞘	六七、同上	
四六、太刀反	六八、同上	
四七、鐵皮付皮	六九、同上	
四八、馬守	七〇、同上	
四九、馬尺	七一、同上	

五〇、鷲 付云ヽ	七二、同上	
五一、鈬具	七三、同上	
五二、襷	七四、同上	
五三、一支具付云ヽ	七五、同上	
五四、修羅	七六、同上	
五五、宰領	七七、同上	
五六、仕丁	七八、同上	
五七、訛云事	七九、同上	
五八、復文	八〇、同上	
五九、志學	八一、同上	
六〇、師來	八二、同上	
六一、節分夜打大豆	八三、同上	
巻四	巻二	
一、於神前再拜付云ヽ	同上	
二、手長足長付云ヽ	同上	（塵袋一、有異同）
三、物忌	同上	
四、祭禮		塵袋一
五、如在		同上
六、一陰一陽		同上
七、和光同塵		同上
八、竈神		同上
九、宇賀神		同上
一〇、四神相應		同上
一一、道祖神		同上
一二、日夢見付云ヽ	四、同上	
一三、御幸行幸付云ヽ	五、同上	
一四、太上天皇付云ヽ	六、同上	（塵袋五、有異同）
一五、攝政關白替付云ヽ	七、同上	（同上）
一六、執柄付云ヽ	八、同上	（同上）
一七、北藤並付云ヽ	九、同上	
一八、官左僞上一切事 右爲本不審付云ヽ	一〇、同上	
一九、車輛數付云ヽ	一一、同上	
二〇、看坊	一二、同上	
二一、叢林騐寮付云ヽ	一三、同上	
二二、上人聖人不同	一四、同上	

二三、表背	一五、同上
二四、道服付云々	一六、同上
二五、俗人着法衣出家現俗形付云々	一七、同上
二六、大魁付云々	一八、同上　（塵袋五、有異同）
二七、鼯鼠才付云々	一九、同上　（塵袋四、有異同）
二八、土狗子	二〇、同上
二九、熟云事付云々	二一、同上
三〇、熟人云事	二二、同上
三一、壽酒云事付云々	二三、同上
三二、造酒事付云々	二四、同上
三三、酒弁茶等間字	二五、同上
三四、回茶回字付云々	二六、同上
三五、一種物	二七、同上
三六、物調云字付云々	二八、同上
三七、外梯	二九、同上
三八、業々數云事	三〇、同上
三九、臈侍云事付云々	三一、同上
四〇、朝榜	三二、同上
四一、四極山云本說付云々	三三、同上
四二、崑崙	三四、同上
四三、率物云字付云々	三五、同上
四四、鰥寡付云々	三六、同上
四五、柴其馬玉字	三七、同上
四六、十字點付云々	三八、同上
卷八	卷五
一、躐八付云々	四三、同上
二、諒闇付云々	四四、同上
三、晏駕付云々	四五、同上
四、三種神器付云々	四六、同上　（塵袋一、有異同）
五、湯津爪櫛付云々	四七、同上
六、占部宿禰付云々	四八、同上
七、急々如律令云事	四九、同上
八、獨鈷付云々	五〇、同上　（塵袋四、有異同）
九、麝香付云々	五一、同上　（同上）
一〇、狸付云々	五二、同上

一一、猫云鳥蒸事付云々	五三、同上	
一二、使云青鳥	五四、同上	
一三、大鵰鳥付云々	五五、同上	
一四、鴟鳥付云々	五六、同上	
一五、百千鳥事付云々	五七、同上	
一六、志長鳥付云々	五八、同上	
一七、鳥鳴東事付云々	五九、同上	
一八、鵔云丹鳥付云々	六〇、同上	
一九、似我似我付云々	六一、同上	
二〇、蠨蛸反斧向隆車云事	六二、同上	
二一、守宮驗事付云々	六三、同上	
二二、鳳		塵袋三
二三、鵠		同上
二四、郭公		同上
二五、商庚		同上
二六、雷鳴		同上
二七、鶏首		同上
二八、鳥鵜		同上
二九、田鼠		同上
三〇、鶏始乳		同上
三一、鳥一双		同上
三二、闘鶏		同上
三三、伯勞鳥		同上
三四、鹿		塵袋四
三五、犀角		同上
三六、鼷鼠		同上
三七、碩鼠		同上
三八、龍蛇		同上
三九、馱		同上
四〇、猿爲馬守		同上
四一、大蛇		同上
四二、蟒蛇		同上
四三、土鴨		同上
四四蟣虱		同上
四五、蜍		同上
四六、胡蝶		同上
四七、蠣草		同上

四八、雀入大水		同上
四九、鯉鱒		同上
五〇、蜏		同上
五一、維婆虫		同上
五二、双紙銘書様	六四、同上	
巻九	巻六	
一、優曇華付云々	同上	
二、閻浮檀金付云々	同上	
三、諫鼓苔深付云々	同上	
四、五噫歌	同上	
五、子推恨付云々	同上	
六、及打因縁付云々	同上	
七、爆竹付云々	同上	
八、齒朶付云々	同上	
九、列居椿付云々	同上	
一〇、火櫻付云々	同上	
一一、躑躅付云々	同上	
一二、馬醉木付云々	同上	
一三、橙	同上	
一四、南天	同上	
一五、錦木付云々	同上	
一六、欵多付云々	同上	(塵袋三 有異同)
一七、鬼醜女草付云々	同上	
一八、牽牛子付云々	同上	
一九、從目生薄付云々	同上	
二〇、水陰草付云々	同上	
二一、惠具	同上	
二二、楊桃		塵袋二
二三、李桃		同上
二四、林檎		同上
二五、檽子		同上
二六、太谷		同上
二七、合歡木		同上
二八、白膠木		同上
二九、木綿		同上
三〇、果蓏		塵袋三

三一、不死樹		同上
三二、返魂		同上
三三、芎藭		同上
三四、藤木與草與云事		同上
三五、女郎花		同上
三六、黄金		同上
三七、人參		同上
三八、蹲鴟		同上
三九、神馬草		同上
四〇、蘭		同上
卷十		
一、恒娥 付云々	二二、同上	
二、十二月異名	二三、同上	
三、四季異名	二四、同上	
四、十二時異名	二五、同上	
五、十干異名	二六、同上	
六、十二支異名 付云々	二七、同上	
七、汥干		塵袋一
八、庚申		同上
九、天文地理		同上
一〇、虹		同上
一一、薄蝕		同上
一二、景影		同上
一三、北辰北極		同上
一四、星霜		同上
一五、旱魃		同上
一六、雩鼓		同上
一七、霖雨		同上
一八、災妖		同上
一九、凶宅		塵袋二
二〇、茅亭		同上
二一、天井		同上
二二、下風		同上
二三、氷室		同上
二四、田園		同上
二五、作毛		同上
二六、葉山		同上

二七、鳩杖 付云々	二八、同上
二八、母衣	二九、同上
二九、啄木云事 付云々	三〇、同上
三〇 消息 付云々	三一、同上
三一、穴賢云事 付云々	三二、同上
三二、同鳥云事 付云々	三三、同上
三三、石用斛 付云々	三四、同上
三四、魚道 付云々	三五、同上
三五、酒ニ遲云事	三六、同上
三六、酒竹葉云事 付云々	三七、同上
三七、猩々	三八、同上
三八、鳥目 付云々	三九、同上
三九、香錢 付云々	四〇、同上
	卷七
四〇、鄒子盆	一、同上
四一、香合 付云々	二、同上
四二、淋汗 付云々	三、同上
四三、豆子楪子 付云々	四、同上
四四、放埒 付云々	五、同上

四五、付驥尾 付云々	六、同上
四六、味村駒 付云々	七、同上
四七、果下 付云々	八、同上
四八、桃林 付云々	九、同上
四九、一疋 付云々	一〇、同上
五〇、伯樂 付云々	一一、同上
五一、五藏六腑 付云々	一二、同上
五二、七種死脈	一三、同上
卷十一	
一、五夢 付云々	同上
二、灸所云文字 付云々	同上
三、警字 付云々	同上
四、施行 付云々	同上
五、濫觴	一八、同上
六、草創 付云々	一九、同上
七、傍若無人 付云々	二〇、同上
八、尾龍 付云々	二一、同上
九、狼藉 付云々	二二、同上

一〇、任雅意云事 付云ゝ	二三、同上	
一一、五刑	(目次ニナケレドモ實ハアリ)	塵袋六
一二、指南 付云ゝ	二四、同上	
一三、十二調子 付云ゝ	二五、同上	
一四、管絃		塵袋七
一五、焦尾		同上
一六、瑟		同上
一七、箏		同上
一八、篳篥		同上
一九、簫		同上
二〇、吹		同上
二一、玉柱		同上
二二、簧		同上
二三、伎樂		同上
二四、撥絃		同上
二五、驢耳		同上
二六、鼻廣 付云ゝ		同上
二七、衣裳		同上
二八、大口小口		同上
二九、繦褓		同上
三〇、斗帳		同上
三一、大唐五岳 付云ゝ	二六、同上	
三二、五天竺 付云ゝ	二七、同上	
三三、十二時不審	二八、同上	
三四、五種不男	二九、同上	
三五、八福田	三〇、同上	
三六、八功德水	三一、同上	
三七、十大弟子	三二、同上	
三八、三界 付云ゝ	三三、同上	
三九、四州 付云ゝ	三四、同上	
四〇、三明六通	三五、同上	
四一、七方便 付云ゝ	三六、同上	
四二、本朝佛法來事 付云ゝ	三七、同上	

塵袋前かき

文のはやしのしげきをわけつゝむかし人のかきつめためることのはの此ちり袋は、壒嚢抄になほちりをそへふと、天文二年のはしぶみにみゆれば、もし松の葉のちりうせずして、まさきのかづらとつたはらましかば、いかでみてしがな得てしがなとて、をりふしごとにおもひ出つゝ、ちかきわたりはいふもさらなり、遠きさかひまでもとめこしほど、ちかごろはしめたる事のやうにおぼえてこしかたをかへりみるに、おもひのほかに年月うつろひ、とをはたみそともかぞふべくなむなりぬる。たゞし今よりはやとせばかりさきに、故信友の伴のをぢより、京のぼりしてかしこにあるほど、ゆくりなく此ふみ見つとて、しか〳〵と聞えおこせぬ。又おなじ頃名護屋人加藤のそれがし消息してきこえけるやう、塵袋はまたく十一巻あなり。永正五年の霜月しはすに、高野山毛皇光院の住侶印融法印といふひじりのみづからうつして、巻ごとに奥書せし本、その山寺にちか頃までありしを、薩摩の殿人山田一郎左衛門清安といふ人、ゆゑありてつたへもたるを、此なごや人神谷喜左衛門克植、せちにこひもてすきうつしに寫しぬ。其後かのさつま人は、ふるさとにもてかへりいにしが、身まかりぬとさへきこえたれば、その本はいかゞなりけむ、をしともあたらしともいふばかりなきを、さはいへどいちはやく寫しものして、こゝにはさながらのこれるなむめでたき。かの克植かよういなからましかば、ふくろにたまらぬ塵ならましをと、いとこまやかにかいしるしおこせぬ。かくをちこちよりたよりを得しかば、僕にとし頃の

ほいかなひぬるこゝちせられて、まづはうれしき事いはむかたなかりき。さるをいかゞはせむ、このたのめし人々やがて打つゞき身まかりにしかは、又さらにたづきを失ひ、口をしけれどせむすべなければ、しはしは思ひくづをれてありしが、なほあやにくなる心操にて、すてがたくわすれがたきまゝに、わが參りかよひつかへまつれる、みすゞかる國のすさかの人殿(マヽ)花廼屋の君は、尾張國の何がし(竹腰)殿とも、こよなうむつまじうおはしませば、もしや事なるとみけしきをうかゞひ、事のやうどもを聞えあげしに、ひたぶる心もさすがなれば、いでやはからひこゝろみてんとて、みこゝろふかくとり申させ給ひて、すみの江の松のひさしきのぞみも、いとすみやけくなむかなひたりける。まことやせちなるおもひを深めて、たゆみなく力をつくせば、かたきいはほたにもつらぬくとかいへるも、今こうおもひしられたりけれ。しかあるからに取あへずうつし物して、たがへる文字などただしなどするついでに、かの壒嚢の二くさの本をも、はじめをはりてらしあはせつゝ同じことゞもの見えたるかぎりは、かたはらにつまじるしゝ、かはれるふしあるところ〴〵はた、かのふみどものよろしげなるをば、くだり〴〵にかきもくはへつ、抑この塵袋は、をち〳〵六百廿箇條見えて、文安の壒嚢抄にも、とりてかけりとおぼしき事ども、かぞふれば六十二箇あり、また天文のはしふみにしるして、二百一箇の塵を拾ふと見ゆるも、誠にこそたがはざりけれ。さて其殘りのふくろのちりはた、三百五十七箇條ありて、いとめづらかなる說ことゞもゝみえたり。たゞし此ふみ十一卷なるを、塵添の抄に十卷といへるは、一卷闕たりし本をみしにこそありけめ。かならずしかりとおぼしきよしは、かの拾ひたりし二百一箇に八の卷なるのみはひとつ

もみえねば、その八の巻の闕本なりし事うつなし。さて又このふみの時代も作者も、さだかならぬがあかぬあまりに、心をとゞめてくりかへしみるに、文永弘安の頃かけるものなめりと、おろ〳〵おもひよれる事こそありけれ。さてはかの壒囊かけりし、文安より八百六七十年あまりふるく、塵を拾ひし天文よりは、二百九十年のいにしへに係れり。そのかみのとおもひよれるあかしは、巻の第一任那の條下に御間城天皇六十九年秋七月任那より始て貢物獻りたりけり。昔はかやうにのみこそありけれ。今は蒙古にせめらるゝ、いと心うき世のすゑのありさまなりと見えたり。蒙古の國より襲ひこしは、文永弘安のほどなりし事なれば、誰かは今の世にもしらぬ人あるべき。こゝに今はとあることばづかひこそよりどころあるひとふしなりけれ。しかのみならず、巻の第八太刀契のちうさくのくだりに、ちかくは安貞二年二月八日攬をさしかへていれらるゝとも見えたり。安貞は弘安よりもいま五十年ばかりさきにかゝれり。ちかくとあるに協へりといふべし、かくその時代はほの〴〵みゆれど、さても猶つくれる人の、しりがたきこそ口をしかりけれ。巻の十路指の條に、熊野にては死ぬるを金になるといふと見えて、此事はかの沙石集にもみゆれば、もしくは無住法師などかゝれけむなどもおもへど、なほよくおもふにしからざりけり。これの作者の筆づかひをみるに、からざえのいみじきのみかは、おほうちざまの奥ふかき事をも、ややみしりざまに書つゞけたるは、かならずもゝしきに袖をつらねし、菅原大江中原など聞ゆる、はかせたちなどのすさびとこそおぼゆれ。かくだ〳〵しき事をも書つゞくるにつけても、たちかへりつら〳〵おもふに、あはれ印融法印なからましかば、かばかりのちうさくぶみの、今の世かけてはつた

はらまし、もし名護屋人のつとめざりせば、しかつたはれるもむなしからまし。又わが君のみ心しらひによらずは、かうまのあたりにうちみてましやは、とにもかくにも此よろこばしさこそ、みじかき筆にはつくしがたかりけれ。安政の二とせといふとし、きさらぎのついたちばかり、いにし月のつごもりの夜、かぐつちの神のあれびにかゝりて、かりやのうちにこもりてあるほどに、はるさめのつれ〴〵なるまゝに、笘もるしづくを硯にうけて

黒かはのはる村しるす

塵袋總目

卷一　（天象　神祇　諸國　內裏）

卷二　地儀　殖物

卷三　草　鳥

卷四　獸　虫

卷五　人倫

卷六　人體　人事

卷七　（佛事　寶貨　衣服　管絃）

卷八　雜物

卷九　（飲食　員數　本說　禁忌）

卷十　詞字

卷十一　疊字

塵袋の奥に

帝室博物館に珍藏せられてゐる塵袋をこのたび寫眞コロタイプ版にて複製刊行し得た事は編者として實に嬉しい事である。本書の價値等は本書に添へて活版にせる黒川春村のはし書、及び今度山田先生の物し給ひし解題にて明らかであるから又贅言を加へる必要は無い。博物館藏の印融本はかなり虫ばみが有つて、一寸何字か讀みかねる文字がある。是れを上下等に謄寫家本に據つて書き加へて置いた。是れは此度添加した事であるから、其旨を一寸ことわつて置くのである。もとより寫眞には少しも手を入れてない。猶此書の研究は森銑三君や岡田希雄君が雜誌で發表してゐられるとの事であるが、私はまだ讀んでゐない。只其の研究が發表せられてゐる事を聞き及んだから書き添へておく。

博物館が本書の複製を許可してくださり、かつ種々の便宜を給うた事。山田先生が御多忙中にかゝはらず解題を物し給うた事を深謝する。

昭和十年一月十一日。折しも西日暖にさし入りて春三月花も盛なる頃の氣候なり。

正　宗　敦　夫

○「法華經音訓」の不明箇所左の通り

一頁　終行　蓮レン ハチス

二頁四行　時ヨリ〱

三頁一行　比ナミ コロヲイ

三頁二行　二カタキアリ

四頁二行　心ホシ（星の事）

十頁一行　勇イサム

十四頁二行　夷ダエラカナリ（タヒラカナリの誤）

十六頁一行　緣メクル

十八頁六行　典ノリ ヲキノル

廿三頁六行　嘗マツリ

二十八頁一行　燈トホシヒ

六十一頁六行　賈アタイ

六十五頁六行　借の左旁音はシヤ

六十六頁一行　房ネヤ

八十一頁六行　禁ミヤコ　蘇イヌエ

八十三頁二行、匸の中扁、匸の中麂を書いた文字、音はヘン　タイ、訓はヒラシ・ウスシ

九十四頁六行　能左旁音ナイ

九十六頁尾の四声の所、第一行末「上声ハアカル」、第二行「入声ハフツクチキニテ」第三行「ト丶マル呉漢ノ……呉尼法明所傳」

倭點法華經解說追加

○「心空上人の三著書に就いて」の誤植　二三頁終行「田中勘兵」は「田中勘兵衛」の誤り

○「法華音義」について云ふ可き事

十一丁右　終行「圯」は、もと「地」字と印刷せられてあるものを胡粉で消して上に圯と墨書してあるのである、天文十五年本も圯。

十四丁右　第三行、ハマのマは「下」字と印刷せられて居るものを胡粉で消して上にマと墨書してあるのである。是れが正しい。

二十丁左　第一行「反音」の反字は「及」字と印刷せられて居るものを胡粉で消して反と墨書してあるのである。是れが正しい。

二十三丁左　第四行「胡可切」の下の字はもと「尭」と印刷せられて居るものを消して克字に訂正してあるのである。だから印刷が鮮明で無いのだ。負字の次ぎの字もと干とあるを消して乎と墨書してあるのである。「哥切」の下の字も「經」とあるを消して、辞と墨書してあるのである。丁談切の次ぎの字もと佳か住かであるのを消して任と墨書してあるのである。

二十五丁右　第一行　は「續自利々他……」

二十六丁右　第一行　肉(シムラ)は原のまゝ、シシムラと有る可きもの

塵袋　下　　日本古典全集之內

編纂者　正宗敦夫

東京市豐島區長崎東町三丁目一六一
發行者　合資會社 日本古典全集刊行會
代表社員 長嶋眞一

東京市神田區須田町二丁目一九
印刷者　早川一郎

東京市豐島區長崎東町三丁目一六一
發行所　合資會社 日本古典全集刊行會
振替東京七三〇三二

昭和十年一月二十日印刷
昭和十年一月三十日發行

【非賣品】

UNIVERSITY OF TORONTO
LIBRARY

WILLIAM H. DONNER
COLLECTION

*purchased from
a gift by*

THE DONNER CANADIAN
FOUNDATION

EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO
3 1761 03030 7268